

鉾田市公共交通に関する市民アンケート調査結果

目次

市民アンケートの実施概要	1
市民アンケートの調査票	2
市民アンケートの集計結果	10
1. 回答者概要	10
(1) 年齢層	10
(2) 性別	10
(3) 住所	11
(4) 世帯構成	12
(5) 職業	12
(6-1) 運転免許の有無	13
(6-2) 年齢別-運転免許の有無	13
(7-1) 運転状況	14
(7-2) 年齢別-運転状況	14
(8) 自分で自由に使える自動車・バイクの保有状況	15
(9-1) バス停までの移動の可否	15
(9-2) 年齢別-バス停までの移動の可否	15
(10-1) 自宅前に車両がきた場合、自力での乗車可否	16
(10-2) 年齢別-自宅前に車両がきた場合、自力での乗車可否	16
(11) 65歳以上の移動手段の変化	17
2. 運転免許証について	18
(1-1) 高齢になったときの自動車・バイクの運転免許証返納の考え	18
(1-2) 運転免許証を返納すると答えた方の返納想定年齢	18
(1-3) 年齢別-高齢になった時の自動車・バイクの運転免許証返納の考え	18
(2-1) 運転免許証を返納するために必要な条件	19
(2-2) 年齢別-運転免許証を返納するために必要な条件	20
3. 日常的な外出について	21
【通勤・通学】	21
(1-1) 外出先住所	21
(1-2) 居住地区別-外出先住所	22
(2) 交通手段	23
(3) 平日に行く頻度	24
(4) 土日祝に行く頻度	24
(5-1) 外出時刻	25
(5-2) 帰宅時刻	25
【買い物(食料品・日用品)】	26
(1-1) 外出先住所	26
(1-2) 居住地区別-外出先住所	27

(2) 交通手段.....	29
(3) 平日に行く頻度.....	30
(4) 土日祝に行く頻度.....	30
(5-1) 外出時刻.....	31
(5-2) 帰宅時刻.....	31
【買い物(食料品・日用品以外)】.....	32
(1-1) 外出先住所.....	32
(1-2) 居住地区別-外出先住所.....	33
(1-3) 外出先施設.....	34
(2) 交通手段.....	35
(3) 平日に行く頻度.....	36
(4) 土日祝に行く頻度.....	36
(5-1) 外出時刻.....	37
(5-2) 帰宅時刻.....	37
【通院】.....	38
(1-1) 外出先住所.....	38
(1-2) 居住地区別-外出先住所.....	39
(1-3) 外出先施設.....	40
(2) 交通手段.....	41
(3) 平日に行く頻度.....	42
(4) 土日祝に行く頻度.....	42
(5-1) 外出時刻.....	43
(5-2) 帰宅時刻.....	43
【その他(公共施設利用・趣味等)】.....	44
(1-1) 外出先住所.....	44
(1-2) 居住地区別-外出先住所.....	45
(1-3) 外出先施設.....	46
(2) 交通手段.....	47
(3) 平日に行く頻度.....	48
(4) 土日祝に行く頻度.....	48
(5-1) 外出時刻.....	49
(5-2) 帰宅時刻.....	49
4. 鉄道の利用.....	50
(1-1) 最寄り駅.....	50
(1-2) 居住地区別-利用駅.....	50
(2-1) 最寄り駅までの交通手段.....	51
(2-2) 居住地区別-最寄り駅までの交通手段.....	51
(2-3) 最寄り駅までの所要時間別-最寄り駅までの交通手段.....	52
(3-1) 最寄り駅までの所要時間.....	53
(3-2) 最寄り駅までの交通手段別-最寄り駅までの所要時間.....	53

5. 路線バスの利用について	54
(1) 最も利用するバス停	54
(2) 最寄りバス停までの交通手段	55
(3) 最寄りバス停までの所要時間	55
6. 鉄道や路線バスを利用しやすくするための条件	56
(1) 鉄道を利用しやすくする条件	56
(2) 路線バスを利用しやすくする条件	57
7. 銚田市乗合自動車について	58
(1-1) 銚田市乗合自動車の認知度	58
(1-2) 居住地区別-銚田市乗合自動車の認知度	58
(2-1) 銚田市乗合自動車の利用	59
(2-2) 居住地区別-銚田市乗合自動車の利用	59
(3-1) 銚田市乗合自動車を利用しやすくする条件	60
8. コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの利用条件	63
(1-1) 最低限必要な運行間隔	63
(1-2) 最低限必要な運行間隔の条件	63
(2) 必要な運行時間帯	64
(3-1) 乗り場までの徒歩時間の限度	66
(3-2) 年齢別の乗り場までの徒歩時間の限度	66
(3-3) 乗り場までの徒歩時間の限度の条件	67
(4-1) 片道運賃の限度額	68
(4-2) 片道運賃の限度額の条件	68
(5) コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーで行きたい場所・施設名と頻度	69
(6-1) コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーが運行した場合の利用可能性	71
(6-2) 年齢別-コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーが運行した場合の利用可能性	72
(6-3) 居住地区別-コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーが運行した場合の利用可能性	72
9. 家族等を送迎することについて	73
(1) 家族の送迎の頻度と、送迎場所までの片道所要時間	73
(1-1) 家族等を送迎する頻度(週)	73
(1-2) 年齢層別-家族等を送迎することがある割合	73
(1-3) 家族等を送迎するときの片道の所要時間	74
(1-4) 年齢層別-家族等を送迎する片道の所要時間	74
(2-1) 主な送迎の目的	75
(2-2) 年齢層別-主な送迎の目的	75
(3-1) 送迎してる方との関係	76
(3-2) 年齢層別-送迎してる方との関係	76
(3-3) 居住地区別-送迎してる方との関係	77
(4-2) 年齢層別-送迎してあげている方の年齢	78
(5-1) 家族等を送迎することについての思い	79
(5-2) 年齢層別-家族等を送迎することについての思い	79

10. 家族等に送迎してもらうことについて	80
(1-1) 家族等に送迎してもらう頻度	80
(1-2) 年齢層別-家族等に送迎してもらう頻度	80
(2-1) 主な送迎の目的	81
(2-2) 年齢層別-主な送迎の目的	81
(3-1) 送迎してもらっている方との関係	82
(3-2) 年齢層別-送迎してもらっている方との関係	82
(3-3) 居住地区別-送迎してもらっている方との関係	83
(4-1) 送迎してもらっている方の年齢	84
(4-2) 年齢層別-送迎してもらっている方の年齢	84
(5-1) 家族等に送迎してもらうことについての思い	85
(5-2) 年齢層別-家族等に送迎してもらうことについての思い	85
11. 地域での助け合いによる送迎について	86
(1-1) 地域での助け合いによる送迎の必要性	86
(1-2) 居住地区別-地域での助け合いによる送迎の必要性	86
(1-3) 地域での助け合いによる送迎の必要性の理由	87
(2-1) 地域での助け合いによる送迎への参加意識	88
(2-2) 居住地区別-地域での助け合いによる送迎への参加意識	88
(2-3) 年齢層別-地域での助け合いによる送迎への参加意識	89
12. 鉾田市の公共交通についての意見	90
(1-1) 現在の鉾田市内の公共交通(鉄道・バス・タクシー等)の満足度	90
(1-2) 居住地区別-現在の鉾田市内の公共交通(鉄道・バス・タクシー等)に満足か	90
(1-3) 現在の鉾田市内の公共交通(鉄道・バス・タクシー等)に満足かの理由	91
(2-1) 現在の公共交通(鉄道・バス・タクシー等)の必要性	92
(2-2) 年齢層別-現在の公共交通(鉄道・バス・タクシー等)の必要性	92
(2-3) 居住地区別-現在の公共交通(鉄道・バス・タクシー等)の必要性	93
(3) 将来高齢化が進展した時に、市民が生活するための社会基盤として公共交通の必要性	93
(4-1) 公共交通を利用しやすくするために市に実施してもらいたいこと	94
(4-2) 年齢層別-公共交通を利用しやすくするために市に実施してもらいたいこと	95
(4-3) 居住地区別-公共交通を利用しやすくするために市に実施してもらいたいこと	96
(5) 公共交通の維持・確保のために市が負担することへの思い	97
13. 鉾田市の公共交通についてのアイデアや意見	98
市民アンケートの集計結果のまとめ	103
1.市民の日常の移動特性	103
2.市民の将来の移動についての考え	103
3.市民の公共交通の利用実態	103
4.鉾田市乗合自動車の認知度	103
5.市民の公共交通の利用条件	104
6.コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの利用可能性	104
7.市民の家族等の送迎状況と意識	104

8.市民の地域での助け合いによる送迎についての意識.....	105
9.市民の公共交通の必要性についての考え	105
10.市民の鉾田市の公共交通施策についての考え	105
11.市民の公共交通への要望.....	105

市民アンケートの実施概要

銚田市公共交通に関する市民アンケートは、市民の日常の移動実態や公共交通全般に対するニーズを把握するため、高校生以上の市内在住の 2,000 人を対象に、郵送配布・郵送回収にて実施した。

635 票の回答があり、回収率は 32%であった。

項目	内容
実施時期	令和元年 8 月 16 日～令和元年 8 月 30 日
実施目的	市民の日常の移動実態や公共交通全般に対するニーズを把握するため
実施方法	郵送配布・郵送回収
対象者	高校生以上の市内在住の 2,000 人 住民基本台帳より無作為抽出
回収数	635 票
回収率	31.75%

市民アンケートの調査票

アンケート票はA4サイズ8ページのものを配布した。



銚田市 公共交通に関する市民アンケート ご協力をお願い

平素より、市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

銚田市では、将来にかけて人口減少や高齢化が想定されることから、市民の多様な活動を支える移動手段の確保が課題となっております。

銚田市における最適な移動手段の確保、利便性・効率性の高い銚田市の実情に即した公共交通網の再構築を図るため、「銚田市地域公共交通網形成計画」の策定に向けて取り組んでおります。

この度、市民の皆様の日常生活における移動の状況や公共交通への考え方を計画に反映させていただく目的で、アンケート調査を実施させていただくことといたしました。

つきましては、お手数をおかけいたしますが、アンケートの趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願い申し上げます。

なお、アンケートは市内在住の高校生以上、2,000名の方々を無作為に抽出させていただき、無記名で実施し、結果の公表においては、個人が特定されることは一切ございません。

令和元年8月

銚田市長 岸田 一夫

◆ご記入にあたってのお願い

- ①別紙の「銚田市の公共交通のご案内」も参考にしながら、アンケート調査票にお答えください。
- ②ご高齢などで記入が困難な方については、ご家族の方などが、ご本人のご意見をお聞きになりながら、代筆くださいますようお願いいたします。
- ③ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに
8月30日(金曜日)までに、郵便ポストにご投函ください。

【お問合せ先】

〒311-1592 銚田市銚田1444番地1

銚田市 総務部 まちづくり推進課

電話：0291-33-2111（代表）

0291-36-7154（直通）

FAX：0291-32-4622

E-mail：hokomail-c10x@city.hokota.lg.jp

担当：片岡・皆藤

銚田市 公共交通に関する市民アンケート 調査票

・アンケート調査票は、7ページまであります。

・当てはまる番号に○をつけてください。回答欄に がある箇所は、直接 内にご記入ください。

・回答後、**8月30日(金曜日)まで**に同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、郵便ポストに投函してください。

問1 アンケートを回答されるあなた自身のことをお答えください。

① 年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60～64歳
(満年齢)	7. 65～69歳	8. 70～74歳	9. 75～79歳	10. 80歳以上		
② 性別	1. 男性	2. 女性				
③ 住所(大字のみお答えください。)	銚田市	大字名 <input type="text"/>				
④ 世帯構成	1. 子ども・親等と同居	2. 夫婦二人暮らし	3. 一人暮らし	4. その他		
⑤ 職業	1. 会社員・公務員	2. 自営業	3. パート・アルバイト	4. 専業主婦・主夫	5. 無職	
	6. 高校生	7. 大学生・その他の学生	8. その他	<input type="text"/>		
⑥ 自動車・バイクの運転免許の有無	1. ある	2. 以前持っていたが返納した	3. ない			
⑦ 自動車・バイクの運転状況	1. 不安なく運転している	2. 不安に思いながら運転している	3. 運転しない			
⑧ 自分で自由に使える自動車・バイクの保有状況	1. ある	2. ない				
⑨ バス停までの歩いての移動	1. バス停まで300m程度ならできる	2. バス停まで300m程度だとできない				
⑩ 自宅の前に車両がきた場合、自力での乗車	1. できる	2. 段差があるとできない	3. できない			
⑪ 65歳以上の方にお聞きします。若い頃と比べて、日常の移動手段が変わりましたか。(複数回答可)	1. 変わらない 2. 運転が困難になり自動車の利用が減った 3. 家族等に送迎してもらうことが増えた					
	4. 外出回数が減った 5. その他 <input type="text"/>					

問2 運転免許証をお持ちの方はお答えください。

① 高齢になったときの自動車・バイクの運転免許証の返納の考えをお答えください。
1. <input type="text"/> 歳頃になったら返納する 2. 運転はしないが返納はしない 3. 運転を続けるため返納しない
② 運転免許証を返納するために必要な条件をお答えください。(複数回答可)
1. 駅までの移動手段の確保 2. バス停までの移動手段の確保 3. 病院までの移動手段の確保
4. 買い物先までの移動手段の確保 5. 運行回数の多い公共交通手段の確保
6. 希望の時間帯に移動できる公共交通手段の確保 7. 自宅前から目的地まで乗車できる公共交通手段の確保
8. 安い運賃で利用できる公共交通手段の確保 9. 市による移動への補助制度
10. その他 <input type="text"/>

1ページ/7ページ

次のページに続きます。

問3 日常的な外出についてお答えください。

下記の目的ごとに、それぞれ最も多い外出先についてお答えください。
(外出先が特に決まっていない場合は、最近の外出についてお答えください。また、該当する外出がない場合は、空欄で結構です。)

利用する全ての交通手段の番号を以下から選りご記入ください。(別紙の「銚田市の公共交通のご案内」も参考にお答えください。)

1. 鉄道 2. 路線バス 3. 高速バス 4. 他市のコミュニティバス 5. 銚田市乗合自動車
6. タクシー 7. スクールバス 8. 病院や薬局の送迎車両 9. 会社や施設の送迎車両
10. 銚田市社会福祉協議会の訪問介護移送サービス※ 11. 自動車(自分で運転)
12. 自動車(家族等の送迎) 13. バイク 14. 自転車 15. 徒歩 16. その他

わかる範囲でお答えください。

答えやすい選択肢で
それぞれお答えください。

24時間表記。
午後4時は16時と記入。

目的	外出先住所	交通手段	平日に行く頻度	土日祝日に行く頻度	外出時刻・帰宅時刻
〈記入例〉 買物	市町村名 ○○市 大字名 □□ 施設名 △△スーパー◇◇店	2, 15	1. 平日ほぼ毎日 ② 週 2 回 3. 月 回 4. 年 回	① 毎週土曜日 ② 毎週日曜日 3. 月 回 4. 年 回	外出 13 時台 帰宅 16 時台
通勤・通学	市町村名 大字名 施設名		1. 平日ほぼ毎日 2. 週 回 3. 月 回 4. 年 回	1. 毎週土曜日 2. 毎週日曜日 3. 月 回 4. 年 回	外出 時台 帰宅 時台
買物(食料品・日用品)	市町村名 大字名 店舗名		1. 平日ほぼ毎日 2. 週 回 3. 月 回 4. 年 回	1. 毎週土曜日 2. 毎週日曜日 3. 月 回 4. 年 回	外出 時台 帰宅 時台
買物(食料品・日用品以外)	市町村名 大字名 店舗名		1. 平日ほぼ毎日 2. 週 回 3. 月 回 4. 年 回	1. 毎週土曜日 2. 毎週日曜日 3. 月 回 4. 年 回	外出 時台 帰宅 時台
通院	市町村名 大字名 病院・医院名		1. 平日ほぼ毎日 2. 週 回 3. 月 回 4. 年 回	1. 毎週土曜日 2. 毎週日曜日 3. 月 回 4. 年 回	外出 時台 帰宅 時台
その他(公共施設利用・趣味等)	市町村名 大字名 施設名		1. 平日ほぼ毎日 2. 週 回 3. 月 回 4. 年 回	1. 毎週土曜日 2. 毎週日曜日 3. 月 回 4. 年 回	外出 時台 帰宅 時台

※銚田市社会福祉協議会の訪問介護移送サービス:

公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び障害者等を対象に、有償で銚田市社会福祉協議会が行う、医療機関等への訪問介護、介護移送サービス。

2ページ/7ページ

次のページに続きます。

問4 鉄道の利用についてお答えください。

① 最寄り駅（1つだけ回答）→「9. 最寄り駅はない」をご回答の方は問5へお進みください。

1. 湊沼駅 2. 鹿島旭駅 3. 徳宿駅 4. 新鉾田駅 5. 北浦湖畔駅 6. 大洋駅 7. 鹿島灘駅
8. その他 駅 9. 最寄り駅はない

② 最寄り駅までの交通手段（主なものを1つだけ回答）

1. 路線バス 2. 高速バス 3. 鉾田市乗合自動車 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(家族等の送迎)
6. バイク 7. 自転車 8. 徒歩 9. その他

③ 最寄り駅までの②で回答した交通手段での所要時間

分

問5 路線バスの利用についてお答えください。

① 最も利用するバス停（バス停名称と位置は、別紙の「鉾田市の公共交通のご案内」を参照してください。）
→バス停を利用したことがない方は問6へお進みください。

乗車バス停
(自宅側)

降車バス停
(目的地側)

② 自宅から乗車するバス停までの交通手段（主なものを1つだけ回答）

1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車(家族等の送迎) 4. その他

③ 自宅から乗車するバス停までの②で回答した交通手段での所要時間

分

問6 鉄道や路線バスを利用しやすくするために必要なことについてお答えください。

① 鉄道を利用しやすくするために必要なことを選びお答えください。（複数回答可）

1. 時刻表・運賃等の運行情報の周知 2. 始発電車の時間を早くする 3. 最終電車の時間を遅くする
4. 運行便数を増やす 5. 運賃を安くする 6. 駅で快適に電車を待てるようにする
7. 駅前の駐車場を使いやすくする 8. 駅までの移動手段を用意する
9. その他

② 路線バスを利用しやすくするために必要なことを選びお答えください。（複数回答可）

1. 時刻表・路線図等の運行情報の周知 2. 始発バスの時間を早くする 3. 最終バスの時間を遅くする
4. 運行便数を増やす 5. 運賃を安くする 6. バス停を増やす 7. バス停で快適にバスを待てるようにする
8. バス停の近くに駐車場を用意する 9. バス停の近くに駐輪場を用意する 10. バス停までの移動手段を用意する
11. その他

問7 銚田市乗合自動車についてお答えください。

① 大洋地区及び銚田地区の一部で運行している、銚田市乗合自動車を知っていますか。

※運行内容は、ページ下部を参照してください。

1. 知っている 2. 知らない

② 大洋地区及び銚田地区の一部に住む65歳以上の方を対象に運行している、銚田市乗合自動車を利用していますか。

1. 利用者登録をし、利用もしている 2. 利用者登録をしているが、利用していない
3. 利用対象者であるが、利用者登録をしていない 4. 利用対象者ではないため、利用できない

③ 銚田市乗合自動車を利用しやすくするために必要なことを選びお答えください。(複数回答可)

の中に具体的な数字や場所もお答えください。

1. 利用方法の周知
2. 当日予約ができることの周知 (※平成31年4月から当日の利用予約ができるようになりました。)
3. 早い時間から運行する → 時台から運行
4. 遅い時間まで運行する → 時台まで運行
5. 土日祝日の運行
6. 利用料金を安くする → 円
7. 大洋地区及び銚田地区の一部以外にも利用対象区域を拡大
8. 乗降場所の追加 → 行きたい場所は
9. 利用対象者は65歳以上という年齢条件をなくし、全年齢の方が利用できるようにする
10. その他

◆銚田市乗合自動車の運行内容

銚田市乗合自動車は、事前に利用登録を行っている方がコールセンターに電話をし、利用予約を行い、自宅やその付近などから病院や商業施設などの特定目的地(乗降場所)までを運行する公共交通サービスです。

・運行日：月曜日から金曜日(土曜・日曜・祝日・年末・年始12/29～1/3は運休)

・運行時間：	大洋地区→銚田市街地	銚田市街地→大洋地区
第1便	8時30分の便	9時30分の便
第2便	10時00分の便	11時30分の便
第3便	13時30分の便	14時30分の便
第4便	15時30分の便	16時00分の便

・予約受付時間：午前9時から午後3時まで

・利用料金：1回(片道)の乗車につき300円

・運行区域：大洋地区及び銚田地区の一部 ※区域は、別紙「銚田市の公共交通のご案内」を参照してください。

・目的地：運行区域の医療機関、消防関係、郵便局、銀行、駅(鉄道)、県及び市の機関、商業施設等

・利用対象者：大洋地区及び銚田地区の一部に住む65歳以上の方

・利用方法：事前に登録を行い、利用希望日の前日から出発希望時刻2時間前(当日第2便以降対象)までに電話で利用予約をしてください。

4ページ/7ページ

次のページに続きます。

問8 あなたが日常生活でコミュニティバス※やデマンド型乗合タクシー※を利用することを考えた場合の利用条件をお答えください。

① 最低限必要な運行間隔

1. いずれにしても利用する 2. 午前1便・午後1便 3. 2時間に1便 4. 1時間に1便 5. 30分に1便
6. いずれにしても利用しない

② 必要な運行時間帯

(午前か午後に○をつけてください。) 午前・午後 時から 午前・午後 時まで

③ 乗り場までの徒歩時間の限度

1. いずれにしても利用する 2. 30分 3. 20分 4. 15分 5. 10分 6. 5分 7. いずれにしても利用しない

④ 片道運賃の限度額

1. 値段に関わらず利用する 2. 1,500円 3. 1,000円 4. 750円 5. 500円 6. 300円 7. 150円
8. 100円 9. その他 円 10. 値段に関わらず利用しない

**⑤ コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーで行きたい場所・施設名を3つまでお答えください。
さらに、それぞれの目的地へ平日に行く頻度と土日祝日に行く頻度をお答えください。**

行きたい場所・施設名		行く頻度		
目的地1	行先	平日	1. 週 <input type="text"/> 回	2. 月 <input type="text"/> 回
		土日祝日	1. 週 <input type="text"/> 回	2. 月 <input type="text"/> 回
目的地2	行先	平日	1. 週 <input type="text"/> 回	2. 月 <input type="text"/> 回
		土日祝日	1. 週 <input type="text"/> 回	2. 月 <input type="text"/> 回
目的地3	行先	平日	1. 週 <input type="text"/> 回	2. 月 <input type="text"/> 回
		土日祝日	1. 週 <input type="text"/> 回	2. 月 <input type="text"/> 回

⑥ 公共交通の乗り場(鉄道駅やバス停)と自宅の近くを結ぶコミュニティバスやデマンド型乗合タクシーが運行した場合、利用しますか。(複数回答可)

1. 鉄道駅と自宅を結ぶ場合利用する 2. バス停と自宅を結ぶ場合利用する 3. いずれも利用しない

※コミュニティバス：

地域住民の福祉に寄与することを目的として、地方公共団体が運行に参与している乗合バス。

※デマンド型乗合タクシー：

あらかじめ路線やダイヤを決めず、電話予約等利用者の需要(デマンド)に応じて柔軟な運行をする乗合方式のタクシー。タクシーの特性である自宅から目的箇所までのドアツードアの利便性を維持しながら、乗合方式で高齢者等に利用しやすい交通手段を提供する。

問9 家族等を送迎することがある方はお答えください。

① 家族等の送迎の頻度と、主な送迎場所までの片道の所要時間

週に 回程度送迎し、片道 分程度かかる

② 主な送迎の目的（1つお答えください。）

1. 朝夕、通勤・通学する家族を駅まで送迎 2. 朝夕、通勤・通学する家族を直接、会社や学校まで送迎
3. 通勤・通学以外の家族を駅まで送迎 4. 高齢の家族の通院や買物への送迎
5. 近所の高齢者の通院や買物への送迎 6. その他

③ 主に送迎してあげている方との関係（主なものを1つだけ回答）

1. 同居する家族 2. 同居していない家族や親戚 3. ご近所の友人 4. その他

④ ③で回答した主に送迎してあげている方の年齢

歳代

⑤ 家族等を送迎することについてどう思いますか。

1. 負担を感じていない 2. 負担を感じているが仕方がない 3. 負担が大きく、できればバス等を使ってほしい
4. その他

問10 家族等に車で送迎してもらうことがある方はお答えください。

① 家族等に送迎してもらう頻度 1. 平日ほぼ毎日 2. 週 回 3. 月 回 4. 年 回

② 主な送迎の目的（1つお答えください。） 1. 朝夕、通勤・通学で駅まで送迎 2. 朝夕、通勤・通学で直接、会社や学校まで送迎
3. 通勤・通学以外の目的で駅まで送迎 4. 通院や買物へ付き添ってもらう

5. その他

③ 主に送迎してもらっている方との関係（主なものを1つだけ回答）

1. 同居する家族 2. 同居していない家族や親戚 3. ご近所の友人 4. その他

④ ③で回答した主に送迎してもらっている方の年齢

歳代

⑤ 家族等に送迎してもらうことについてどう思いますか。

1. 特に何も思わない 2. 申し訳ないが仕方がない 3. 申し訳ないので、外出の回数をできるだけ減らしている
4. その他

問11 地域での助け合いによる送迎について、あなたのご意見をお答えください。

① 地域ボランティアが運転士となり、高齢者を対象に、自宅と買物先や病院の間を、運行に関わる実費相当額を利用者に負担してもらい送迎する取組について、必要であると思いますか。

→「3. 自分の住む地域では必要ないと思う」をご回答の方は問12へお進みください。

1. 既に取り組んでいる 2. 自分の住む地域でも地域が主体となり取り組むべき 3. 自分の住む地域では必要ないと思う

理由

② あなたの住む地域で①のような取組を行う場合、どのように参加したいですか。または、参加していますか。

1. 実費相当額を払い、送迎してもらいたい 2. ボランティア運転士として送迎しても良い 3. 参加は難しい

問12 銚田市の公共交通について、あなたのご意見をお答えください。

① あなたは、現在、銚田市内の公共交通(鉄道・バス・タクシー等)に満足していますか。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない

理由

② あなたにとって、現在、公共交通(鉄道・バス・タクシー等)は必要ですか。

1. 必要である 2. 必要ではない 3. どちらとも言えない

③ 将来、高齢化が進展したときに、銚田市にとって、市民が生活するための社会基盤として公共交通は必要だと思いますか。

1. 必要である 2. 必要ではない 3. どちらとも言えない

④ 公共交通を利用しやすくするために、市に実施してもらいたいことをお答えください。(複数回答可)

1. 鉄道を便利にする
2. 路線バスを便利にする
3. 地域内施設と駅やバス停を結ぶコミュニティバスの運行
4. 予約をして、乗合方式で自宅から目的地まで直接移動できる、デマンド型乗合タクシーの運行
(銚田市乗合自動車の運行区域の拡大)
5. 旧大洋地区及び旧銚田地区の一部で運行している、銚田市乗合自動車を利用にする
6. タクシー利用料金の助成
7. 自転車道や使いやすい駐輪場の整備
8. 歩道や駅施設の段差をエレベーターの設置等により解消し、バリアフリー化する
9. 公共交通マップや時刻表等の情報発信
10. 行きたい場所まで公共交通で行く方法を総合的に案内するオペレーターの設置
11. 公共交通の乗り方教室
12. これ以上必要ない
13. その他

⑤ 公共交通の維持・確保のために、市が負担(税金を使用)することについてどう思いますか。

1. 税金を使ってさらに公共交通を充実させるべき 2. 税金を使うことはやむを得ない
3. 税金は使うべきではない 4. どちらとも言えない

問13 銚田市の公共交通(大洗鹿島線・バス・タクシー等)についてのアイデアやご意見があればご自由に記入ください。

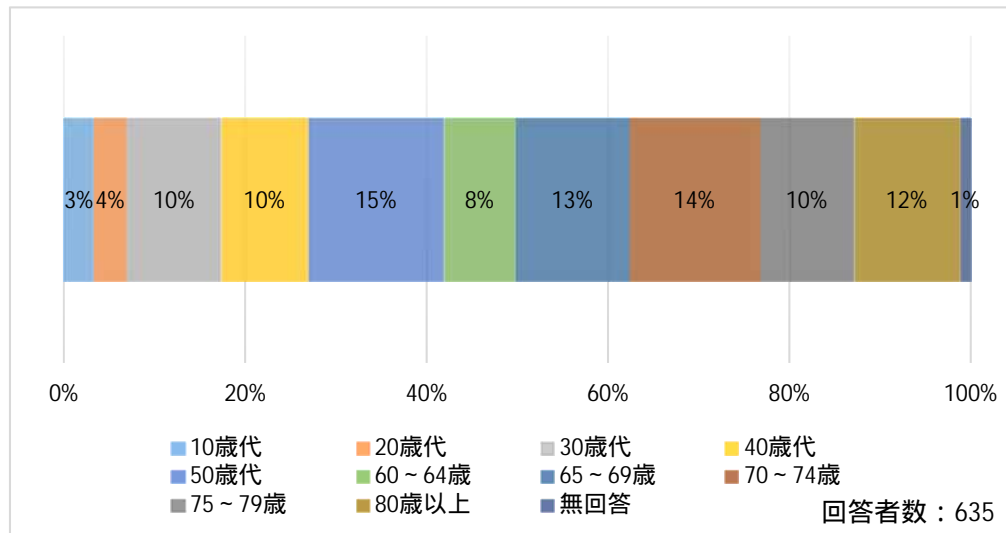
(余白が足りない場合、任意の用紙にご記入いただいても大丈夫です。)

市民アンケートの集計結果

1. 回答者概要

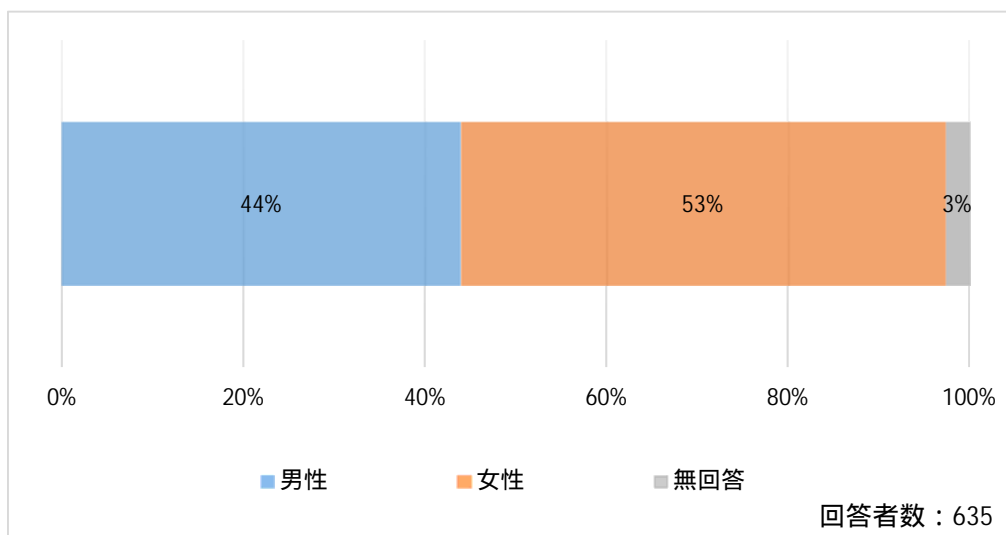
(1) 年齢層

10 歳代から 80 歳以上までの各年代から回答を得られた。



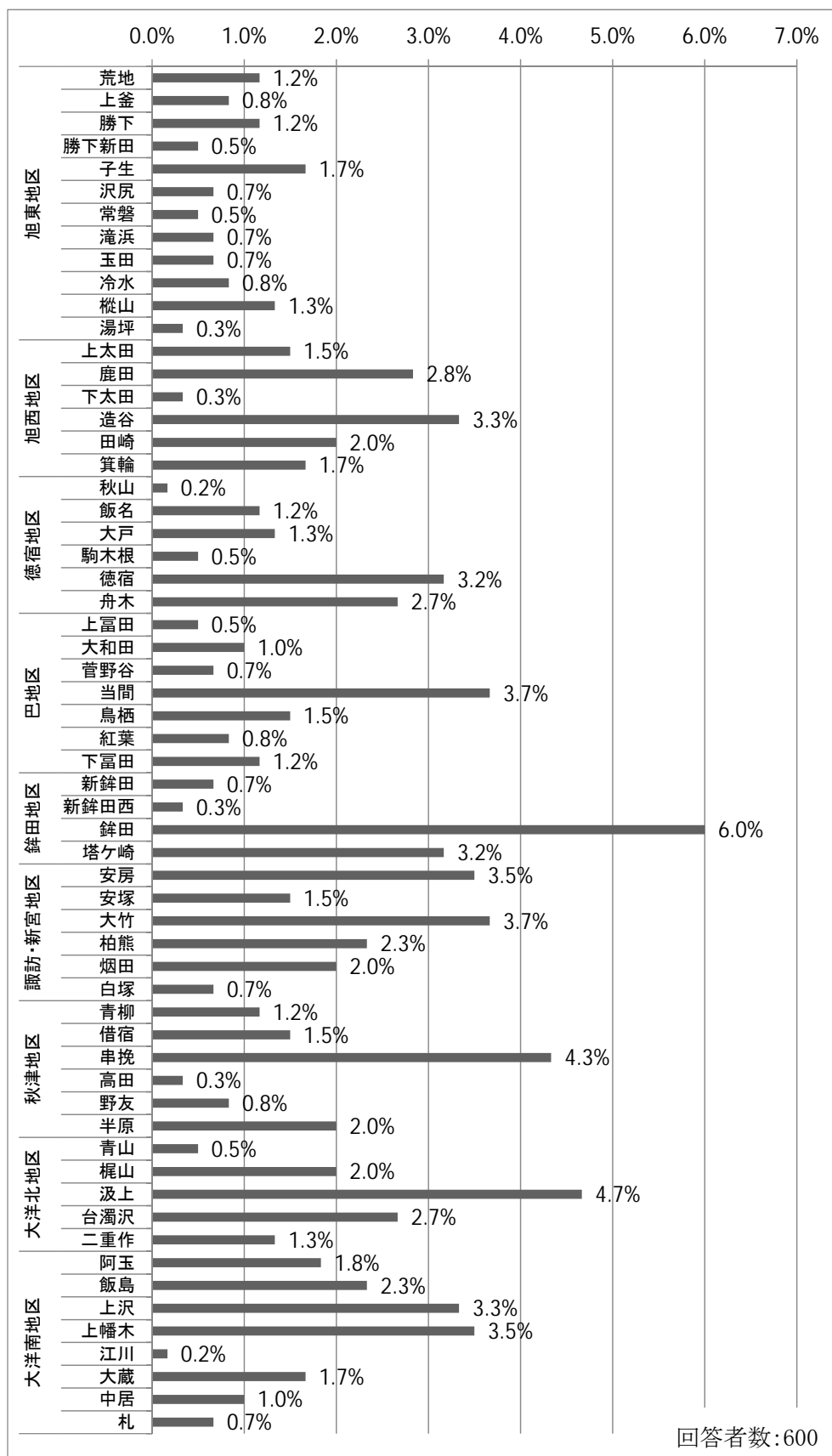
(2) 性別

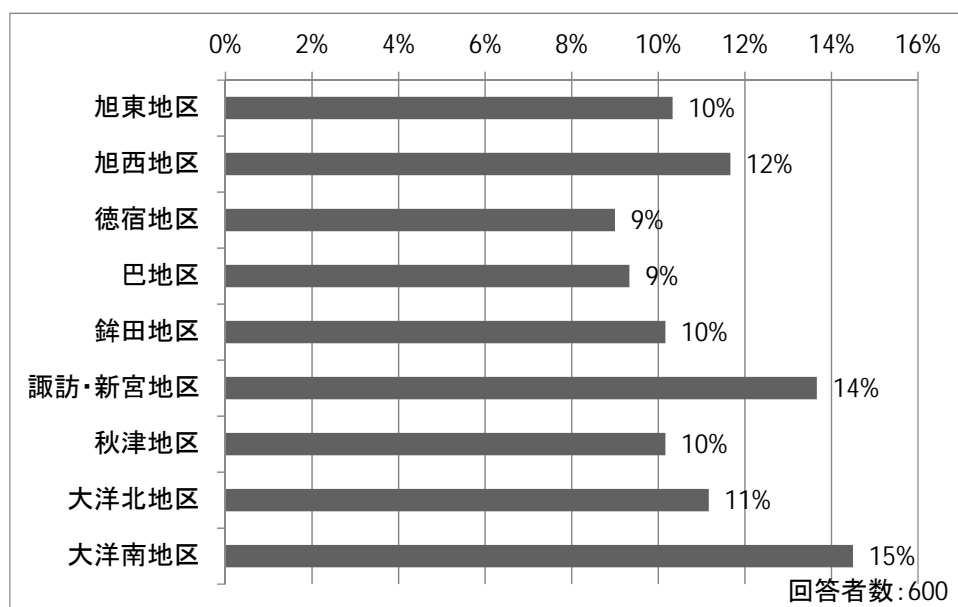
女性の人の回答が 53% でやや多い。



(3) 住所

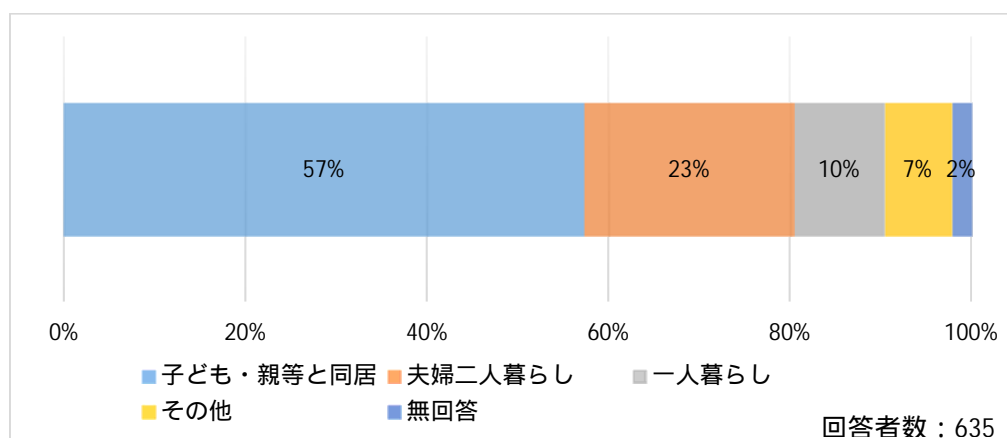
各地区から回答を得ることができた。大字別では、鉾田、汲上、串挽の人が多い。地区別では大洋南地区の人が多い。





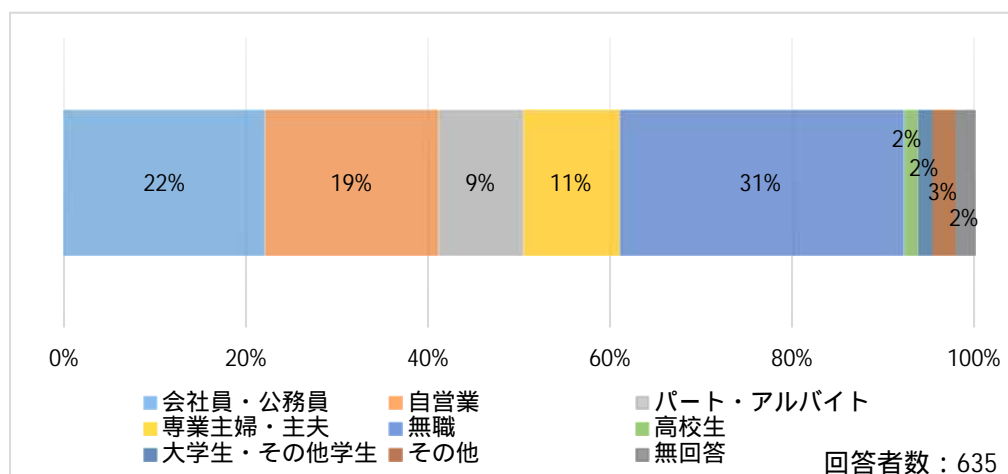
(4) 世帯構成

子ども・親等と同居の人が約 6 割、夫婦二人暮らしは約 2 割、一人暮らしは約 1 割である。



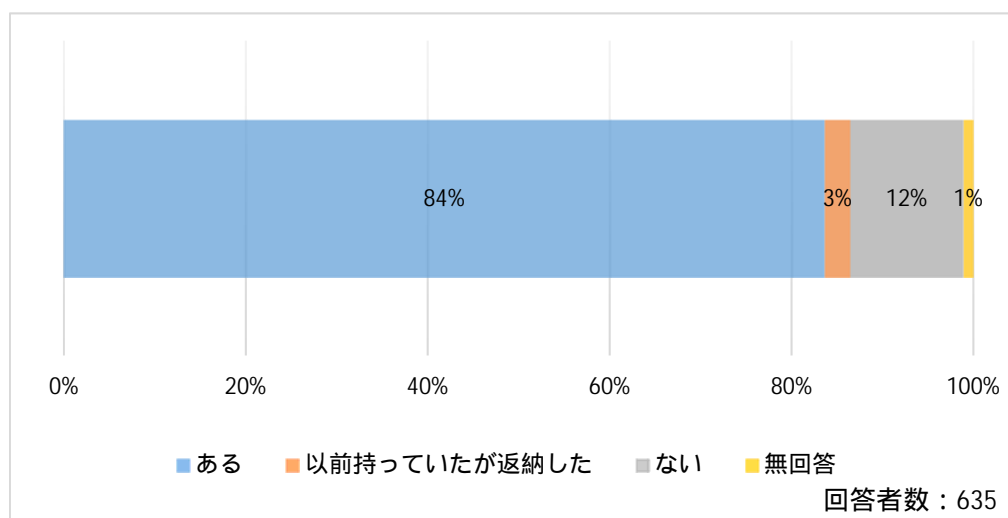
(5) 職業

無職の人が約 3 割と多い。次に、会社員・公務員、自営業の人が約 2 割ずつである。



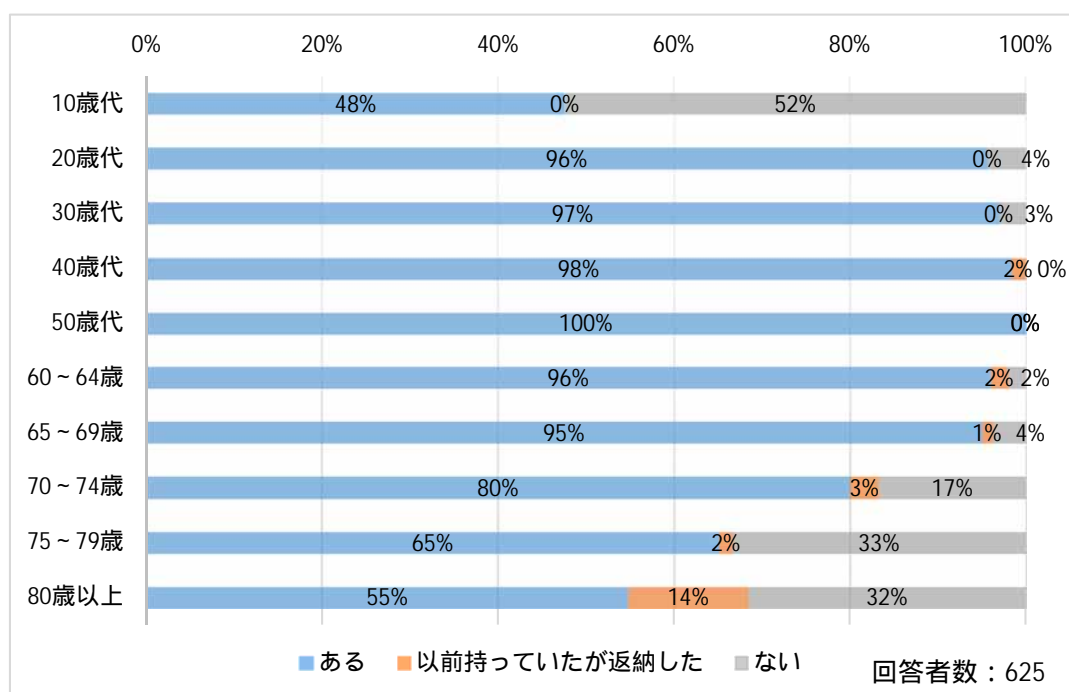
(6-1) 運転免許の有無

運転免許がある人が約8割である。免許証を返納した人は3%であり、現在免許証を持っていない人が15%いる。



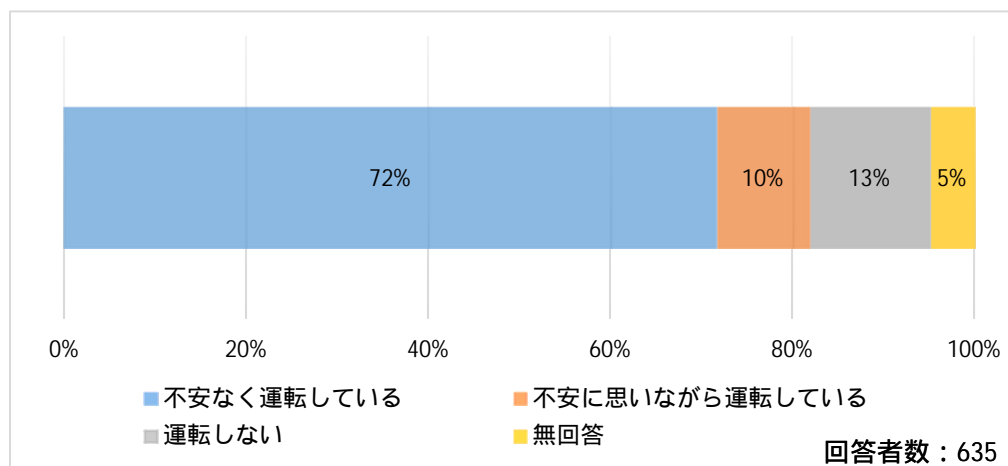
(6-2) 年齢別-運転免許の有無

年齢別に見ると、10歳代の52%、70～74歳の20%、75～79歳の35%、80歳以上の45%が運転免許証を持っていない。10歳代の若年層と70歳以上の高齢層が運転免許証を持っていない割合が高い。



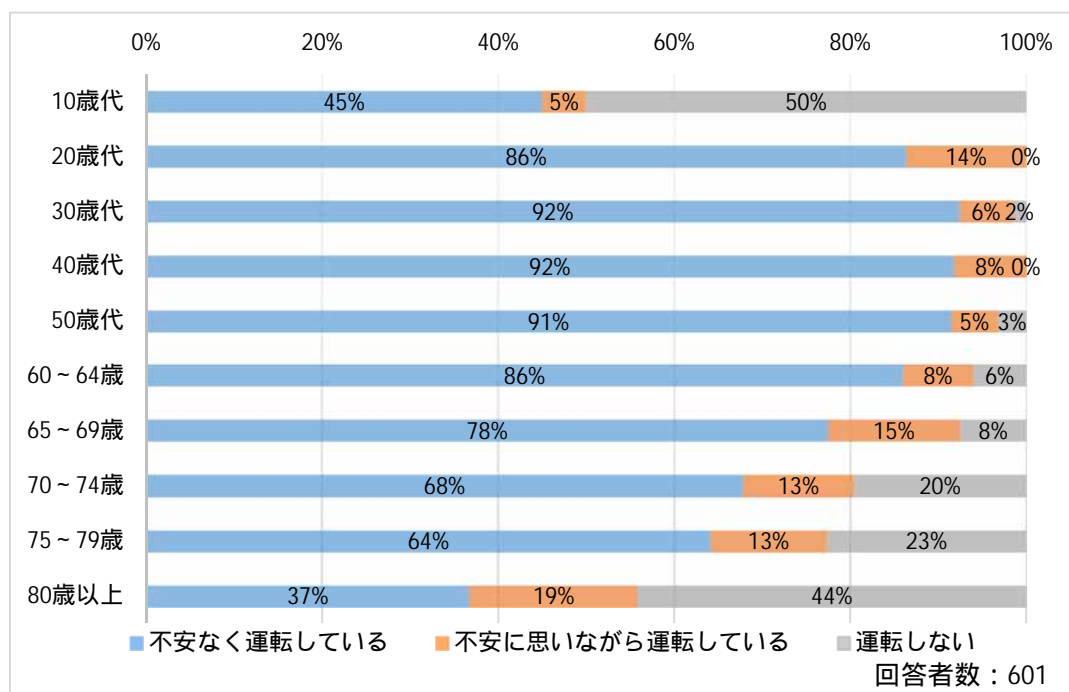
(7-1) 運転状況

不安なく運転している人が約 7 割である。一方で、不安に思いながら運転している人が約 1 割いる。不安に思いながら運転しなくて済むように、自家用車以外の移動手段を確保する必要がある。また、運転しない人も 1 割いる。



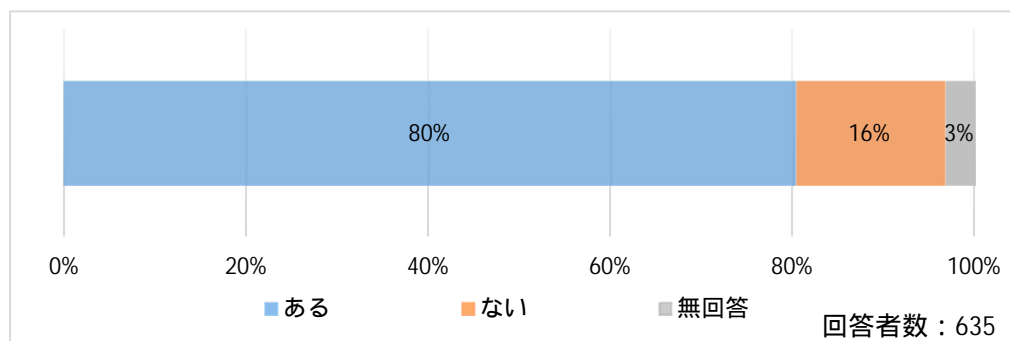
(7-2) 年齢別-運転状況

年齢別に見ると、不安に思いながら運転している人は 20 歳代と 65 歳以上で各年代の 1 割以上いる。運転しない人は、10 歳代の 5 割、60 歳代の約 1 割、70 歳代の約 2 割、80 歳以上の約 4 割である。10 歳代の若年層と 60 歳以上の高齢者で運転しない人の割合が高い。



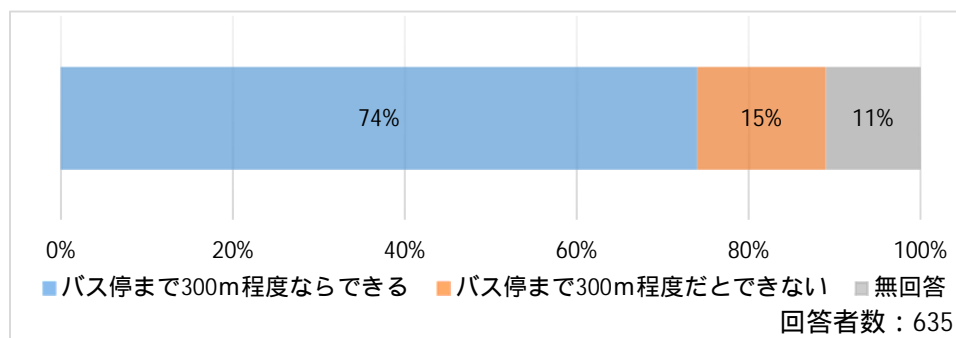
(8) 自分で自由に使える自動車・バイクの保有状況

約 8 割が自分で自由に使える自動車・バイクを保有している。



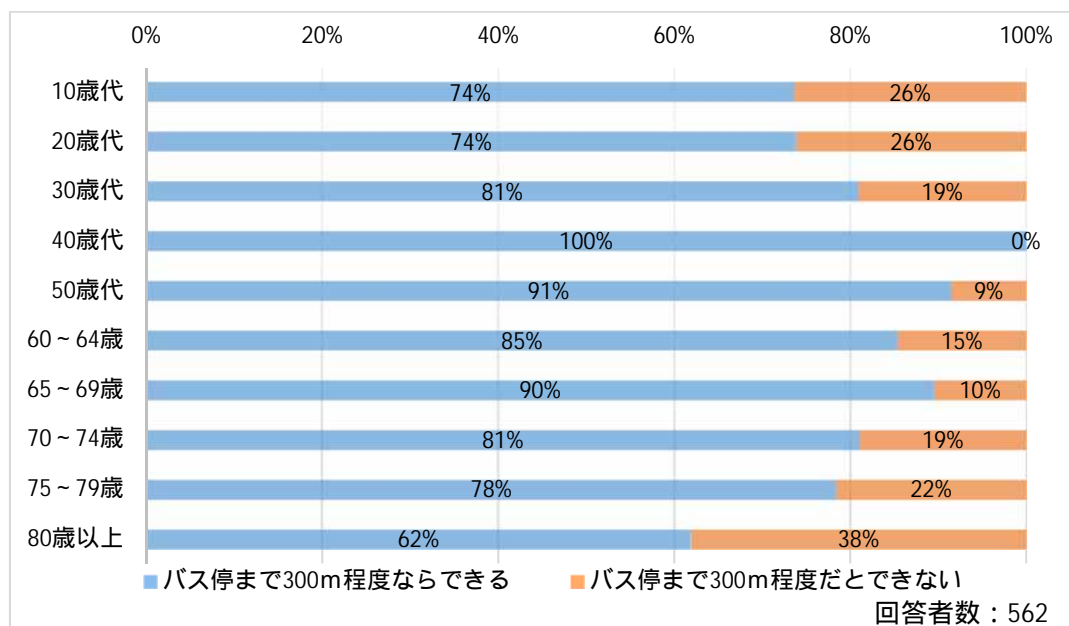
(9-1) バス停までの移動の可否

300m程度のバス停まで歩いての移動ができない人が 15%いる。



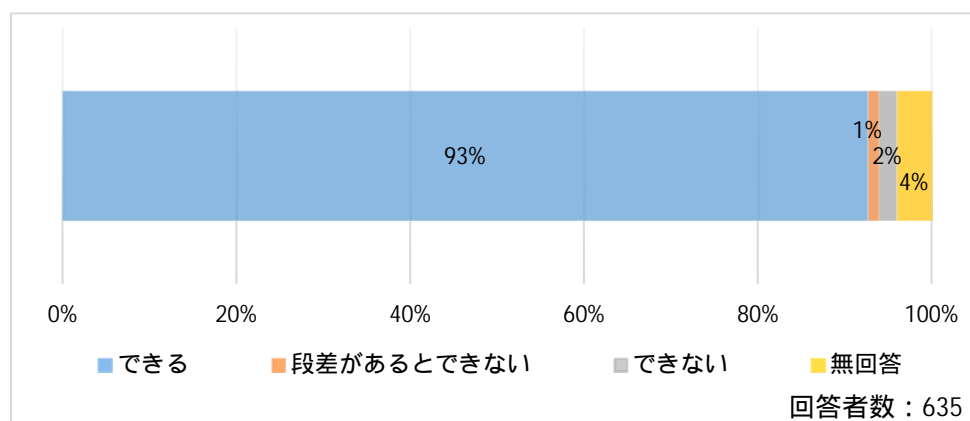
(9-2) 年齢別 - バス停までの移動の可否

300m程度のバス停までの歩いての移動について年齢別に見ると、10～20 歳代と 70 歳代でできないが約 2 割ずついる。80 歳以上では約 4 割が移動できない。



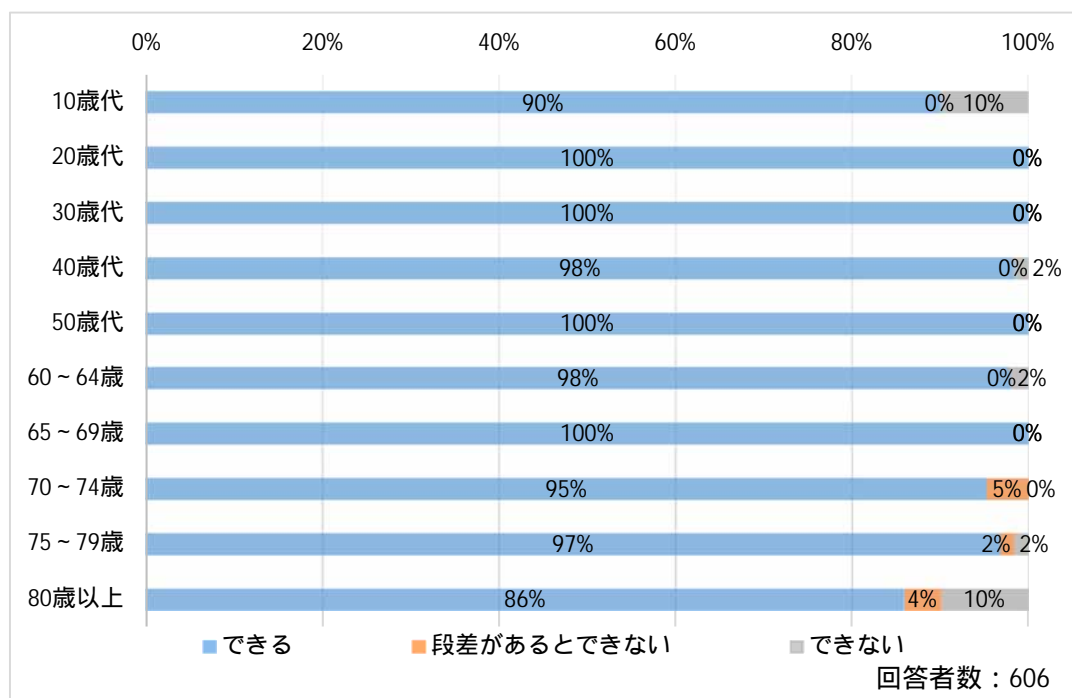
(10-1) 自宅前に車両がきた場合、自力での乗車可否

自宅前に車両が来た場合、93%が自力で乗車できる。1%は段差があるとできない。2%はできない。



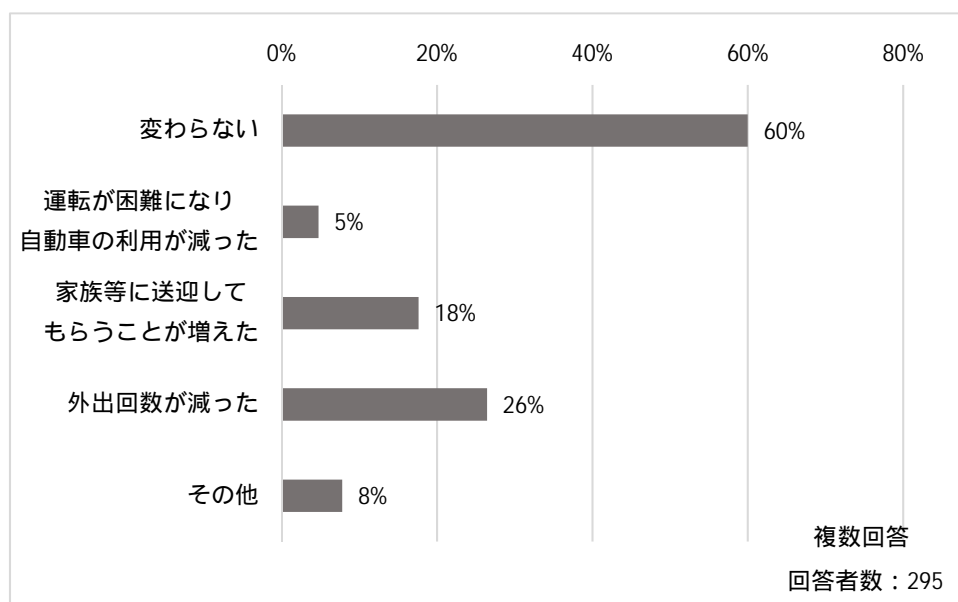
(10-2) 年齢別 - 自宅前に車両がきた場合、自力での乗車可否

自宅前に車両が来た場合の自力での乗車について年齢別に見ると、70～74歳と80歳以上で約5%ずつ段差があるとできない人がある。10歳代と80歳以上の約1割ずつは自力で乗車できない。



(11) 65 歳以上の移動手段の変化

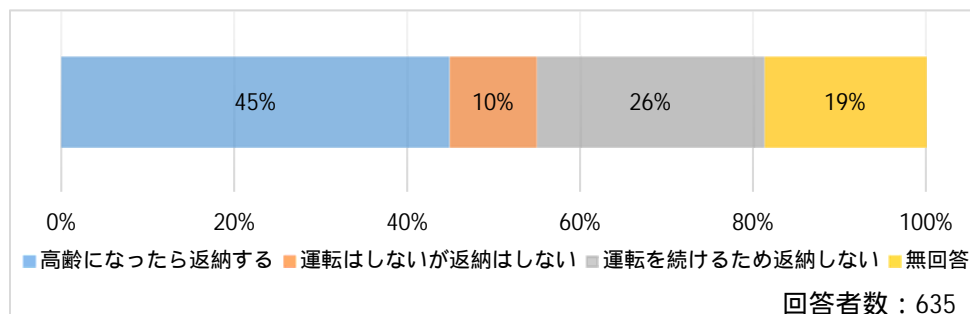
65 歳以上の人の移動手段について、変わらない人が 60%である。外出回数が減った人が 26%、家族等に送迎してもらうことが増えた人が 18%いる。自動車の利用が減った人は 5%である。



2. 運転免許証について

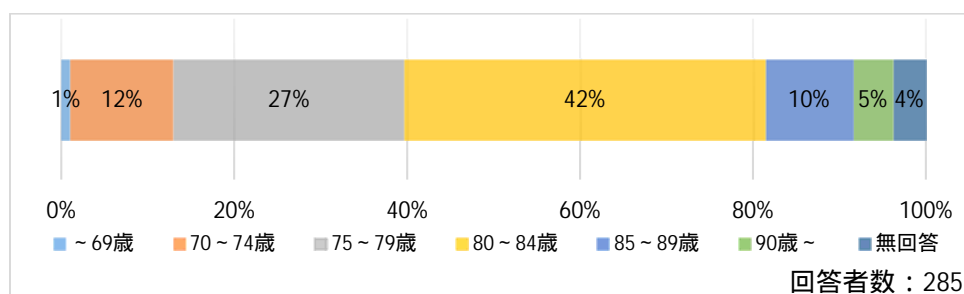
(1-1) 高齢になったときの自動車・バイクの運転免許証返納の考え

高齢になったら運転免許証を返納する人が 45%と最も多い。次に、運転を続けるために返納しない人が 26%と多い。



(1-2) 運転免許証を返納すると答えた方の返納想定年齢

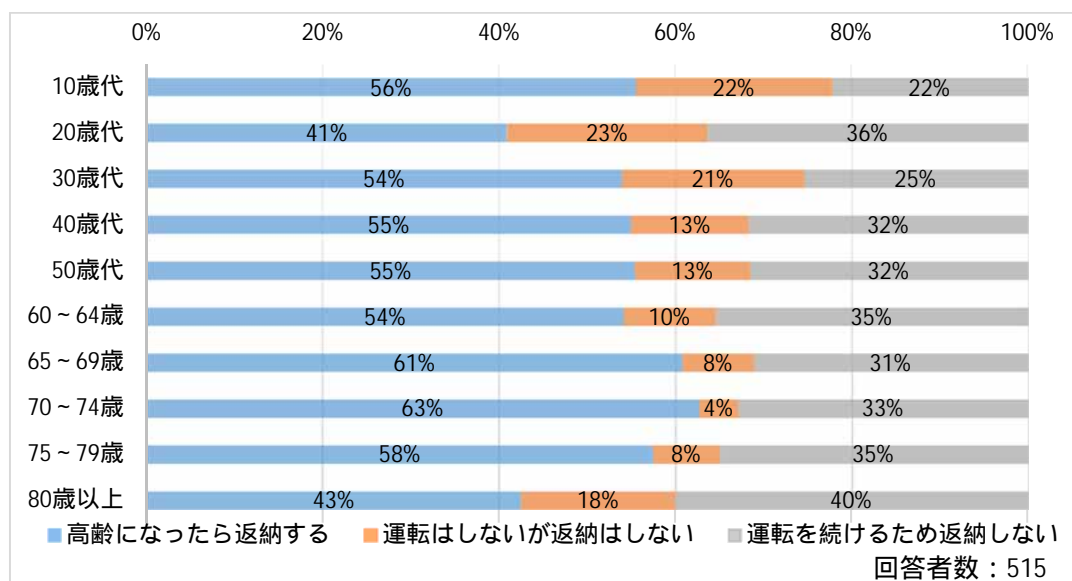
高齢になったら運転免許証を返納すると答えた人の返納想定年齢は、80～84歳が多い。



(1-3) 年齢別 - 高齢になった時の自動車・バイクの運転免許証返納の考え

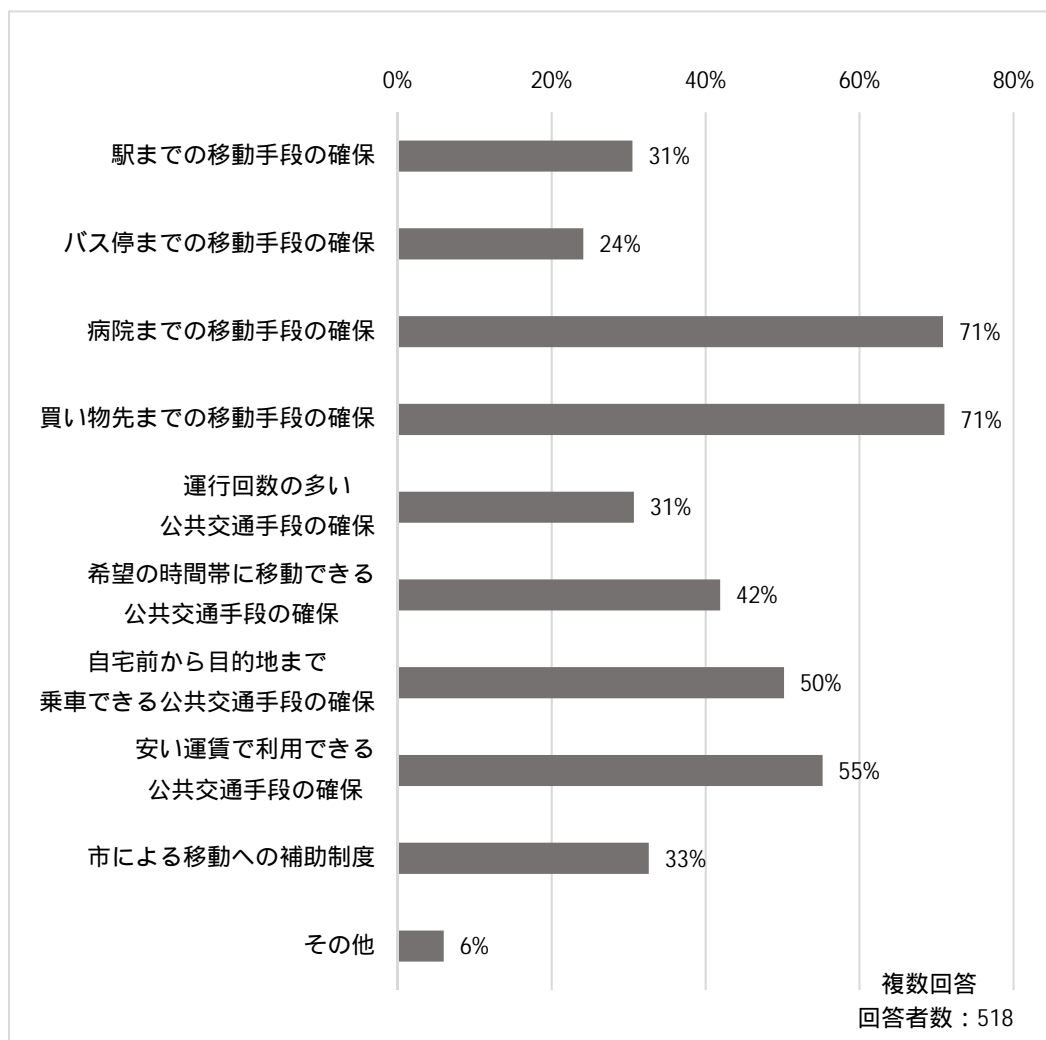
運転免許証の返納の考えについて年齢別に見ると、10～30歳代と80歳以上は運転はしないが返納はしない人の割合が約2割で他の年代に比べて高い。

80歳以上でも運転を続けるために返納しない人が40%いる。



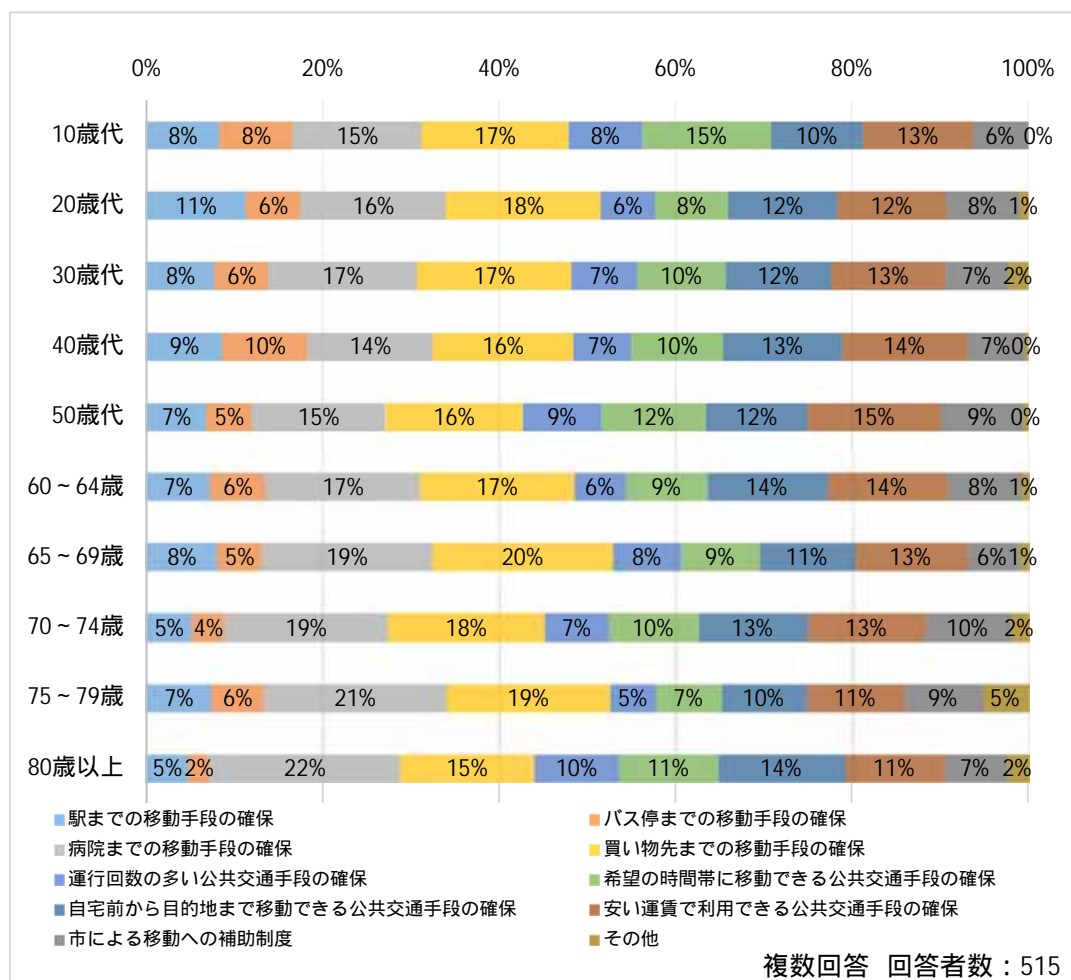
(2-1) 運転免許証を返納するために必要な条件

運転免許証を返納するために、病院までの移動手段の確保と買い物先までの移動手段の確保は約 7 割が必要と考えている。安い運賃で利用できる公共交通手段の確保と自宅前から目的地まで乗車できる公共交通手段の確保も約 5 割が必要と考えている。



(2-2) 年齢別-運転免許証を返納するために必要な条件

運転免許証を返納するために必要な条件を年齢別に見ると、70 歳未満は買い物先までの移動手段の確保が最も多く、70 歳以上は病院までの移動手段の確保が最も多い。



3. 日常的な外出について

【通勤・通学】

(1-1) 外出先住所

通勤・通学の外出先は鉾田市内が最も多い。水戸市や鹿嶋市への移動もある。鉾田市内では鉾田への移動が多い。

市町村	人数	%
鉾田市	96	43.8%
水戸市	33	15.1%
鹿嶋市	25	11.4%
行方市	17	7.8%
神栖市	7	3.2%
茨城町	6	2.7%
ひたちなか市	6	2.7%
大洗町	5	2.3%
小美玉市	5	2.3%
石岡市	3	1.4%
潮来市	3	1.4%
土浦市	3	1.4%
つくば市	2	0.9%
東海村	2	0.9%
日立市	2	0.9%
稲敷市	1	0.5%
茨城	1	0.5%
茨城県	1	0.5%
東京都	1	0.5%
total	219	100.0%

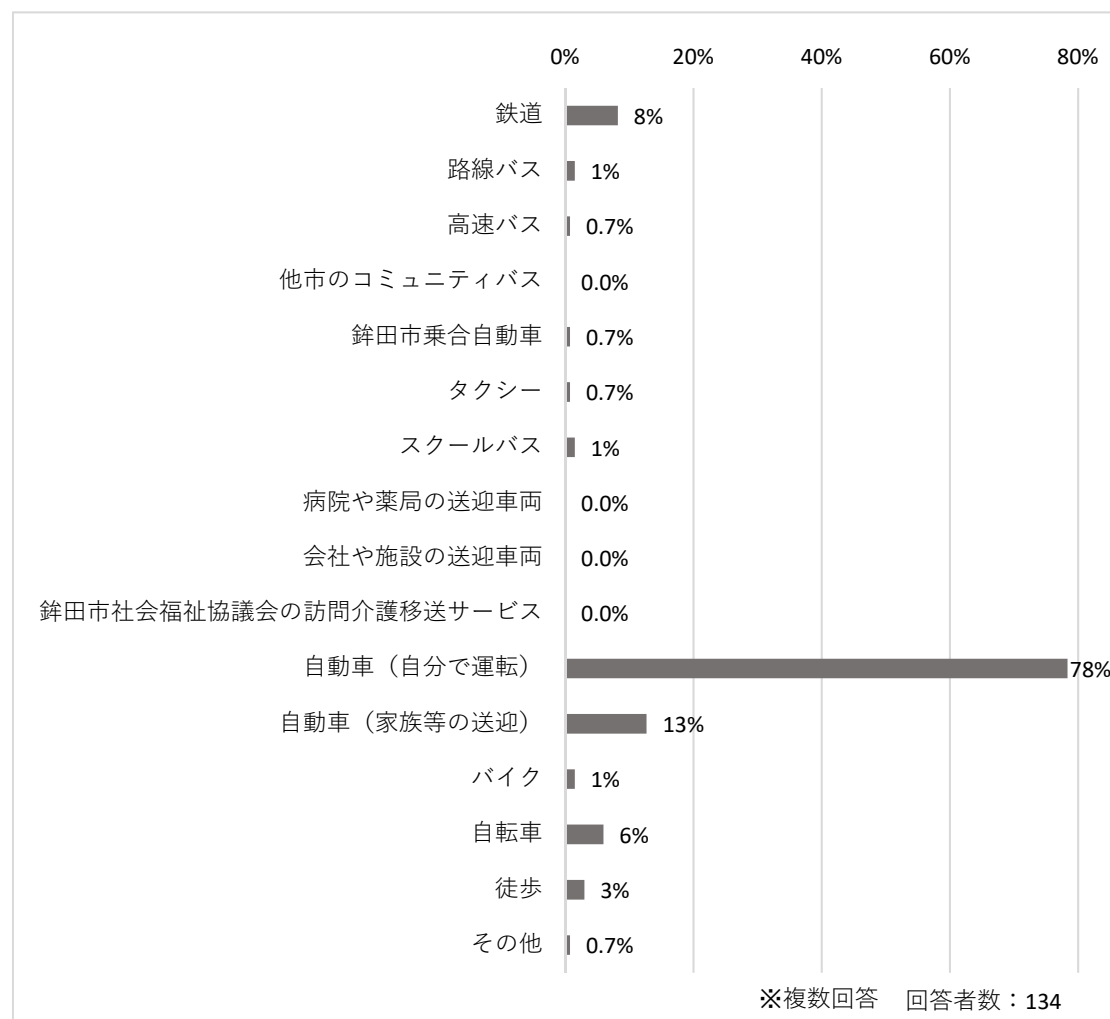
鉾田市字	人数	%
鉾田	20	24.4%
縦山	6	7.3%
安房	5	6.1%
飯島	4	4.9%
柏熊	4	4.9%
汲上	4	4.9%
新鉾田	4	4.9%
造谷	4	4.9%
上沢	3	3.7%
串挽	3	3.7%
舟木	3	3.7%
畑田	2	2.4%
玉田	2	2.4%
当間	2	2.4%
徳宿	2	2.4%
荒地	1	1.2%
飯名	1	1.2%
上幡木	1	1.2%
勝下新田	1	1.2%
子生	1	1.2%
台濁沢	1	1.2%
高田	1	1.2%
田崎	1	1.2%
中居	1	1.2%
半原	1	1.2%
札	1	1.2%
箕輪	1	1.2%
安塚	1	1.2%
湯坪	1	1.2%
total	82	100.0%

通勤・通学の移動は、諏訪・新宮地区から鉾田地区へ、旭西地区、旭東地区、諏訪・新宮地区から水戸市へ、大洋南地区から鹿嶋市への移動が多い。



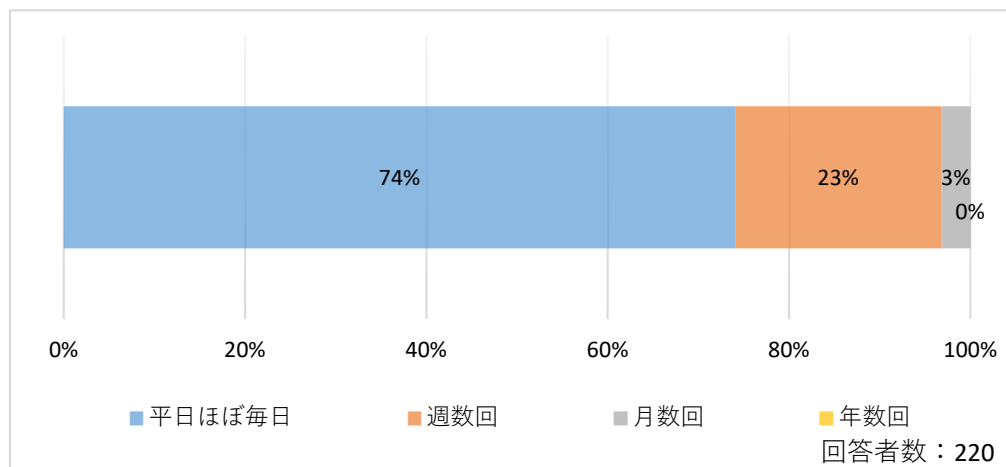
(2) 交通手段

通勤・通学は自分で運転する自動車で移動する人が 78%である。家族等の送迎で移動する人も 13%いる。鉄道の利用は 8%、路線バスの利用は 1%である。



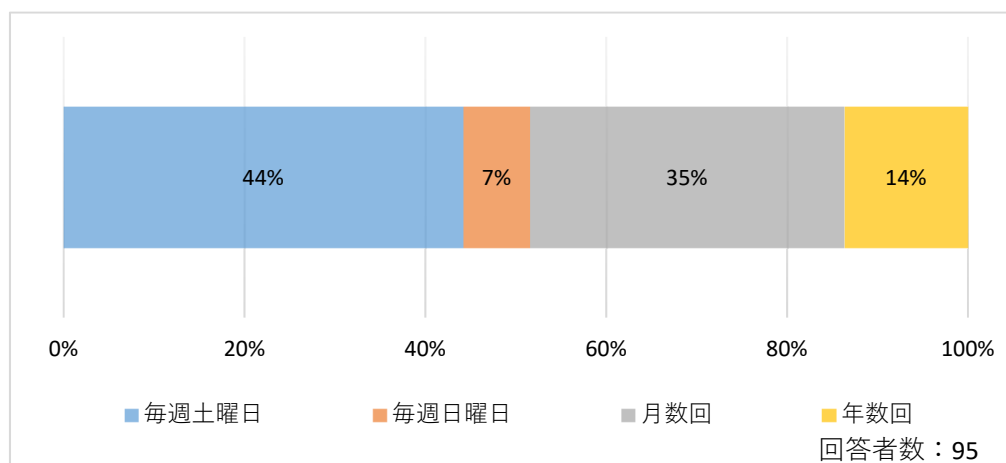
(3) 平日に行く頻度

通勤・通学の平日の移動頻度は、ほぼ毎日移動する人が74%である。



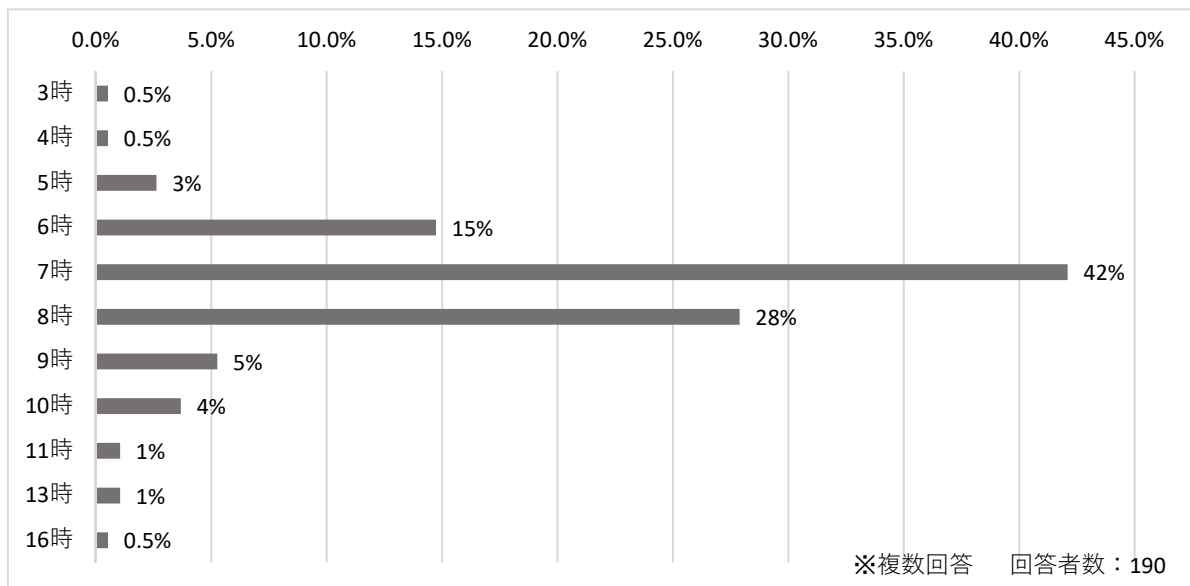
(4) 土日祝に行く頻度

通勤・通学の土日祝日の移動頻度は、毎週土曜が44%、月数回が35%である。



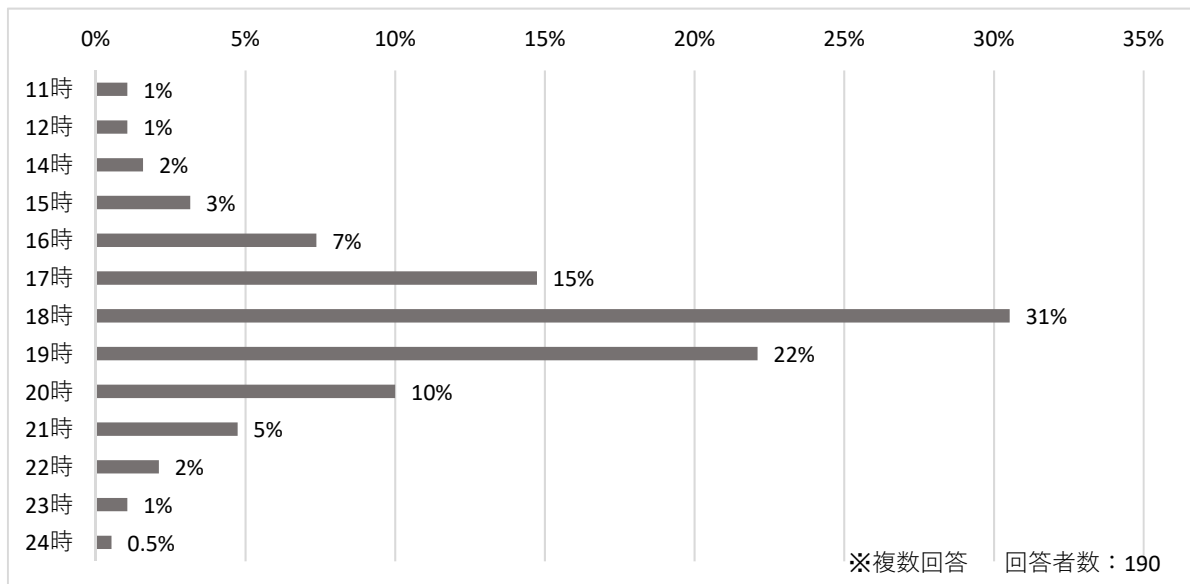
(5-1) 外出時刻

通勤・通学の外出時刻は 7 時台がピークで 42%である。



(5-2) 帰宅時刻

通勤・通学の帰宅時刻は 18 時台がピークで 31%である。



【買い物(食料品・日用品)】

(1-1) 外出先住所

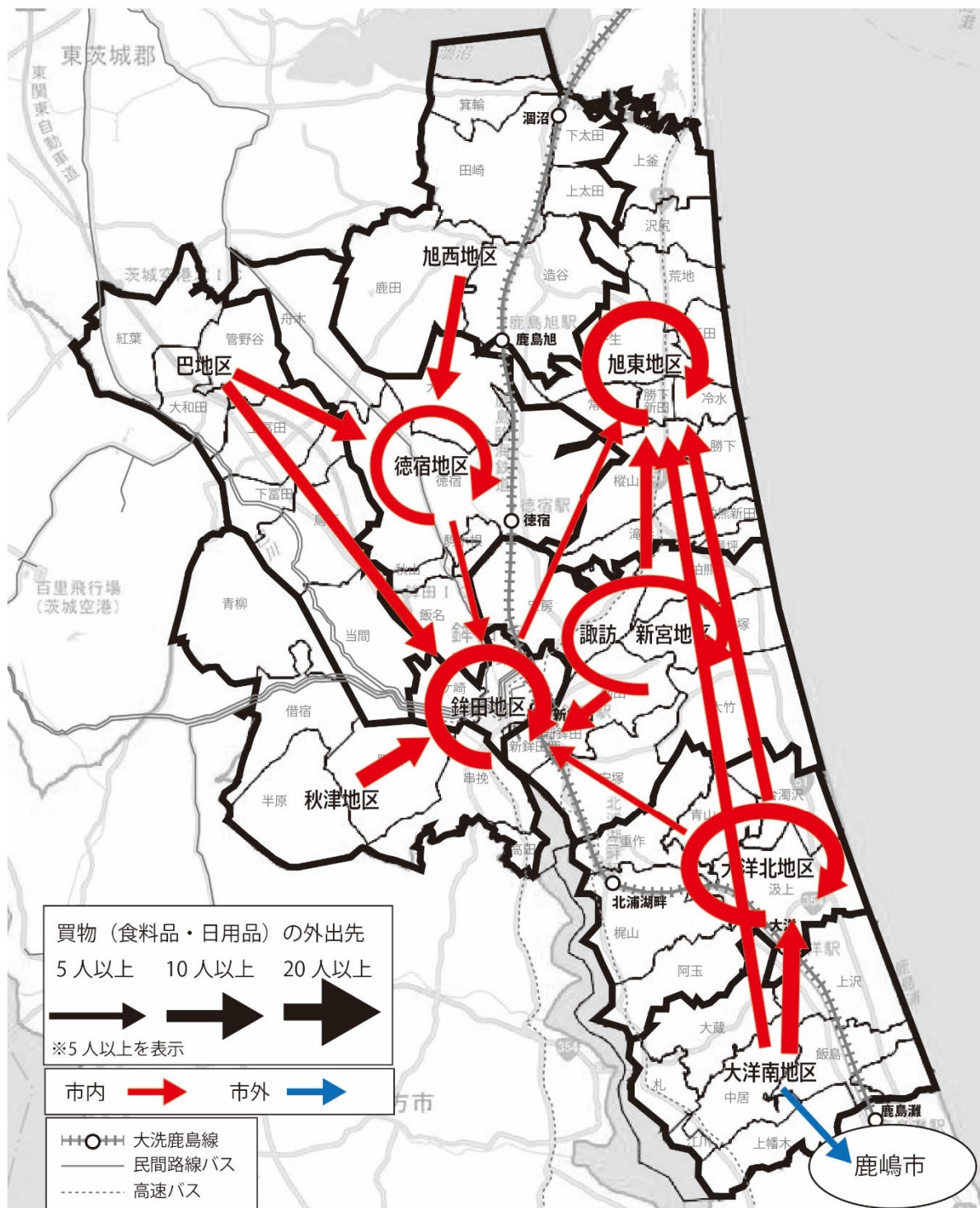
買い物(食料品・日用品)の外出先は銚田市内が9割を超える。水戸市や鹿嶋市への移動もある。銚田市内では滝浜、塔ヶ崎、汲上への移動が多い。

市町村	人数	%
銚田市	431	91.1%
水戸市	16	3.4%
鹿嶋市	10	2.1%
行方市	5	1.1%
茨城町	4	0.8%
小美玉市	4	0.8%
大洗町	2	0.4%
ひたちなか市	1	0.2%
total	473	100.0%

銚田市字	人数	%
滝浜	98	29.4%
塔ヶ崎	55	16.5%
汲上	54	16.2%
舟木	51	15.3%
銚田	37	11.1%
安房	28	8.4%
新銚田	5	1.5%
大竹	1	0.3%
柏熊	1	0.3%
造谷	1	0.3%
当間	1	0.3%
中居	1	0.3%
total	333	100.0%

(1-2) 居住地区別-外出先住所

食料品・日用品の買い物の移動は各地区内の移動が多い。近隣地区から旭東地区、鉾田地区、大洋北地区への移動も多い。また、大洋南地区は鹿嶋市への移動もある。



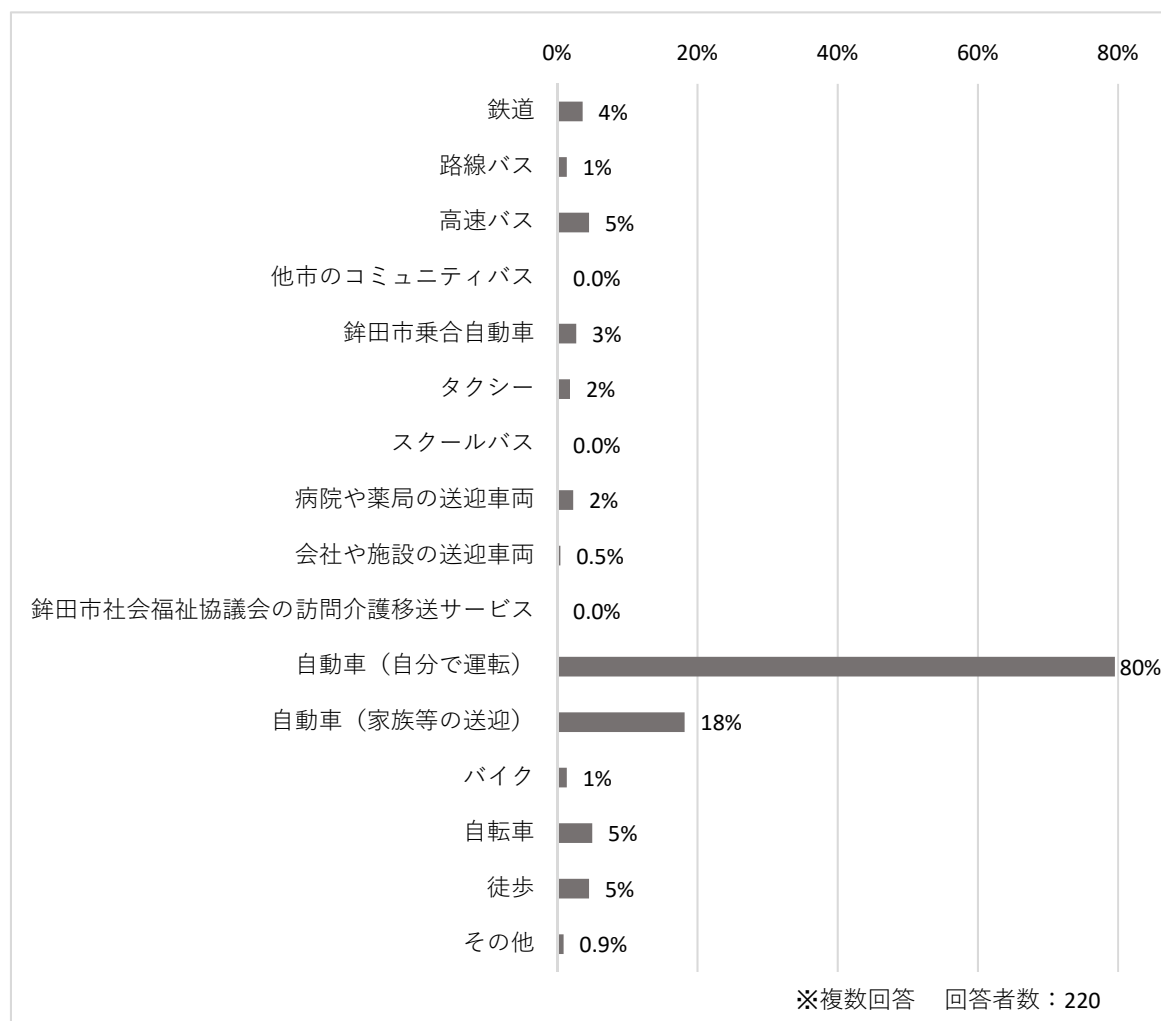
(1-3) 外出先施設

食料品・日用品の買い物の外出先施設は、タイヨービックハウス銚田店やカスミ、セイミヤなどのスーパーが多い。

	人数	%
タイヨービックハウス銚田店	125	22.5%
カスミ	69	12.4%
カスミフードスクエア銚田店	53	9.5%
セイミヤ	47	8.5%
フードマーケットカスミ大洋店	47	8.5%
セイミヤ銚田舟木店	43	7.7%
フーズマーケットハピネ銚田店	33	5.9%
セイミヤ銚田安房店	28	5.0%
ウエルシア	13	2.3%
コメリ	10	1.8%
ホームセンター山新銚田店	10	1.8%
スーパー	6	1.1%
セブンイレブン	6	1.1%
トライウェル銚田店	6	1.1%
カワチ薬品銚田店	5	0.9%
イオンタウン水戸南	3	0.5%
イオンモール水戸内原	3	0.5%
ジャスコ	3	0.5%
ヌカガスター	3	0.5%
マツモトキヨシ	3	0.5%
クリエイト	2	0.4%
セイブけやき台店	2	0.4%
ダイソー	2	0.4%
ベイシア玉造店	2	0.4%
ヤックスドラッグ	2	0.4%
ヨークベニマル	2	0.4%
その他1票の施設	28	5.0%
total	556	100.0%

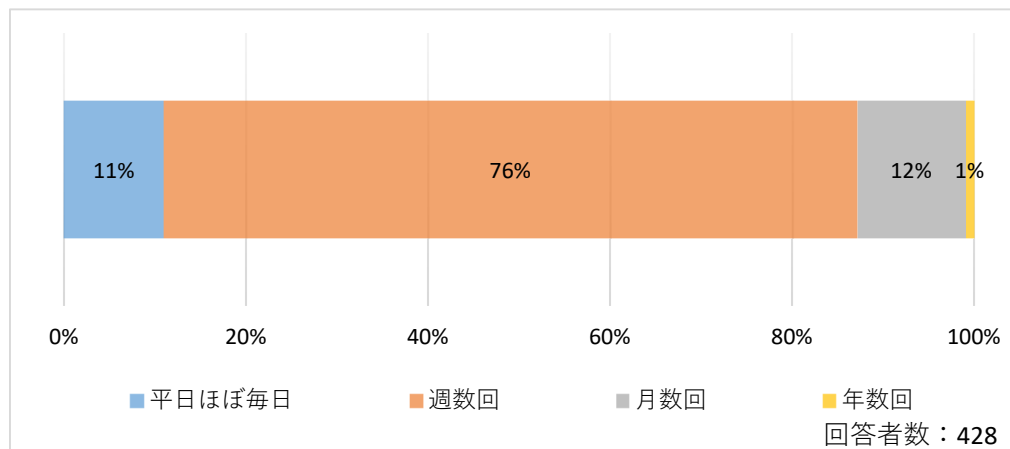
(2) 交通手段

食料品・日用品の買い物の移動手段として、約 8 割が自分で運転する自動車を利用している。18%が家族等の送迎を利用しており、5%が高速バスを利用している。



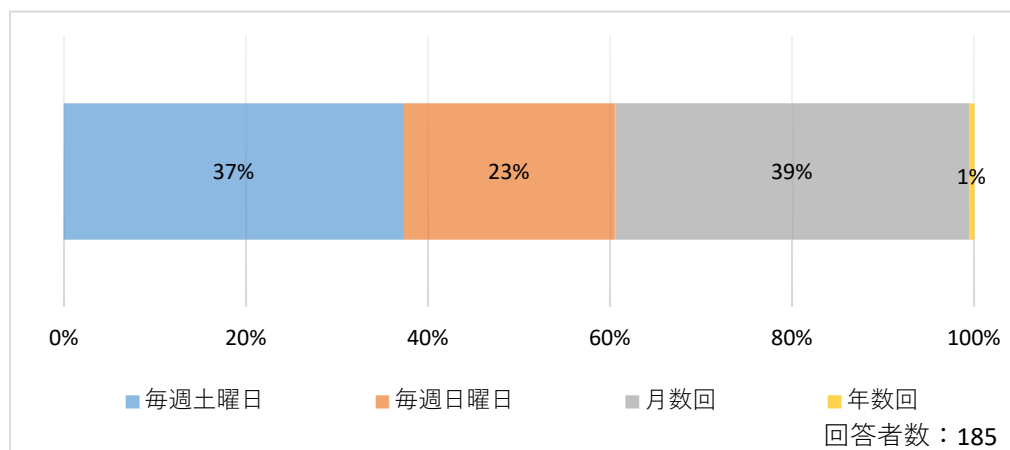
(3) 平日に行く頻度

食料品・日用品の買い物に平日に行く頻度は、週数回移動する人が76%である。



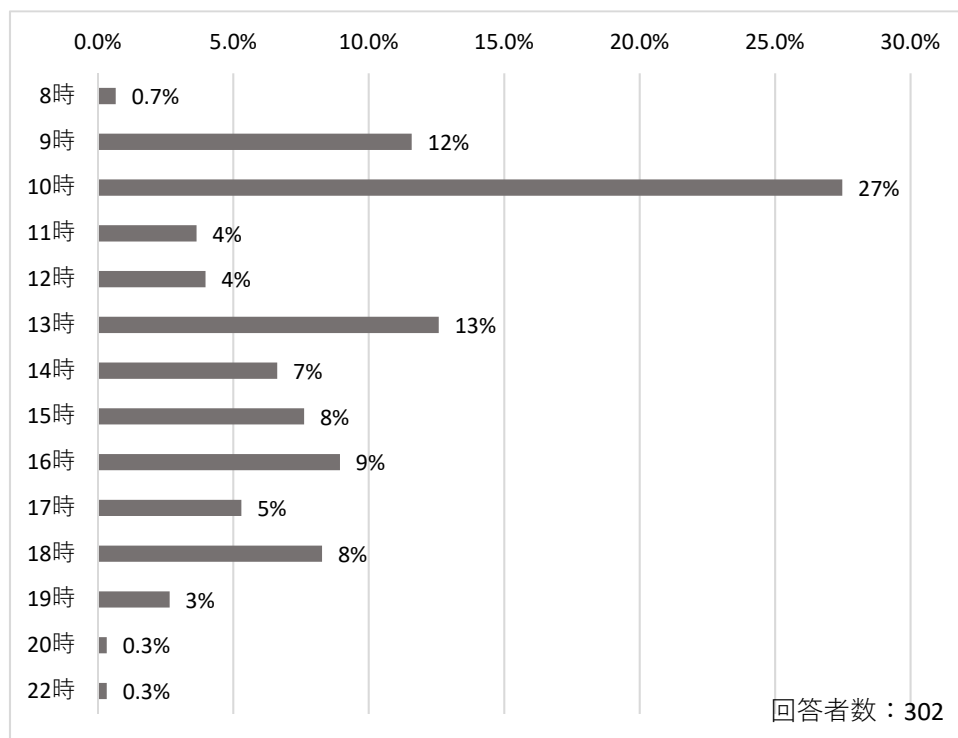
(4) 土日祝に行く頻度

食料品・日用品の買い物に土日祝日に行く頻度は、毎週土曜日が37%、月数回が39%である。



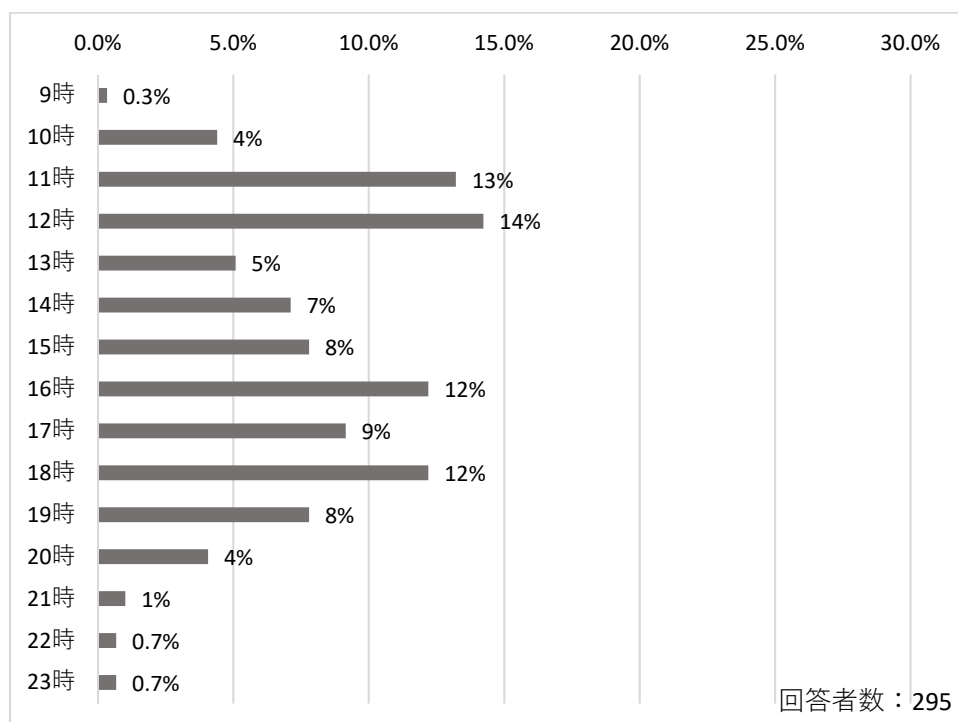
(5-1) 外出時刻

食料品・日用品の買い物の外出時刻は 10 時台がピークで 27%である。



(5-2) 帰宅時刻

食料品・日用品の買い物の帰宅時刻は 12 時台がピークで 14%である。11 時台、16 時台、18 時台も 1 割以上の方が帰宅しており、帰宅時刻が分散している。



【買い物(食料品・日用品以外)】

(1-1) 外出先住所

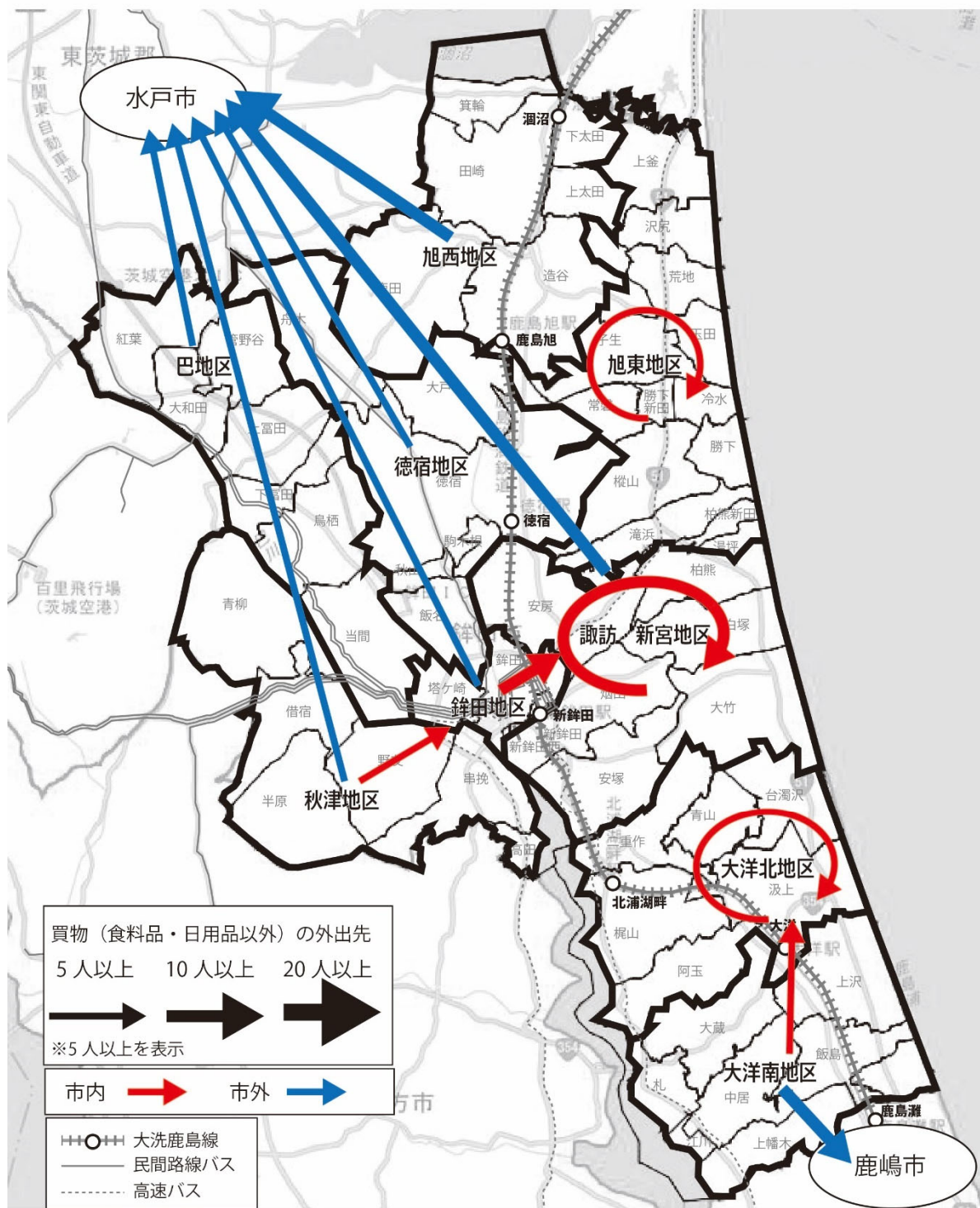
食料品・日用品以外の買い物の外出先は鉾田市内が約 6 割である。水戸市や鹿嶋市への移動もある。
鉾田市内では安房への移動が多い

市町村	人数	%
鉾田市	192	63%
水戸市	63	21%
鹿嶋市	24	8%
ひたちなか市	10	3%
茨城町	4	1%
神栖市	4	1%
土浦市	2	1%
行方市	2	1%
石岡市	1	0%
小山市	1	0%
つくば市	1	0%
大洗町	1	0%
total	305	100%

鉾田市字	人数	%
安房	77	46%
汲上	17	10%
鉾田	15	9%
畑田	14	8%
滝浜	14	8%
舟木	14	8%
塔ヶ崎	10	6%
樅山	2	1%
飯名	1	1%
新鉾田	1	1%
玉田	1	1%
造谷	1	1%
total	167	100%

(1-2) 居住地区別-外出先住所

食料品・日用品以外の買い物の移動は、市北部の旭西地区、徳宿地区、巴地区、秋津地区、鉾田地区、諏訪・新宮地区から水戸市へ、市南部の大洋南地区から鹿嶋市への移動が多い。旭東地区、諏訪・新宮地区、大洋北地区は地区内の移動が多い。



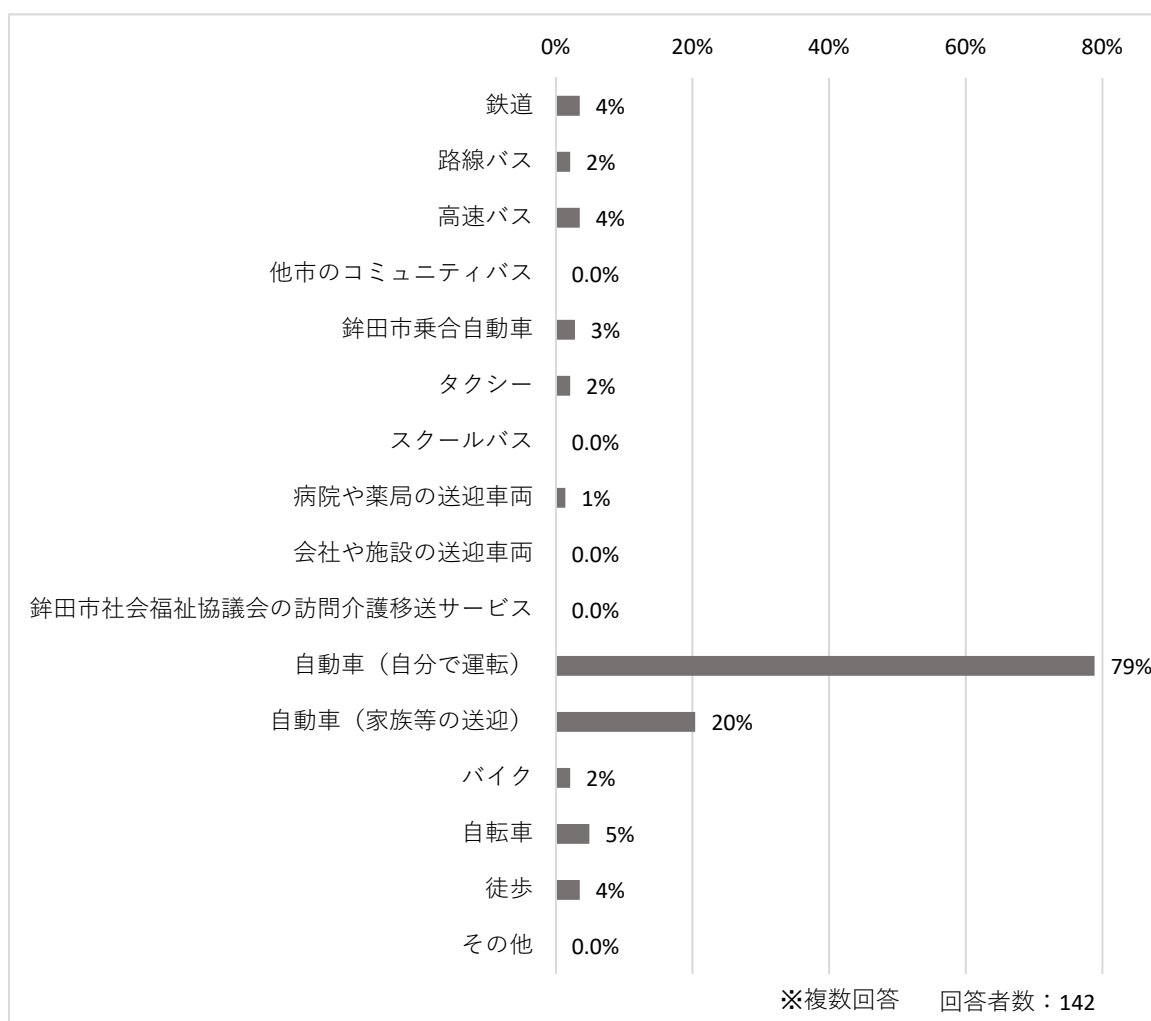
(1-3) 外出先施設

食料品・日用品以外の買い物の外出先施設はホームセンター山新鉾田店、イオンモール水戸内原が多い。市内だけでなく市外への移動もある。

	人数	%
ホームセンター山新鉾田店	68	20.0%
イオンモール水戸内原	23	6.8%
コメリ	20	5.9%
カワチ薬品鉾田店	18	5.3%
京成百貨店	15	4.4%
しまむら鉾田店	14	4.1%
タイヨービッグハウス鉾田店	14	4.1%
カスミ	11	3.2%
ヤックスドラッグ鉾田店	11	3.2%
セイミヤ	10	2.9%
ウエルシア	8	2.4%
コメリ鉾田塔ヶ崎店	8	2.4%
イオン鹿島店	7	2.1%
ハビネ鉾田店	7	2.1%
マツモトキヨシ	7	2.1%
コメリ大洋店	6	1.8%
イオン	5	1.5%
イオンタウン水戸南	4	1.2%
ケーズデンキ	4	1.2%
クリエイト	3	0.9%
ケーズデンキ鉾田店	3	0.9%
ジャスコ	3	0.9%
ジョイフル本田	3	0.9%
ファッションクルーズ	3	0.9%
イオンモール土浦	2	0.6%
ウエルシア鉾田舟木店	2	0.6%
カスミフードスクエア鉾田店	2	0.6%
ガソリンスタンド	2	0.6%
川又書店	2	0.6%
ダイソー	2	0.6%
トライウエル	2	0.6%
パシオス	2	0.6%
ベイシア	2	0.6%
ホームック	2	0.6%
その他1票の施設	45	13.2%
total	340	100.0%

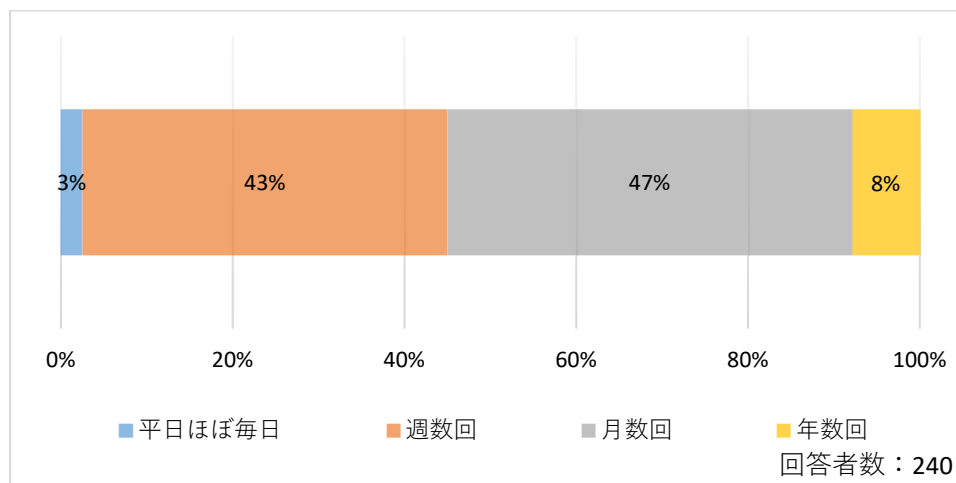
(2) 交通手段

食料品・日用品以外の買い物の交通手段は、79%が自分で運転する自動車である。鉄道は 4%、路線バスは 2%、高速バスは 4%に利用されている。



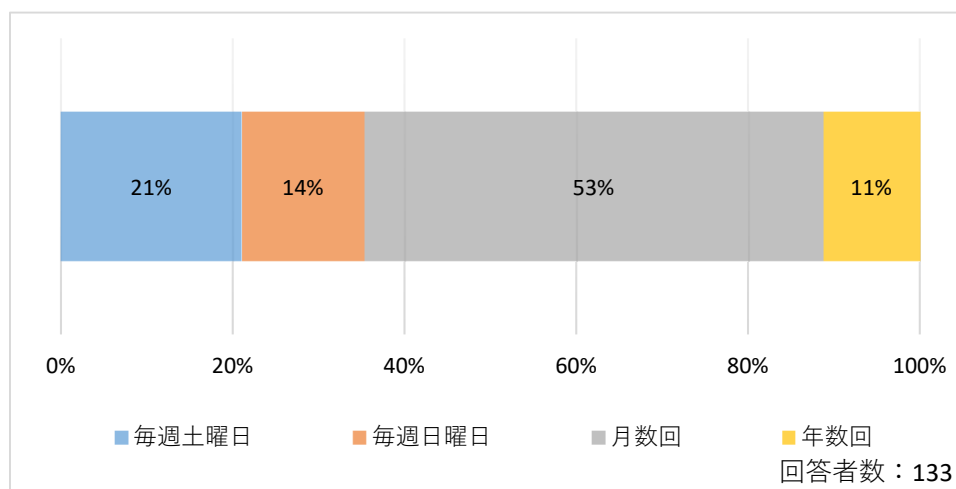
(3) 平日に行く頻度

食料品・日用品以外の買い物に平日に行く頻度は、月数回行く人が 47%、週数回行く人が 43%である。



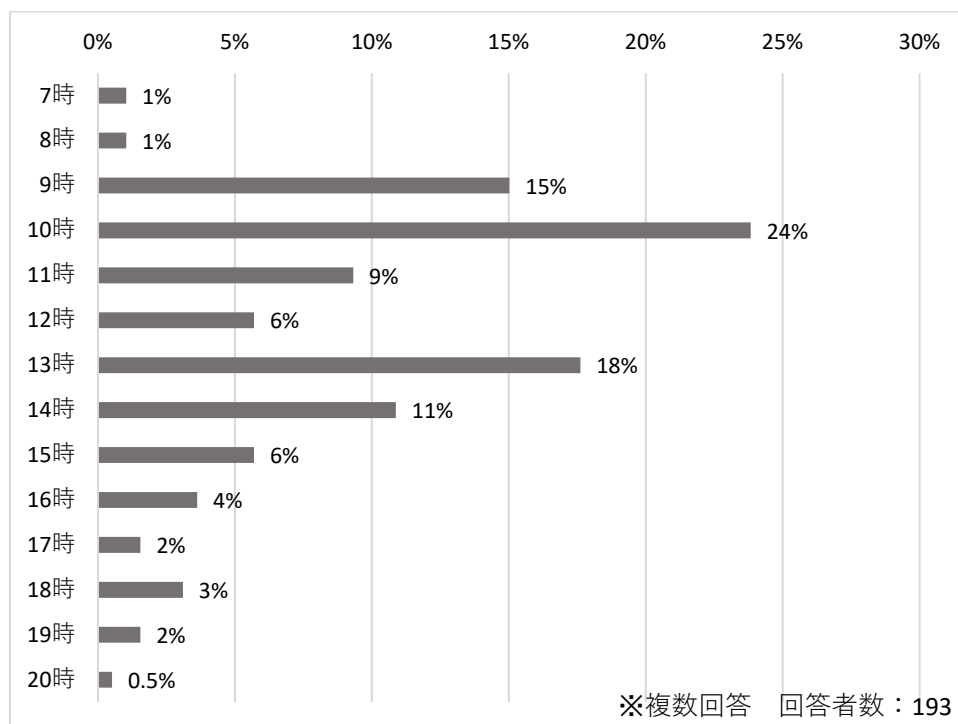
(4) 土日祝に行く頻度

食料品・日用品以外の買い物に土日・祝日に行く頻度は、月数回行く人が 53%である。



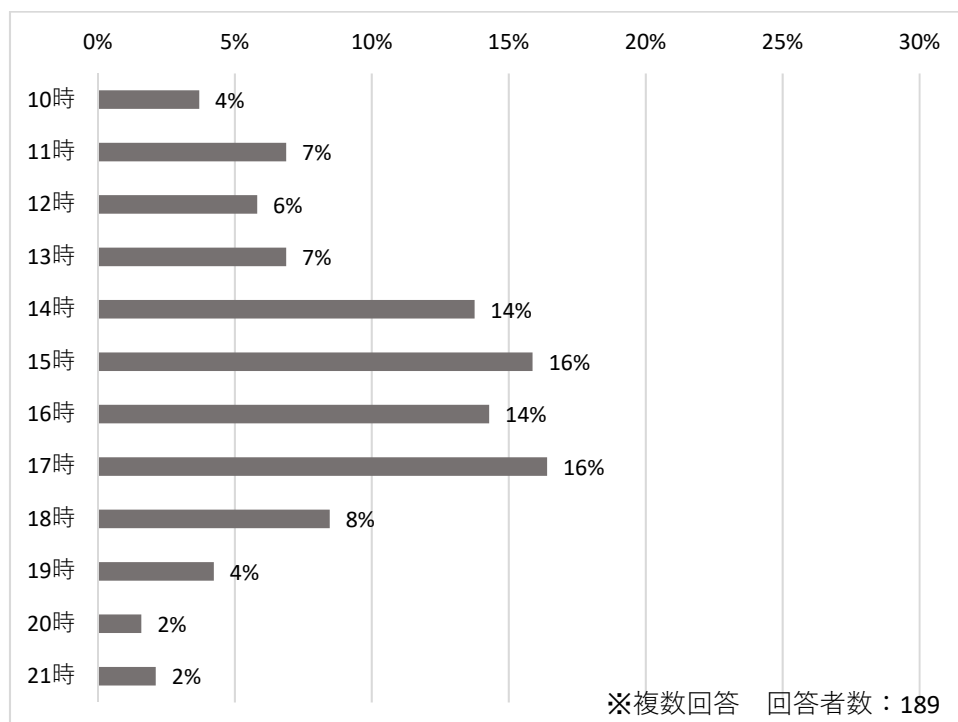
(5-1) 外出時刻

食料品・日用品以外の買い物の外出時刻は 10 時台がピークであり 24%である。13 時台も 18%いる。



(5-2) 帰宅時刻

食料品・日用品以外の買い物の帰宅時刻は 14 時台から 17 時台に約 15%ずつ分散している。



【通院】

（１－１）外出先住所

通院の移動は鉾田市内が 46％で最も多い。水戸市への移動もある。鉾田市内では鉾田、汲上、安房が多い。

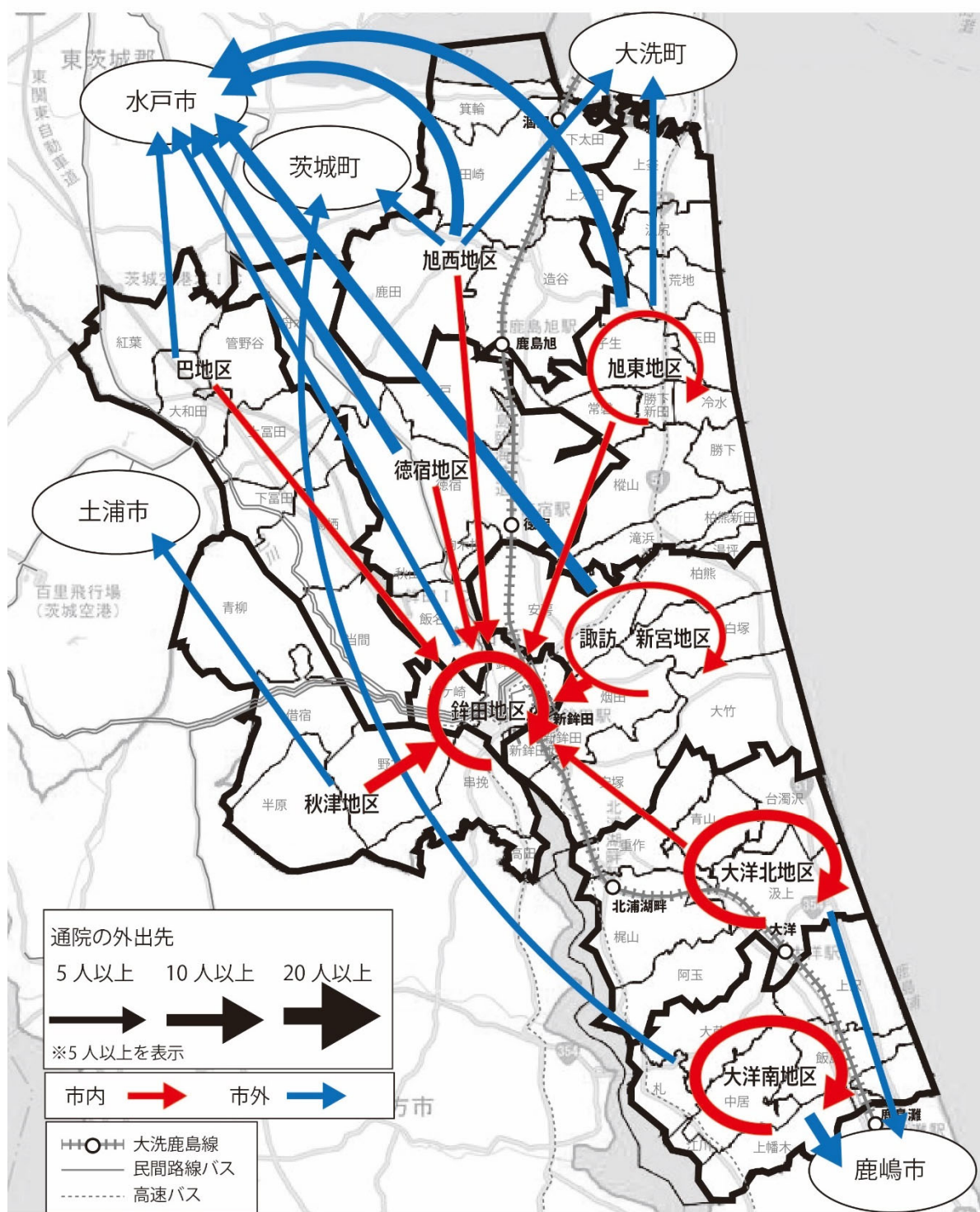
市町村	人数	%
鉾田市	176	46.4%
水戸市	80	21.1%
茨城町	30	7.9%
鹿嶋市	21	5.5%
大洗町	18	4.7%
土浦市	15	4.0%
行方市	15	4.0%
小美玉市	11	2.9%
石岡市	2	0.5%
笠間市	2	0.5%
つくば市	2	0.5%
那珂市	2	0.5%
稲敷市	1	0.3%
大洗市	1	0.3%
神栖市	1	0.3%
東海村	1	0.3%
ひたちなか市	1	0.3%
total	379	100.0%

鉾田市字	人数	%
鉾田	77	45.3%
汲上	35	20.6%
安房	27	15.9%
上幡木	9	5.3%
縦山	9	5.3%
札	6	3.5%
玉田	4	2.4%
舟木	2	1.2%
新鉾田	1	0.6%
total	170	100.0%

(1-2) 居住地区別-外出先住所

通院の移動は、旭東地区、諏訪・新宮地区、鉾田地区、大洋北地区、大洋南地区で地区内の移動が多い。また、各地区から鉾田地区への移動が多い。

近隣市町への移動も多くあり、旭西地区、旭東地区は大洗町へ、旭西地区、旭東地区、徳宿地区、巴地区、鉾田地区、諏訪・新宮地区から水戸市へ、秋津地区から土浦市へ、大洋北地区、大洋南地区から鹿嶋市への移動が多い。



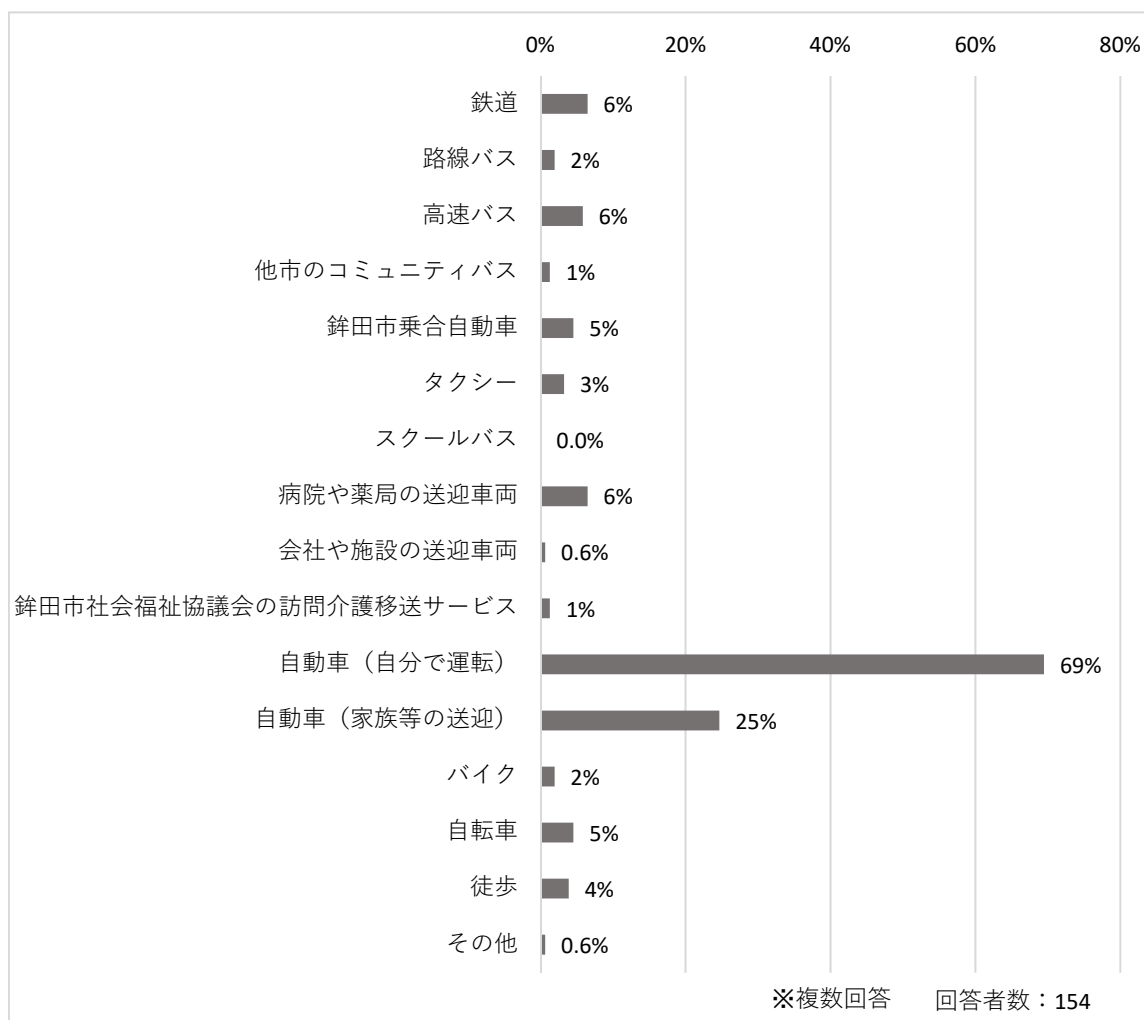
(1-3) 外出先施設

通院の外出先施設はたきもとクリニック、高須病院、鉾田病院が多い。市外の水戸赤十字病院や水戸医療センター、小山記念病院への移動も多い。

	人数	%
たきもとクリニック	40	9.9%
高須病院	36	8.9%
鉾田病院	31	7.7%
水戸赤十字病院	23	5.7%
ハタミクリニック	22	5.4%
水戸医療センター	22	5.4%
小山記念病院	16	4.0%
大洗海岸病院・大洗海岸コアクリニック	13	3.2%
石岡循環器科脳神経外科病院	12	3.0%
土浦協同病院	12	3.0%
なめがた地域医療センター	12	3.0%
たいようクリニック	11	2.7%
鬼沢ファミリークリニック	9	2.2%
縦山診療所	9	2.2%
札クリニック	6	1.5%
上杉医院	6	1.5%
白石医院	5	1.2%
水戸協同病院	5	1.2%
水戸済生会総合病院	5	1.2%
井出整形外科内科クリニック	4	1.0%
神谷医院	4	1.0%
あいざわクリニック	3	0.7%
大場内科クリニック	3	0.7%
そのお眼科	3	0.7%
仲本内科クリニック	3	0.7%
水戸中央病院	3	0.7%
渡辺歯科医院	3	0.7%
相川内科病院	2	0.5%
石崎病院	2	0.5%
茨城県立中央病院	2	0.5%
小美玉市医療センター	2	0.5%
きしろ整形外科クリニック	2	0.5%
北水会記念病院	2	0.5%
さかた医院	2	0.5%
沢田病院	2	0.5%
水府病院	2	0.5%
その他1票の施設	65	16.1%
total	404	100.0%

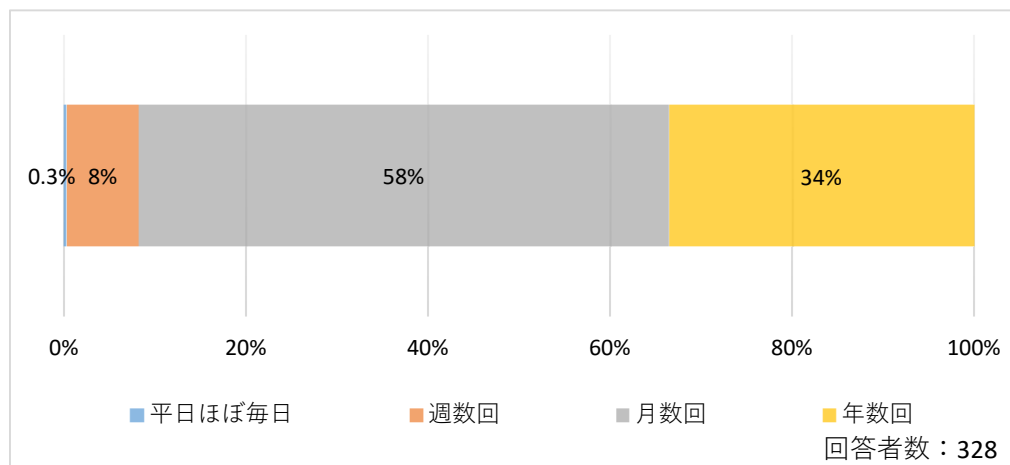
(2) 交通手段

通院の移動手段として、約 7 割が自分で運転する自動車を利用し、25%が家族等の送迎を利用している。6%が鉄道、2%が路線バス、6%が高速バスを利用している。5%は銚田市乗合自動車、7%の人は病院や薬局の送迎車両を利用している。



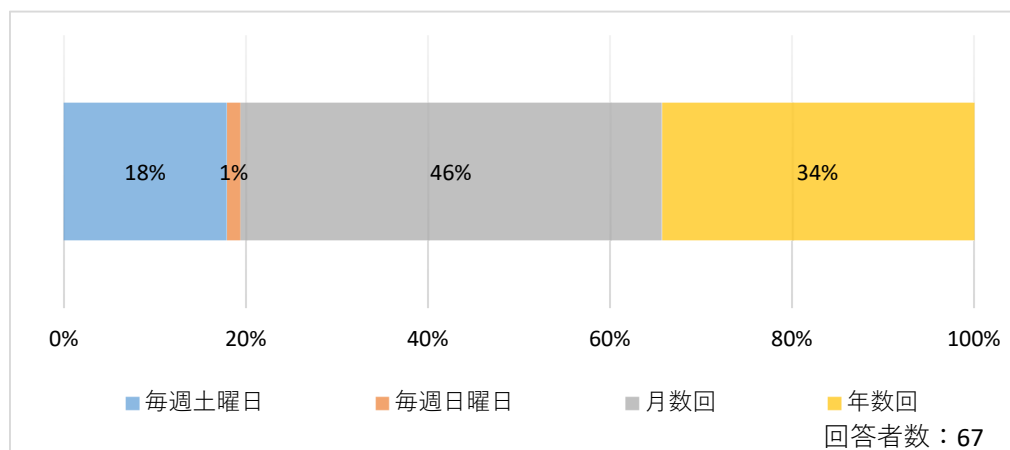
(3) 平日に行く頻度

通院に平日に行く頻度は、月数回行く人が 58%である。



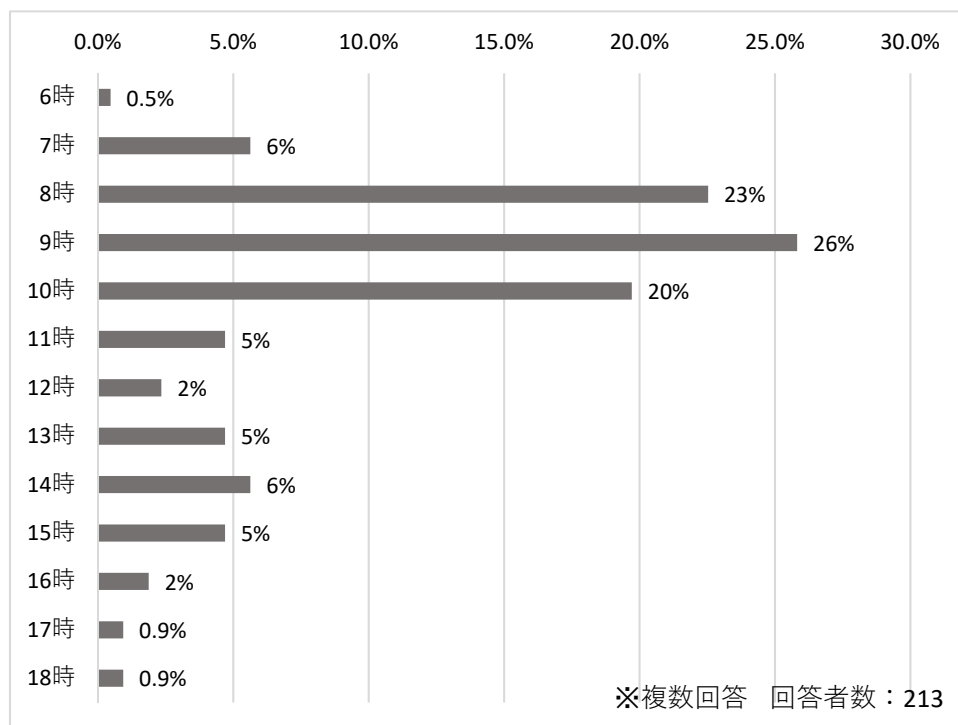
(4) 土日祝に行く頻度

通院に土日祝日に行く頻度は、月数回が 46%である。



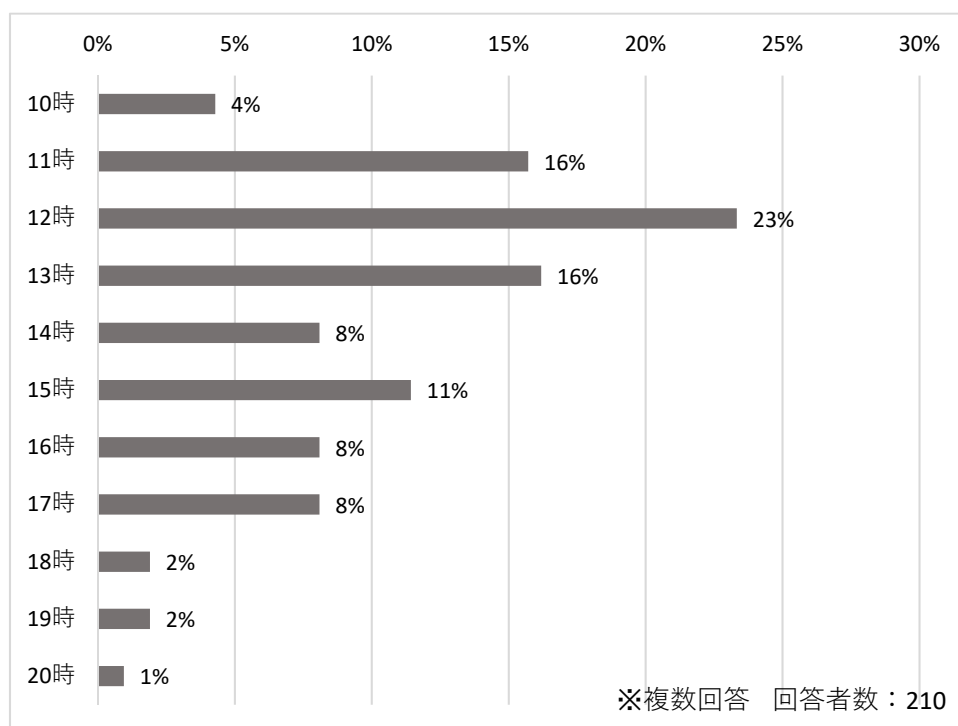
(5-1) 外出時刻

通院の外出時刻は 8 時台から 10 時台が多く、ピークは 9 時台の 26%である。



(5-2) 帰宅時刻

通院の帰宅時刻は 12 時台にピークがあり、23%である。



【その他(公共施設利用・趣味等)】

(1-1) 外出先住所

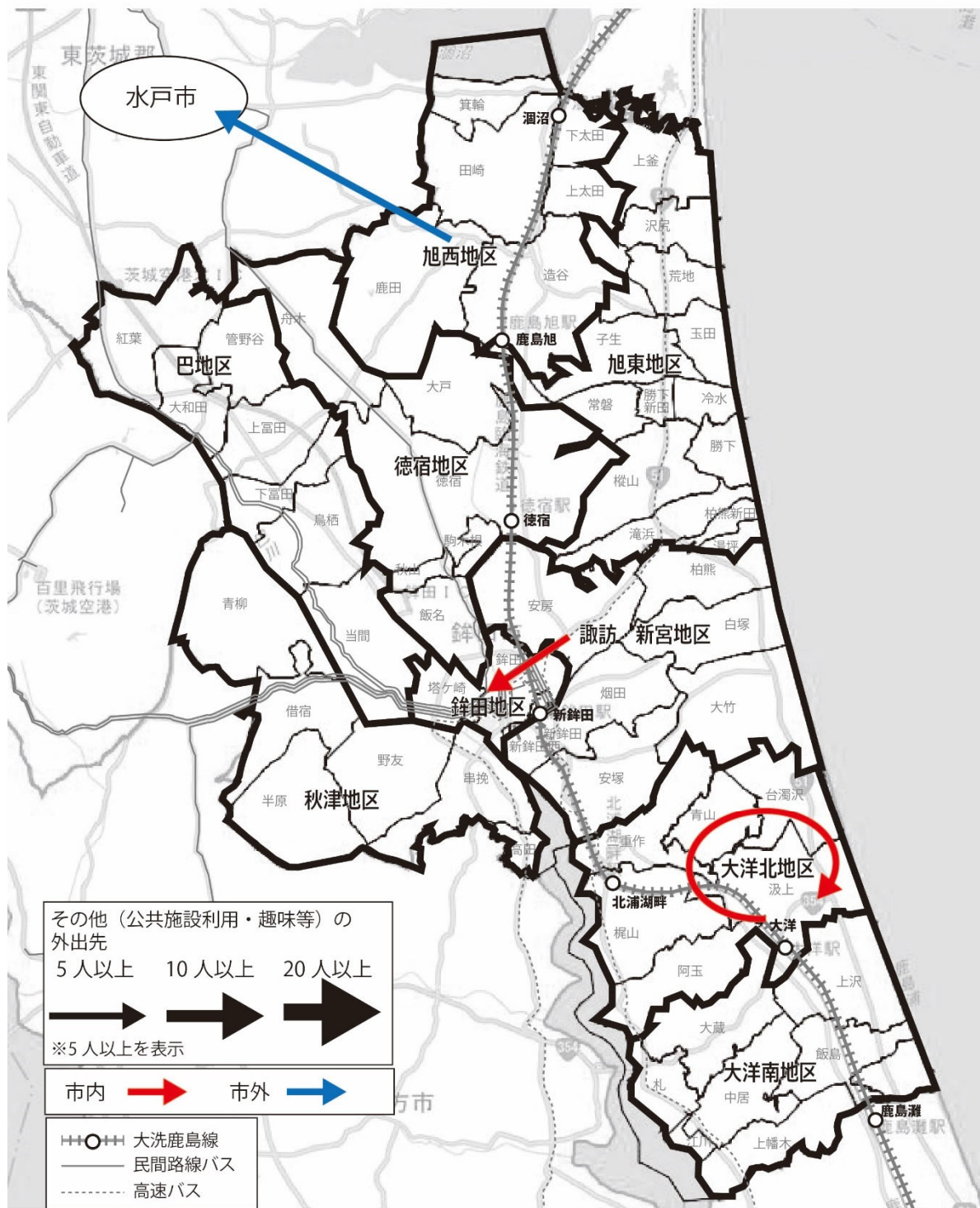
公共施設利用・趣味等のその他の目的の外出先は市内が約 5 割である。水戸市への移動もある。鉾田市内では鉾田や汲上への移動が多い。

市町村	人数	%
鉾田市	61	51.7%
水戸市	23	19.5%
ひたちなか市	6	5.1%
東京都	5	4.2%
行方市	5	4.2%
大洗町	3	2.5%
鹿嶋市	3	2.5%
浦安市	2	1.7%
笠間市	2	1.7%
土浦市	2	1.7%
潮来市	2	1.7%
石岡市	1	0.8%
小美玉市	1	0.8%
常陸太田市	1	0.8%
横浜市	1	0.8%
total	118	100.0%

鉾田市字	人数	%
鉾田	18	31.0%
汲上	12	20.7%
当間	8	13.8%
新鉾田	4	6.9%
大蔵	2	3.4%
上沢	2	3.4%
造谷	2	3.4%
青柳	1	1.7%
青山	1	1.7%
柏熊	1	1.7%
上釜	1	1.7%
上幡木	1	1.7%
塔ヶ崎	1	1.7%
徳宿	1	1.7%
半原	1	1.7%
安房	1	1.7%
鳥栖	1	1.7%
total	58	100.0%

(1-2) 居住地区別-外出先住所

公共施設利用・趣味等のその他の目的の移動は、大洋北地区内での移動、諏訪新宮地区から鉾田地区への移動が多い。市外への移動として、旭西地区から水戸市への移動が多い。



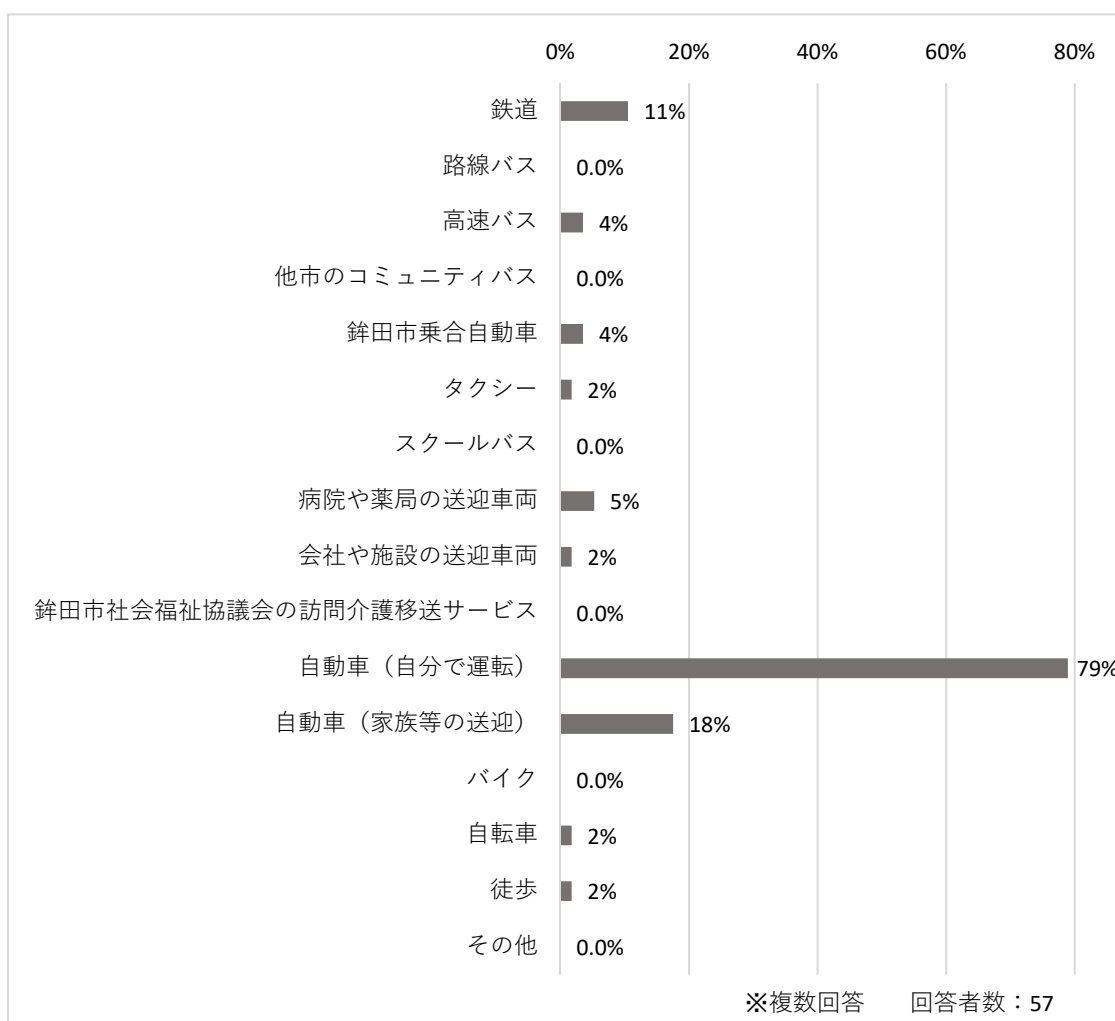
(1-3) 外出先施設

公共施設利用・趣味等のその他の目的の外出先施設は、大洋公民館や銚田市立図書館、ほっとパーク銚田等の公共施設への移動が多い。1票のみの施設の回答が多く、行先が多岐にわたっている。

	人数	%
図書館	10	8.2%
大洋公民館	7	5.7%
ほっとパーク銚田	6	4.9%
スポーツプラザ山新銚田	5	4.1%
銚田市役所	5	4.1%
イオンモール水戸内原	4	3.3%
銚田中央公民館	3	2.5%
旭公民館	2	1.6%
東京ディズニーリゾート	2	1.6%
東京ドーム	2	1.6%
とっぷ・さんて大洋	2	1.6%
ともえ荘	2	1.6%
ファッションクルーズ	2	1.6%
その他1票の施設	70	57.4%
total	122	100.0%

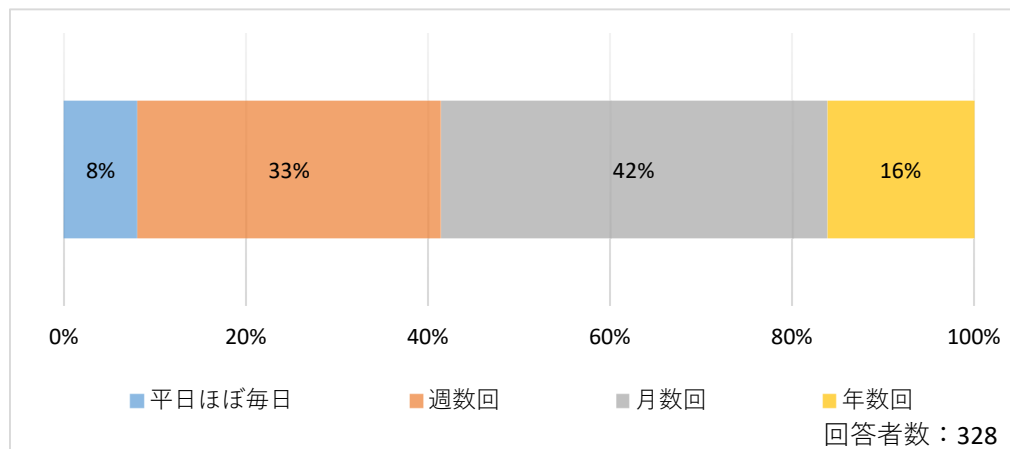
(2) 交通手段

公共施設利用・趣味等のその他の目的の移動手段として、約 8 割が自分で運転する自動車を利用し、約 2 割が家族等の送迎を利用している。11%が鉄道、4%が高速バスを利用している。



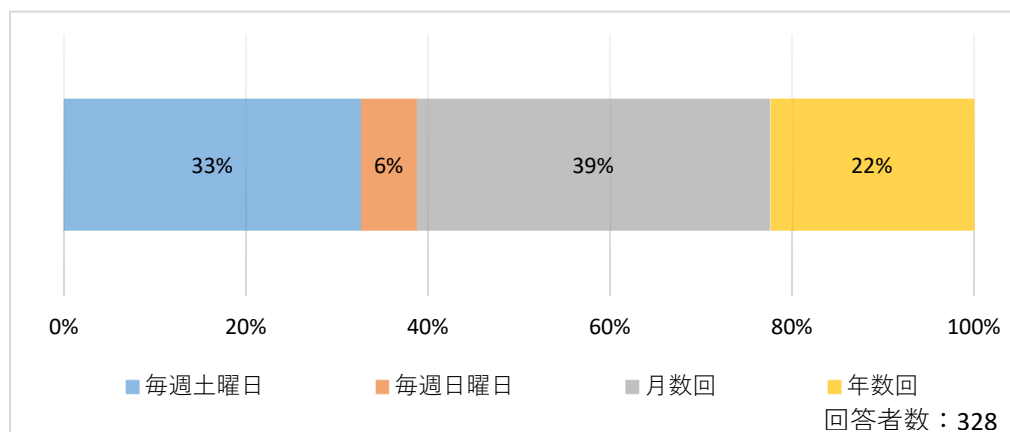
(3) 平日に行く頻度

公共施設利用・趣味等のその他の目的の外出に平日に行く頻度は、月数回行く人が42%である。



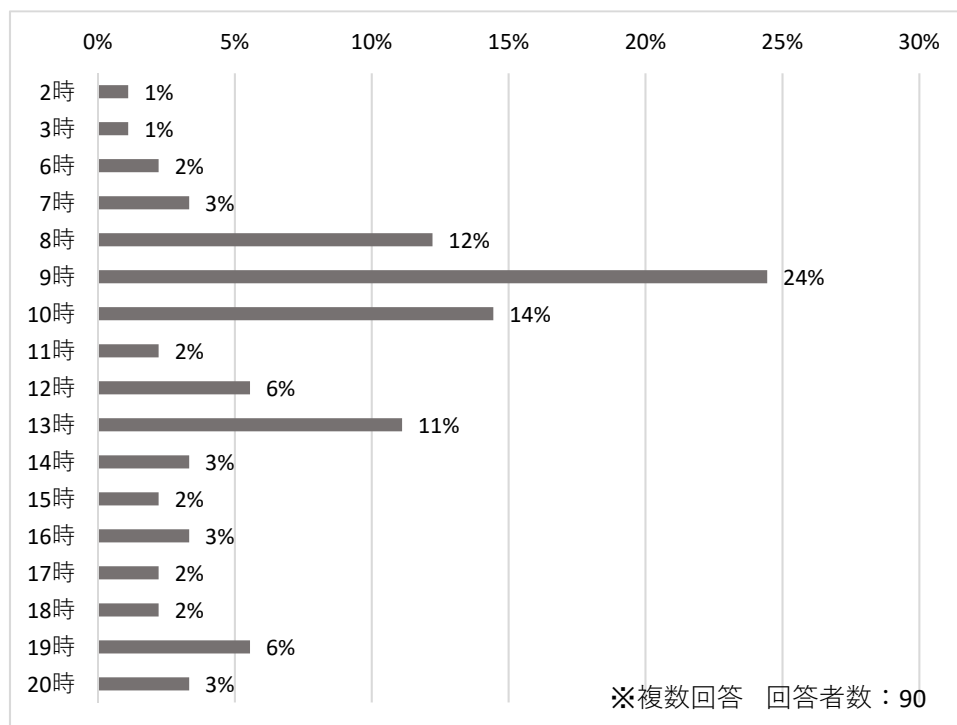
(4) 土日祝に行く頻度

公共施設利用・趣味等のその他の目的の外出に土日祝日に行く頻度は、月数回行く人が39%である。



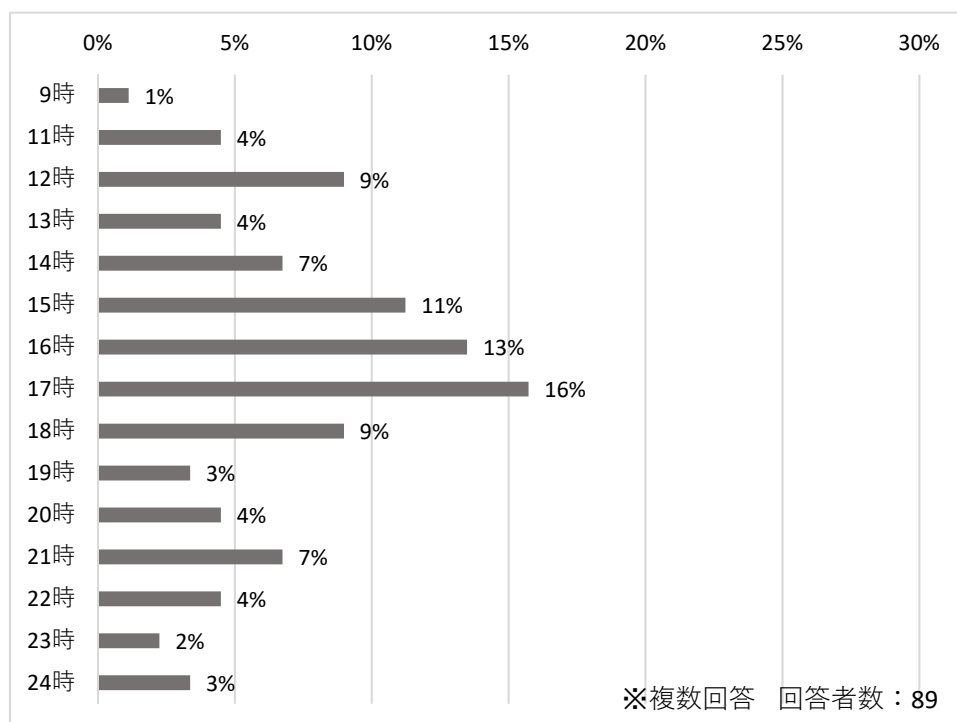
(5-1) 外出時刻

公共施設利用・趣味等のその他の目的の外出時刻は9時台にピークがあり、24%である。



(5-2) 帰宅時刻

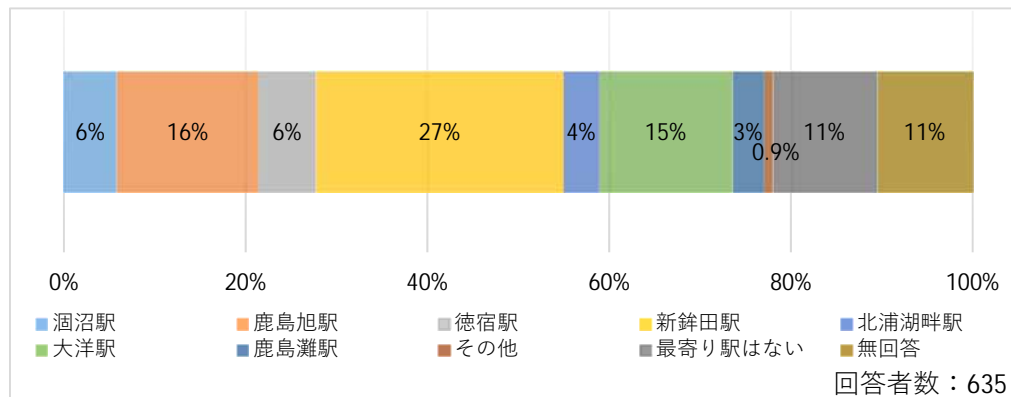
公共施設利用・趣味等のその他の目的の帰宅時刻は15時台から17時台がそれぞれ1割を超えており、ピークは17時台の16%である。



4. 鉄道の利用

(1-1) 最寄り駅

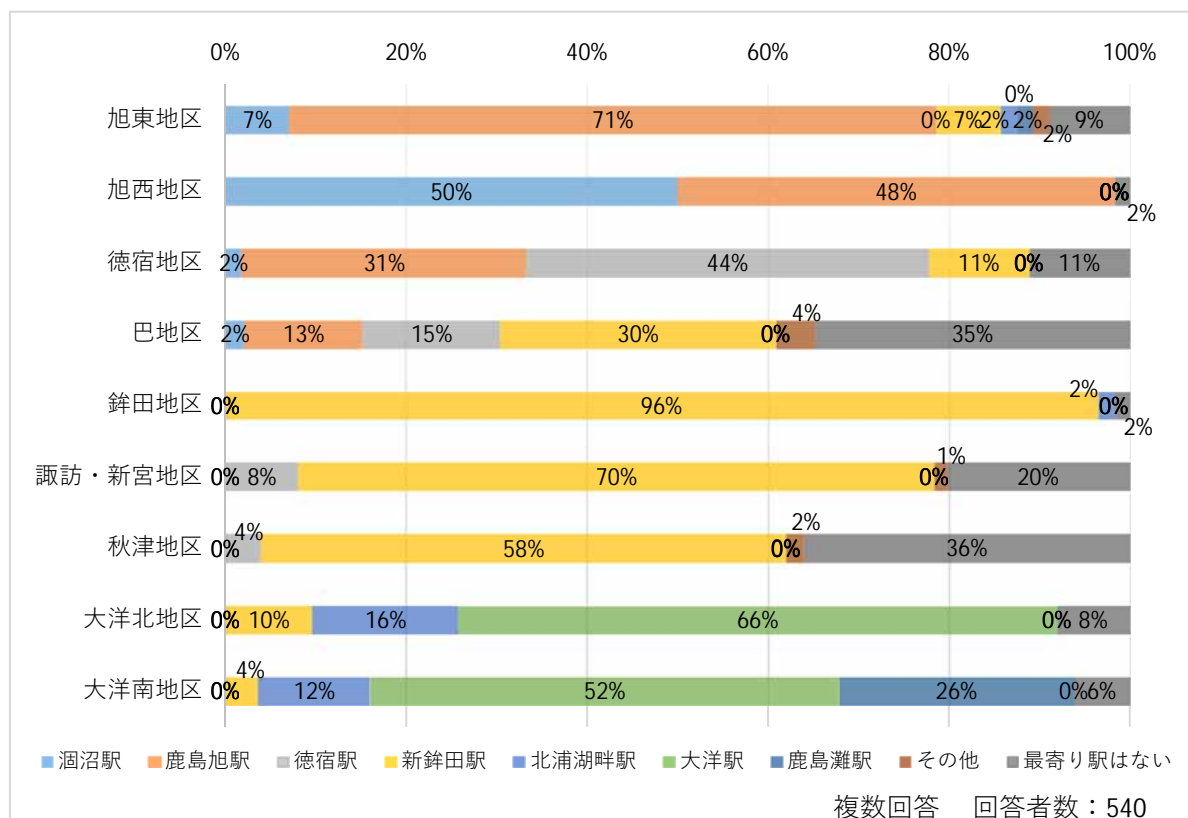
最寄り駅は新銚田駅が 27% で最も多い。鹿島旭駅は 16%、大洋駅が 15% である。最寄り駅がない人も 11% いる。



その他	人数	%
土浦駅	2	33.3%
石岡駅	2	33.3%
旭駅	1	16.7%
高浜駅	1	16.7%
total	6	100.0%

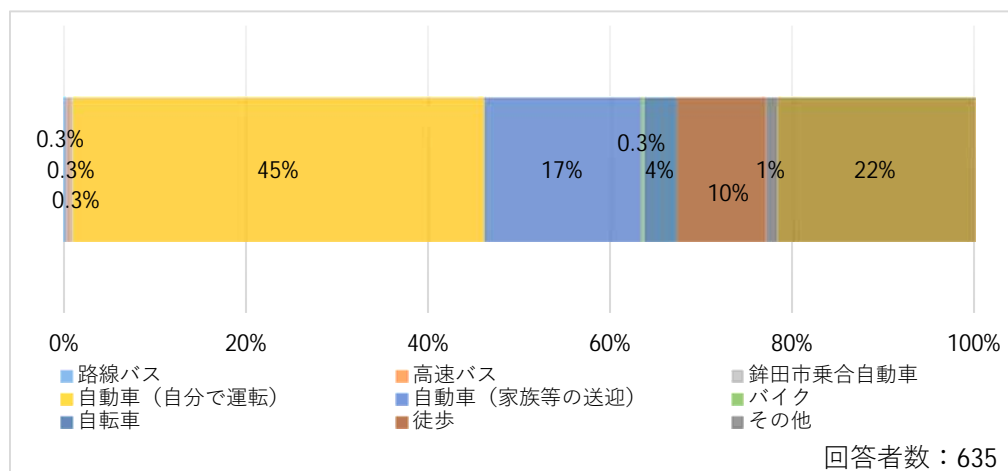
(1-2) 居住地区別 - 利用駅

旭東地区は鹿島旭駅、旭西地区は澗沼駅と鹿島旭駅、徳宿地区は徳宿駅と鹿島旭駅、巴地区は最寄り駅はない、銚田地区、諏訪・新宮地区、秋津地区は新銚田駅、大洋北地区、大洋南地区は大洋駅が多い。



(2-1) 最寄り駅までの交通手段

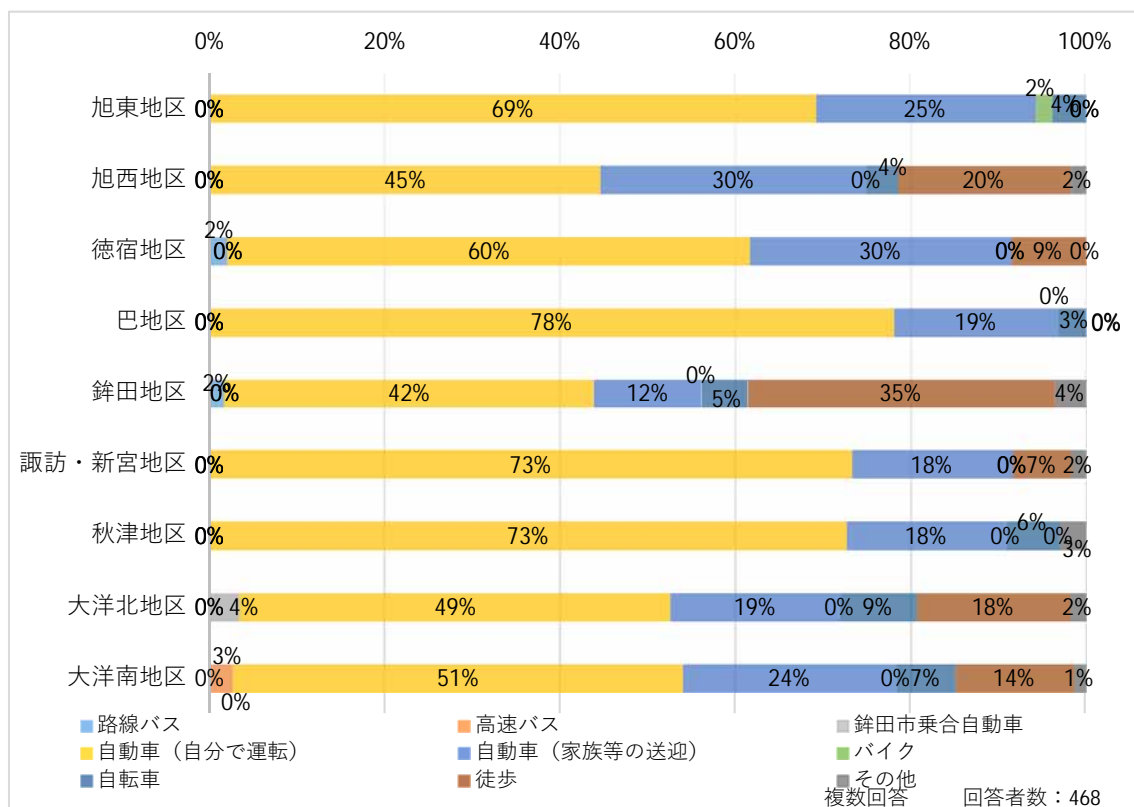
最寄り駅までの交通手段は、自分で運転する自動車が45%で最も多く、家族等の送迎が17%、徒歩が10%である。



その他	人数	%
ご近所（友人）の送迎の方	3	42.9%
タクシー	2	28.6%
乗らない	1	14.3%
シニアカー	1	14.3%
total	7	100.0%

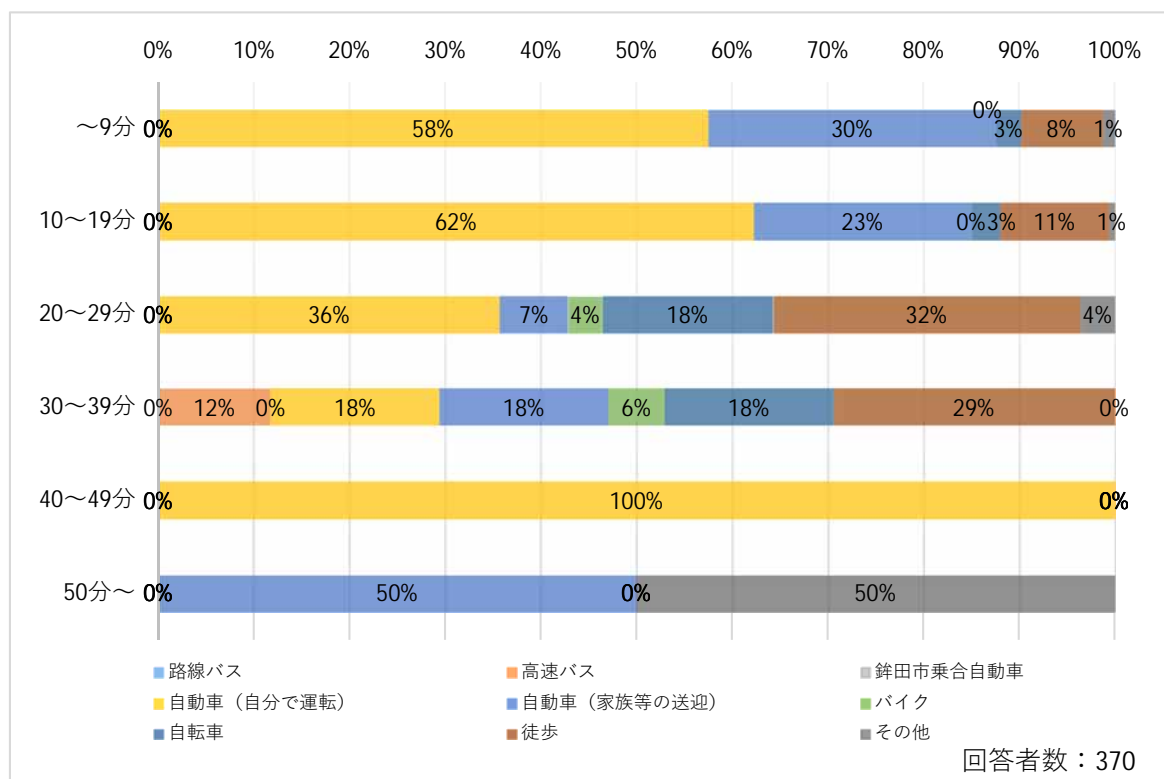
(2-2) 居住地区別 - 最寄り駅までの交通手段

居住地別に見ると、巴地区、諏訪・新宮地区、秋津地区では自分で運転する自動車で駅まで行く人が7割を超えている。銚田地区では徒歩が35%と他の地区に比べて多い。



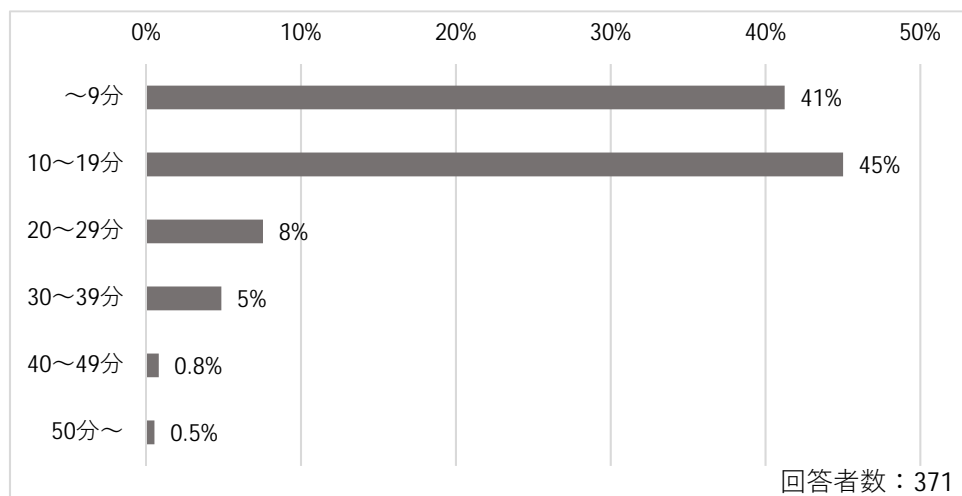
(2-3) 最寄り駅までの所要時間別 - 最寄り駅までの交通手段

駅までの所要時間別の最寄り駅までの交通手段を見ると、20分未満の人は自分で運転する自動車、家族等の送迎が8割を超える。20～39分の人は徒歩が約3割、自転車が2割いる。



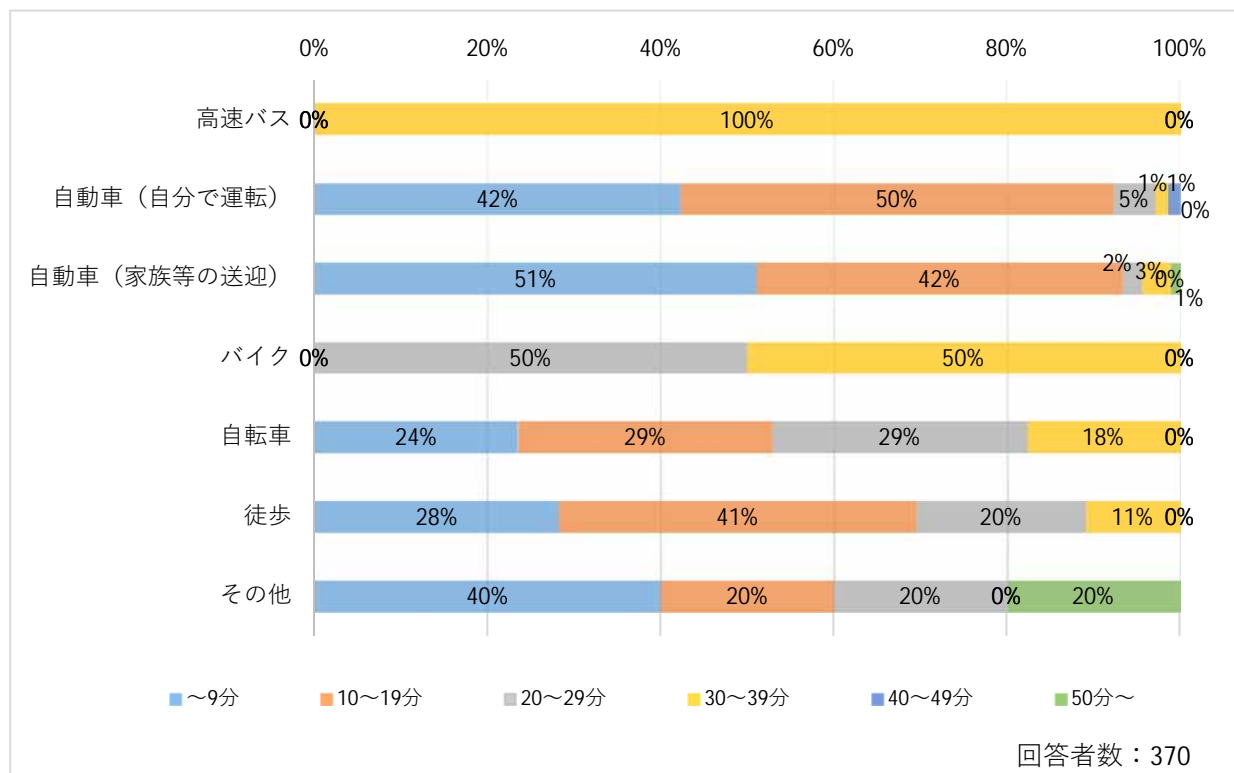
(3-1) 最寄り駅までの所要時間

駅までの所要時間は10分未満が41%、10～19分が45%である。



(3-2) 最寄り駅までの交通手段別 - 最寄り駅までの所要時間

駅までの交通手段別の所要時間を見ると、回答数の少なかった高速バスやバイクを除き、30分以上かけて最寄り駅まで行く人は少ない。自分で運転する自動車、家族等の送迎は20分未満が9割を超え、自転車、徒歩は30分未満が8割を超える。



5. 路線バスの利用について

(1) 最も利用するバス停

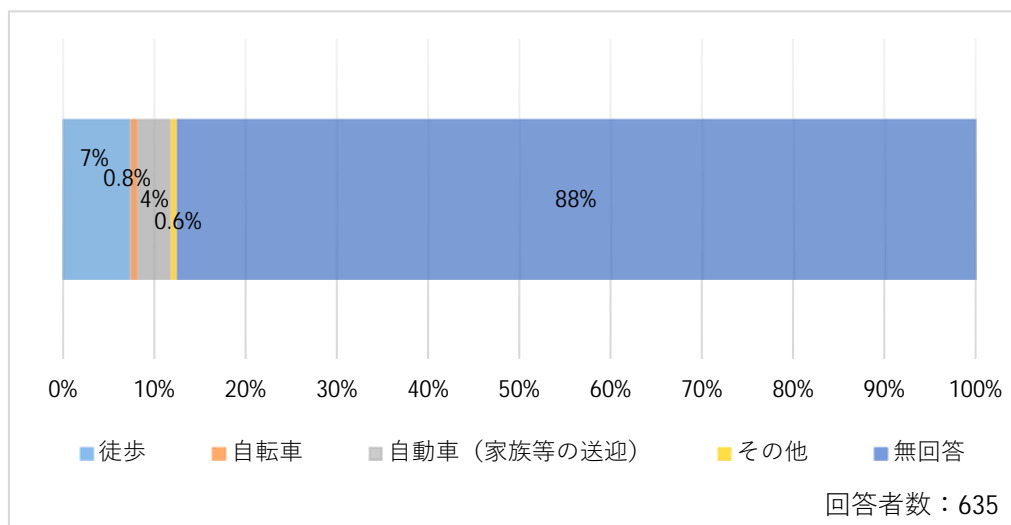
乗車バス停は鉾田駅や新鉾田駅が多く、降車バス停は鉾田駅、水戸駅、東京駅が多い。

乗車	人数	%
鉾田駅	7	16.7%
新鉾田駅	4	9.5%
北菖蒲沼	3	7.1%
串挽	2	4.8%
鳥栖寺下	2	4.8%
舟木	2	4.8%
借宿	2	4.8%
海老沢線	1	2.4%
大戸入口	1	2.4%
額相	1	2.4%
勝下新田	1	2.4%
上太田入口	1	2.4%
借宿神社前	1	2.4%
菖蒲沼	1	2.4%
桜木三差路	1	2.4%
下富田	1	2.4%
新里	1	2.4%
諏訪神社前	1	2.4%
中坪	1	2.4%
濁沢	1	2.4%
舟木小学校前	1	2.4%
舟木神社	1	2.4%
古新田	1	2.4%
鉾田警察署前	1	2.4%
鉾田小学校下	1	2.4%
南野入口	1	2.4%
寄居	1	2.4%
total	42	11.3%

降車	人数	%
鉾田駅	10	30.3%
水戸駅	6	18.2%
東京駅	4	12.1%
石岡	2	6.1%
葵陵高校入口	1	3.0%
串挽	1	3.0%
高校入口	1	3.0%
新里	1	3.0%
諏訪神社前	1	3.0%
高浜	1	3.0%
長岡（茨城町）	1	3.0%
舟木神社	1	3.0%
鉾田小学校下	1	3.0%
寄居	1	3.0%
鳥栖寺下	1	3.0%
total	33	100.0%

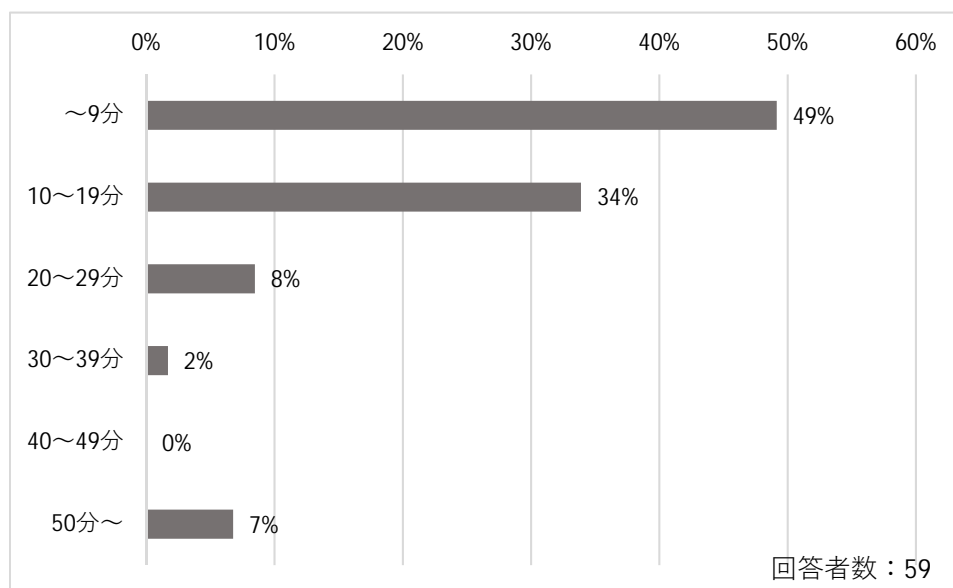
(2) 最寄りバス停までの交通手段

最寄りバス停までの交通手段は、徒歩が7%で最も多く、家族等の送迎も4%いる。



(3) 最寄りバス停までの所要時間

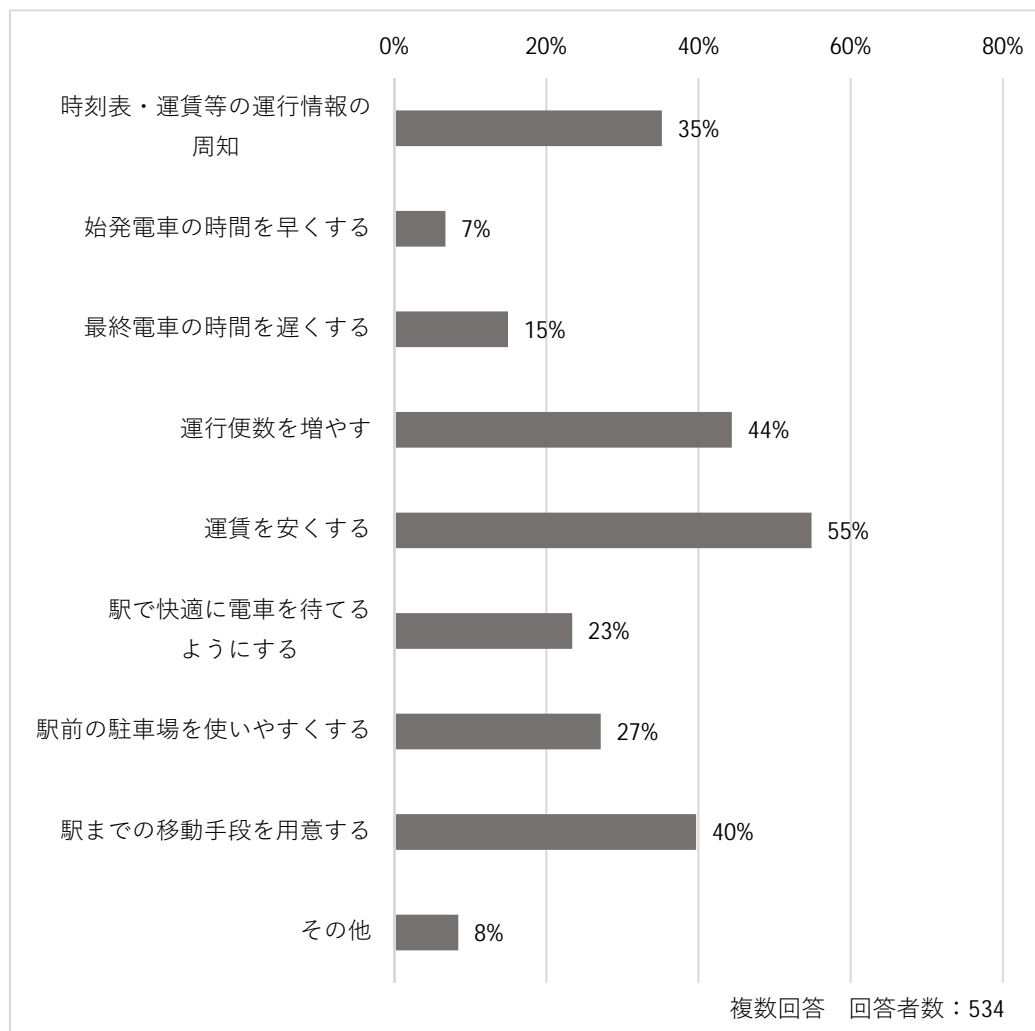
最寄りバス停までの所要時間は、10分未満が49%、10～19分が34%である。



6. 鉄道や路線バスを利用しやすくするための条件

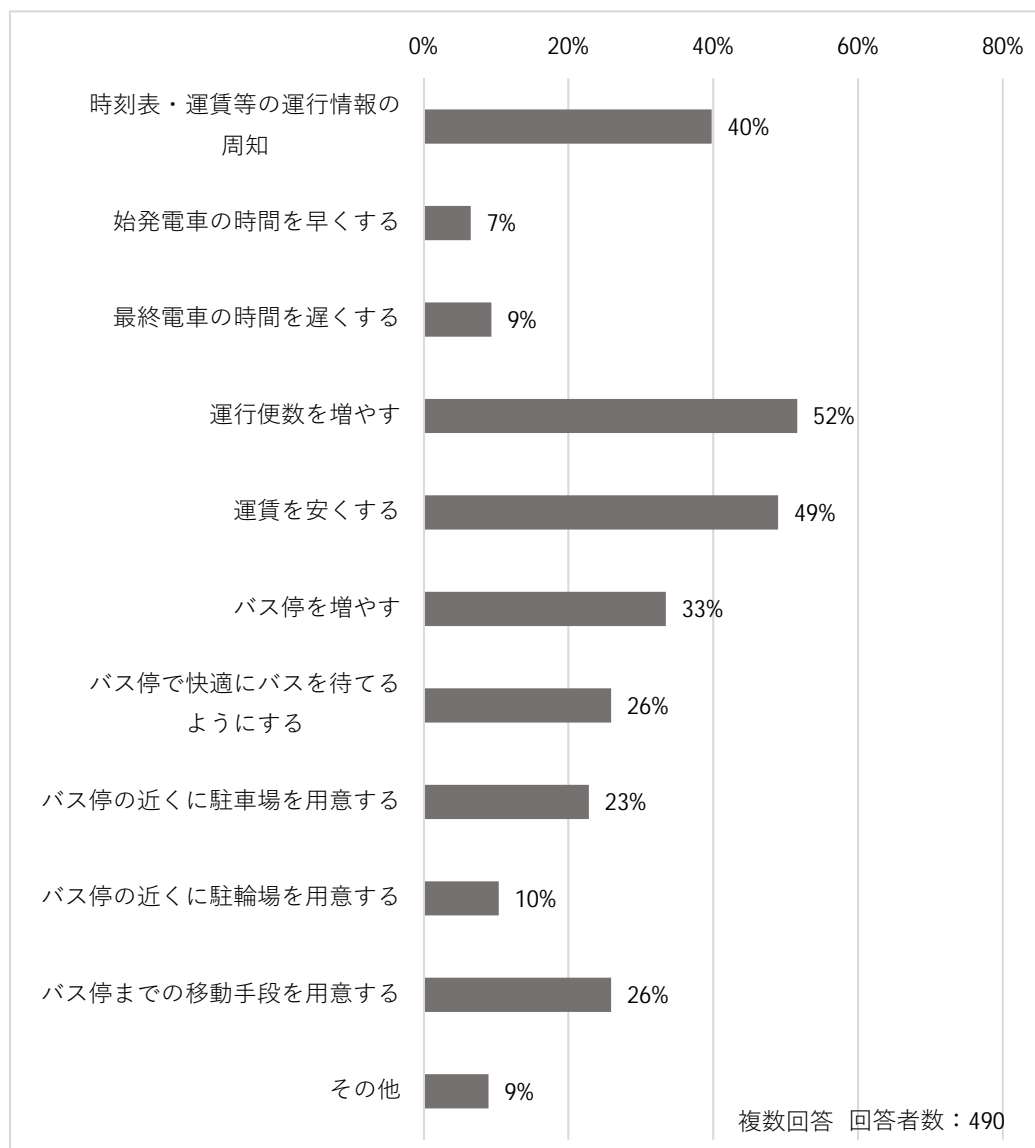
(1) 鉄道を利用しやすくする条件

鉄道を利用しやすくするために必要なことは、運賃を安くすることが 54%に望まれている。また、運行便数を増やすことが 44%に望まれている。駅までの移動手段を用意することが 40%に望まれている。



(2) 路線バスを利用しやすくする条件

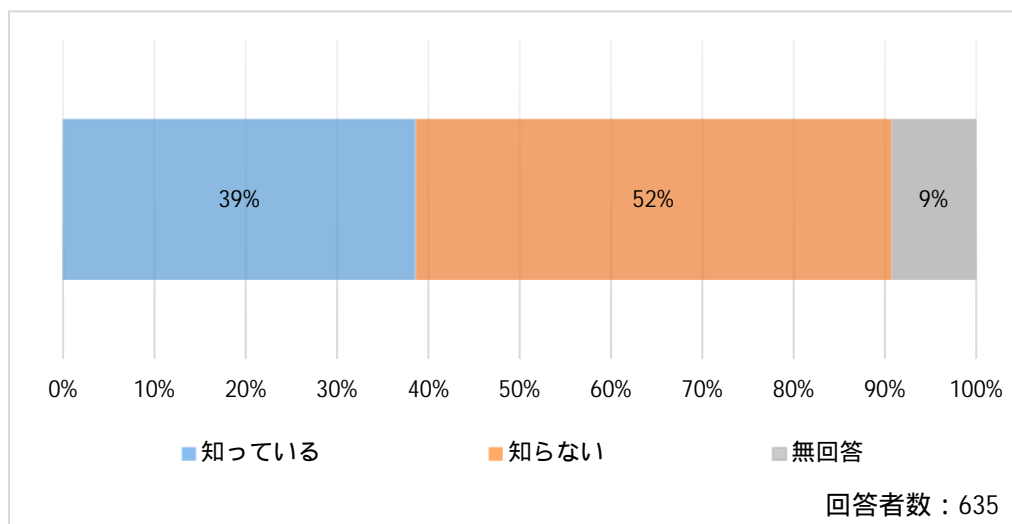
路線バスを利用しやすくするために必要な条件として、運行便数を増やすことが 52%に、運賃を安くすることが 49%に望まれている。時刻表・運賃等の運行情報の周知が 40%に望まれている。バス停を増やすことが 33%に望まれており、自宅や目的地の近くへのバス停が望まれていると考えられる。



7. 銚田市乗合自動車について

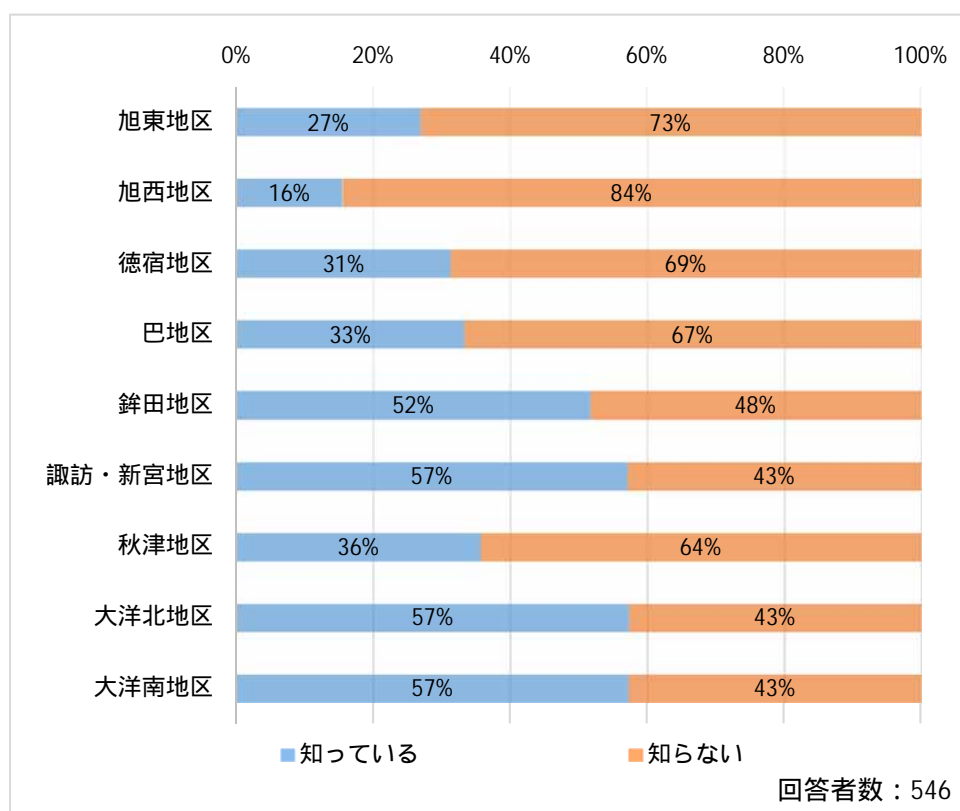
(1-1) 銚田市乗合自動車の認知度

銚田市乗合自動車の認知度は39%である。知らない人が半数を超え、周知が必要である。



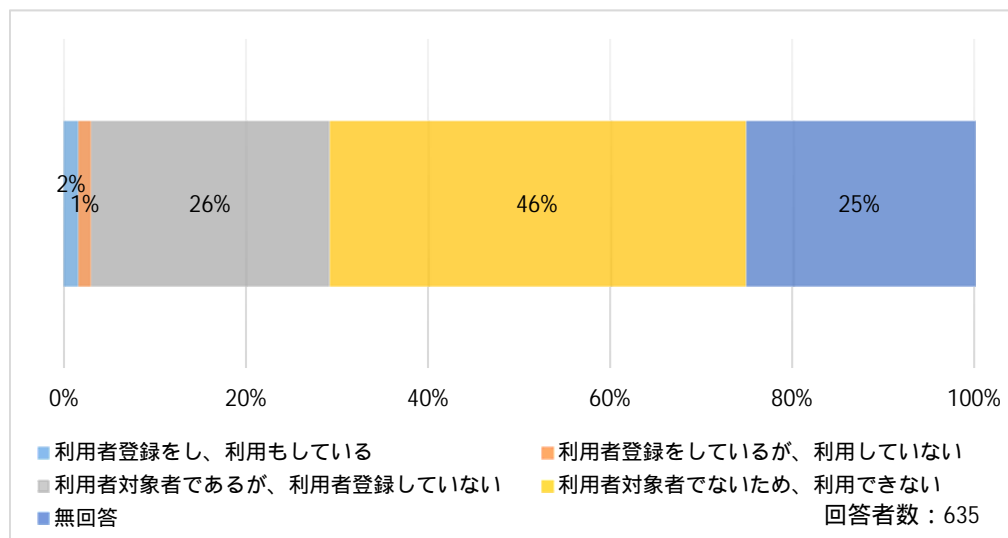
(1-2) 居住地区別-銚田市乗合自動車の認知度

居住地区別に見ると、利用対象区域の大洋北地区と大洋南地区ではそれぞれ57%に認知されている。



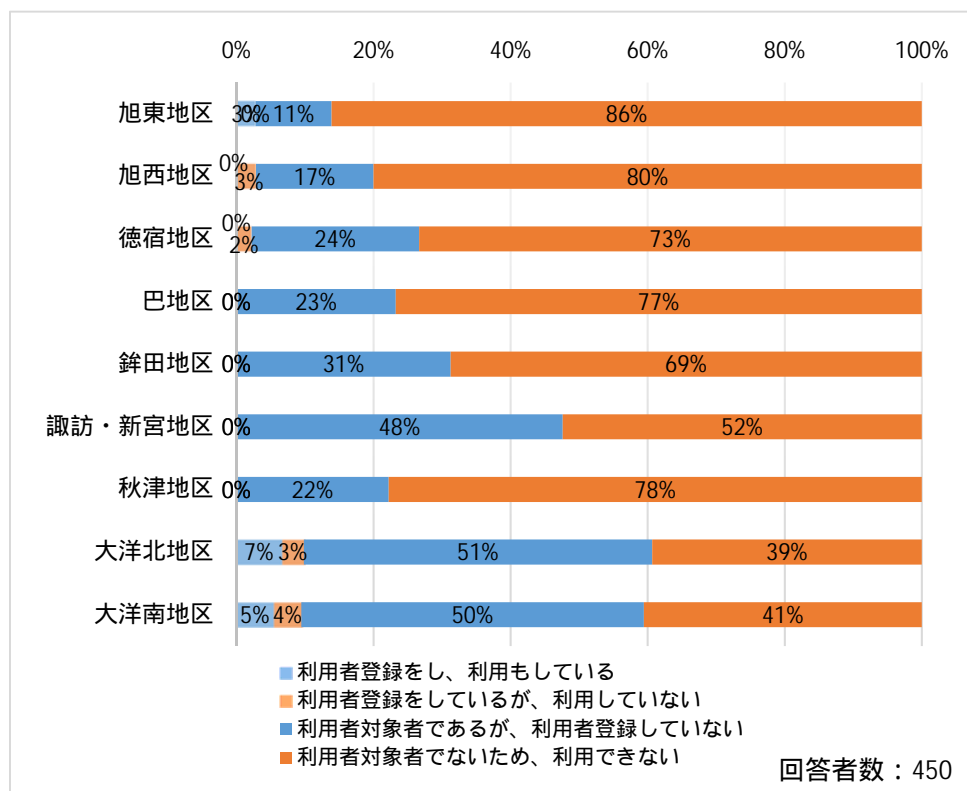
(2-1) 銚田市乗合自動車の利用

銚田市乗合自動車について、利用している人が2%、利用者登録をしているが利用していない人が1%であるのに対し、利用対象者だが利用者登録していない人が26%と多い。まず利用者登録をしてもらえるように利用促進を図る必要がある。



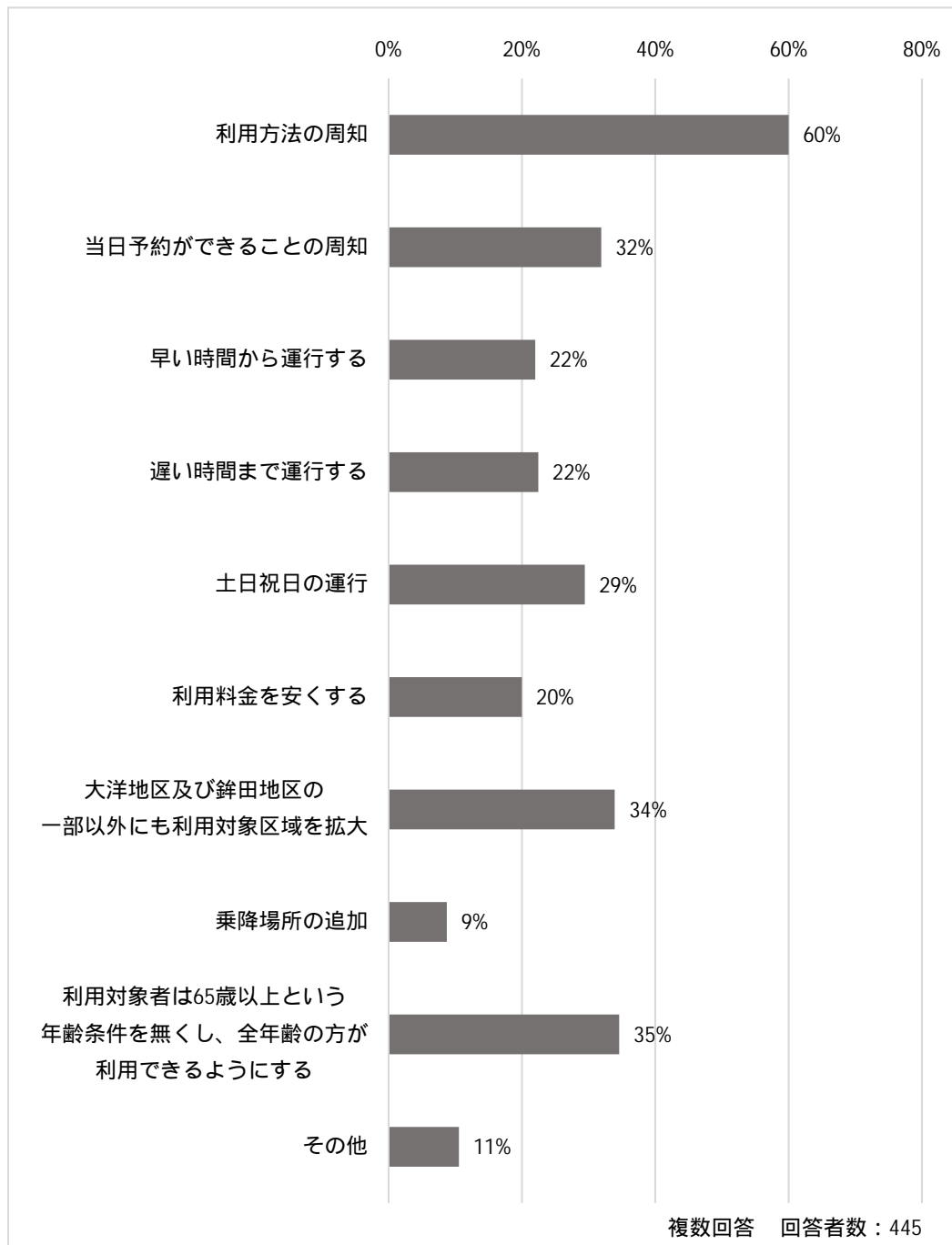
(2-2) 居住地区別 - 銚田市乗合自動車の利用

居住地区別に見ると、利用対象区域の大洋北地区と大洋南地区では、利用者登録をしている人が約1割、利用対象者であるが利用者登録をしていない人が約5割である。さらなる利用促進が必要である。



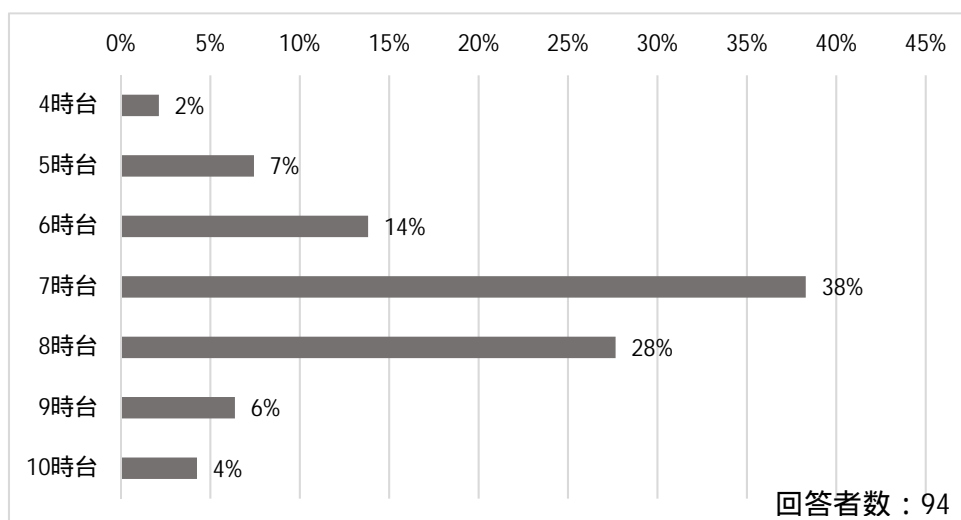
(3-1) 銚田市乗合自動車を利用しやすくする条件

銚田市乗合自動車を利用しやすくするために、利用方法の周知が必要と考える人が60%と多い。当日予約ができることの周知や利用対象区域の拡大、利用対象年齢の撤廃もそれぞれ約3割の人に望まれている。



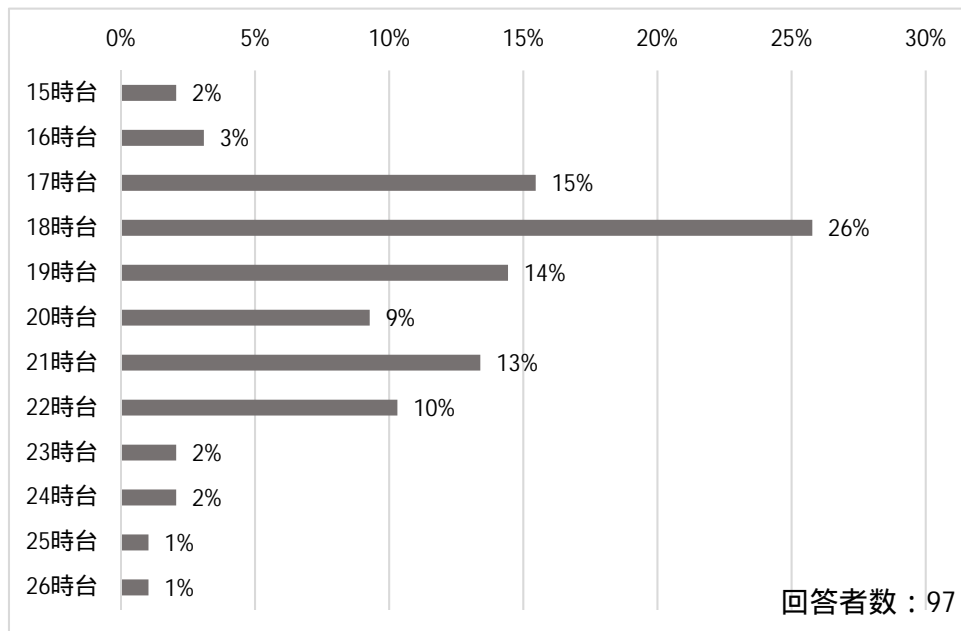
(3-2) 希望始発時間

銚田市乗合自動車を利用しやすくするために、早い時間から運行することが必要と回答した人の、希望運行開始時間は7時台が最も多く、次に8時台が多い。



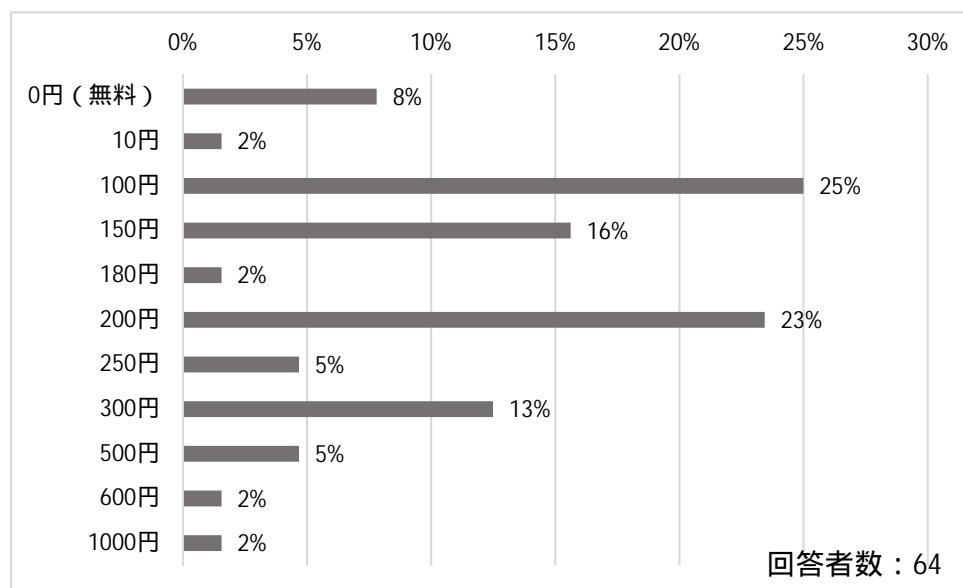
(3-3) 希望最終時間

銚田市乗合自動車を利用しやすくするために、遅い時間まで運行することが必要と回答した人の、希望最終運行時間は18時台が26%と最も多い。



(3-4) 希望利用料金

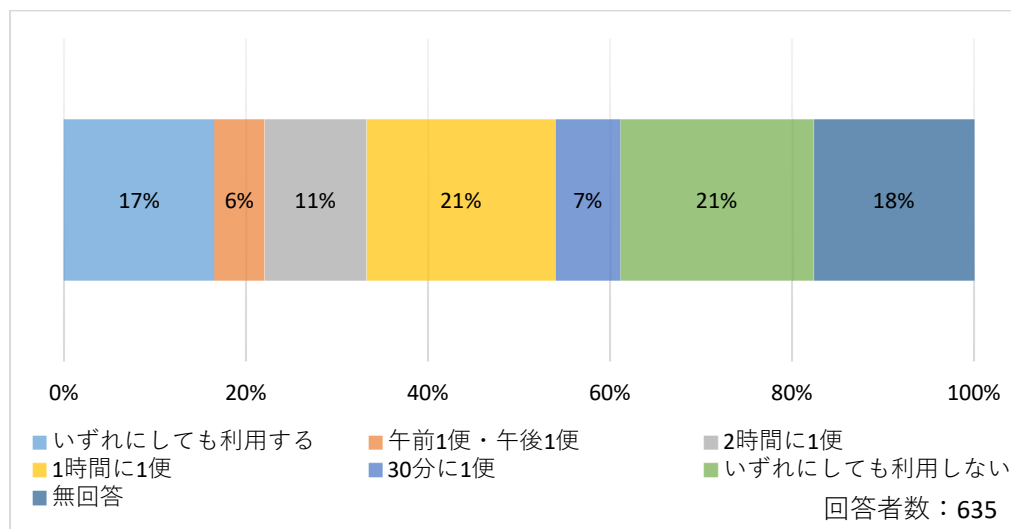
銚田市乗合自動車を利用しやすくするために、利用料金を安くすることが必要と回答した人の、希望利用料金は 100 円が 25%、200 円が 23%と多い。



8. コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの利用条件

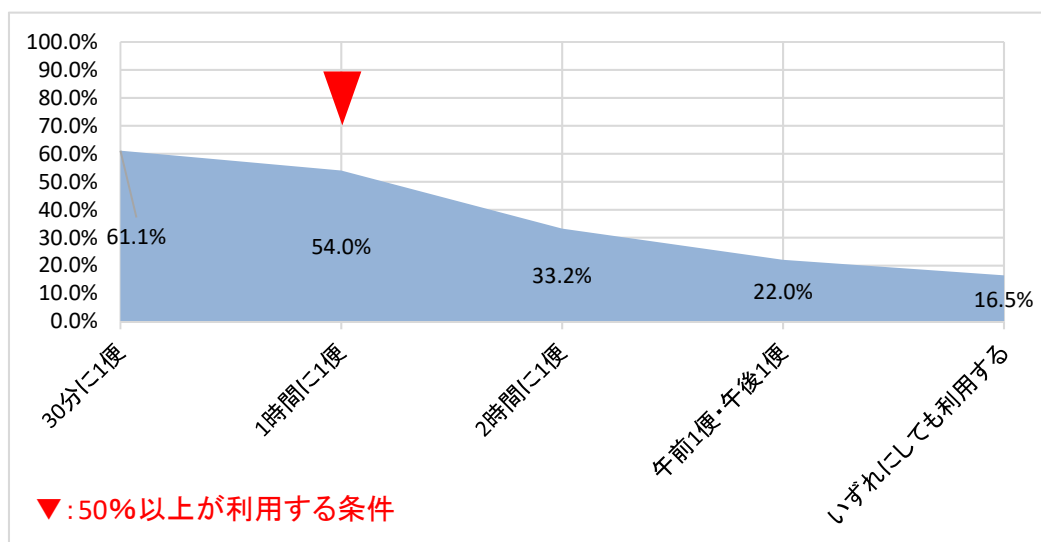
(1-1) 最低限必要な運行間隔

コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーを利用するために、最低限必要な運行間隔は、1 時間に 1 便
が最も多い。いずれにしても利用しない人が 21%いる。



(1-2) 最低限必要な運行間隔の条件

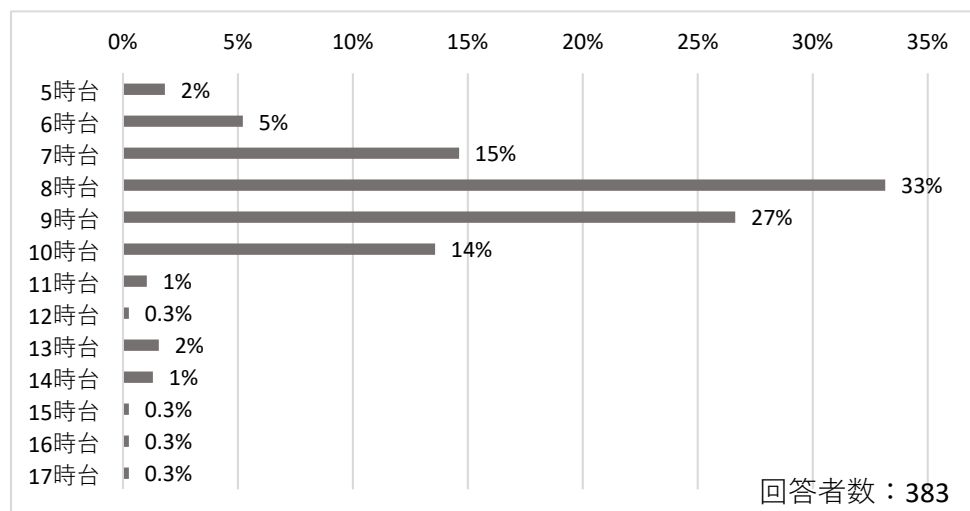
30 分に 1 便の場合 61%が利用し、1 時間に 1 便の運行間隔の場合 54%が利用する。



(2)必要な運行時間帯

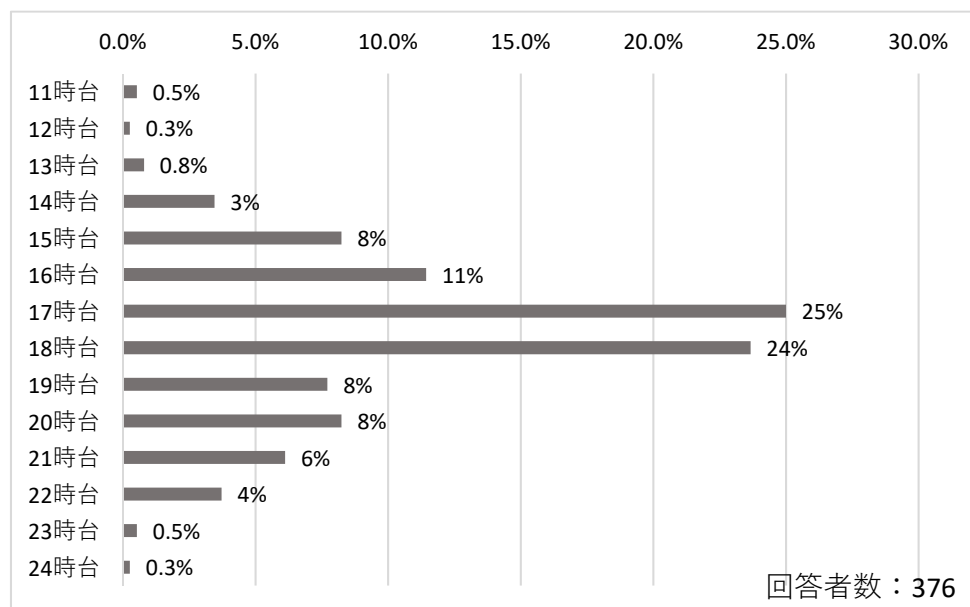
(2-1) 希望運行開始時間

コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーを利用するために、必要な運行時間帯は、8 時台からが最も多い。



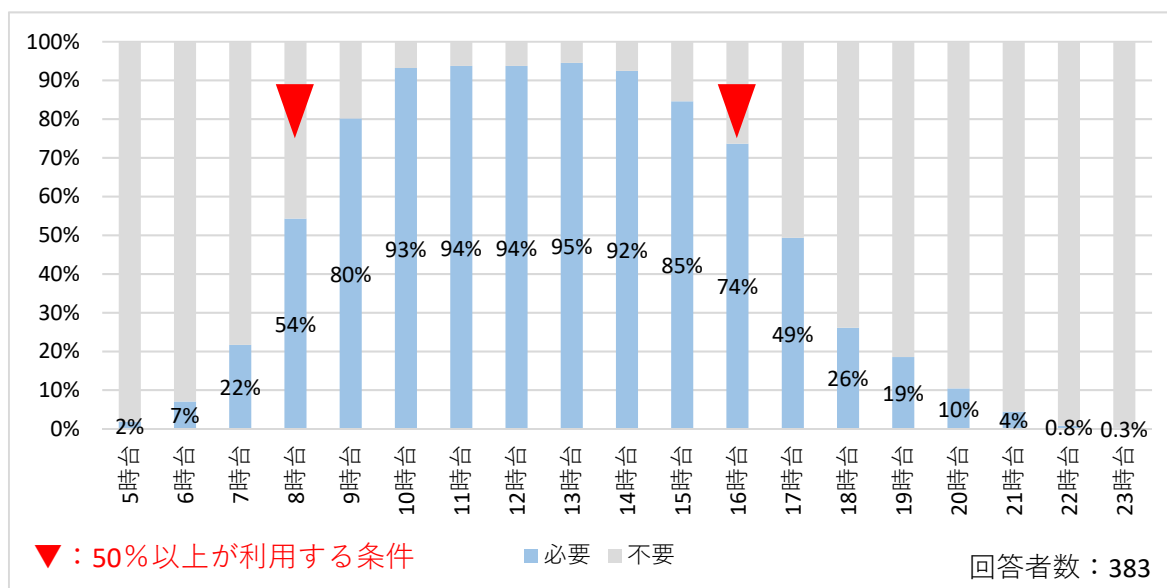
(2-2) 希望運行終了時間

コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーを利用するために、必要な運行時間帯は、17 時台まで 25%で最も多く、18 時台までが 24%である。



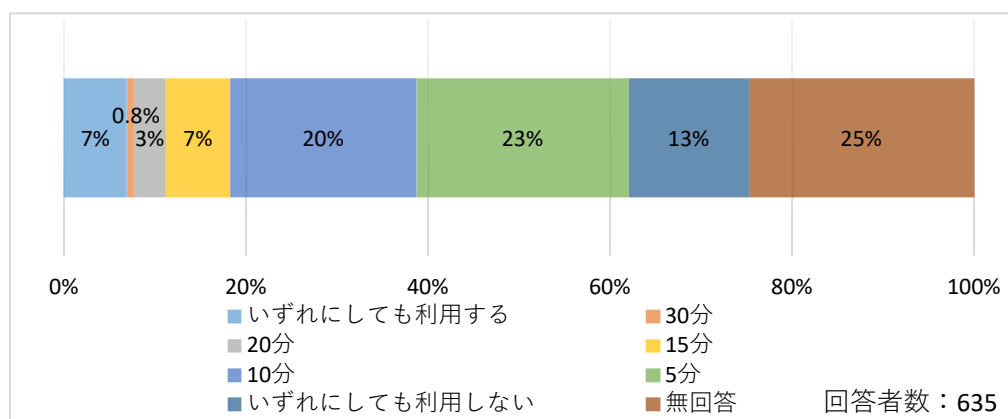
(2-3) 必要な運行時間帯の条件

10 時台から 14 時台の運行は 90%以上が必要と考え、8 時台から 16 時台までの運行は 50%以上が必要と考えている。



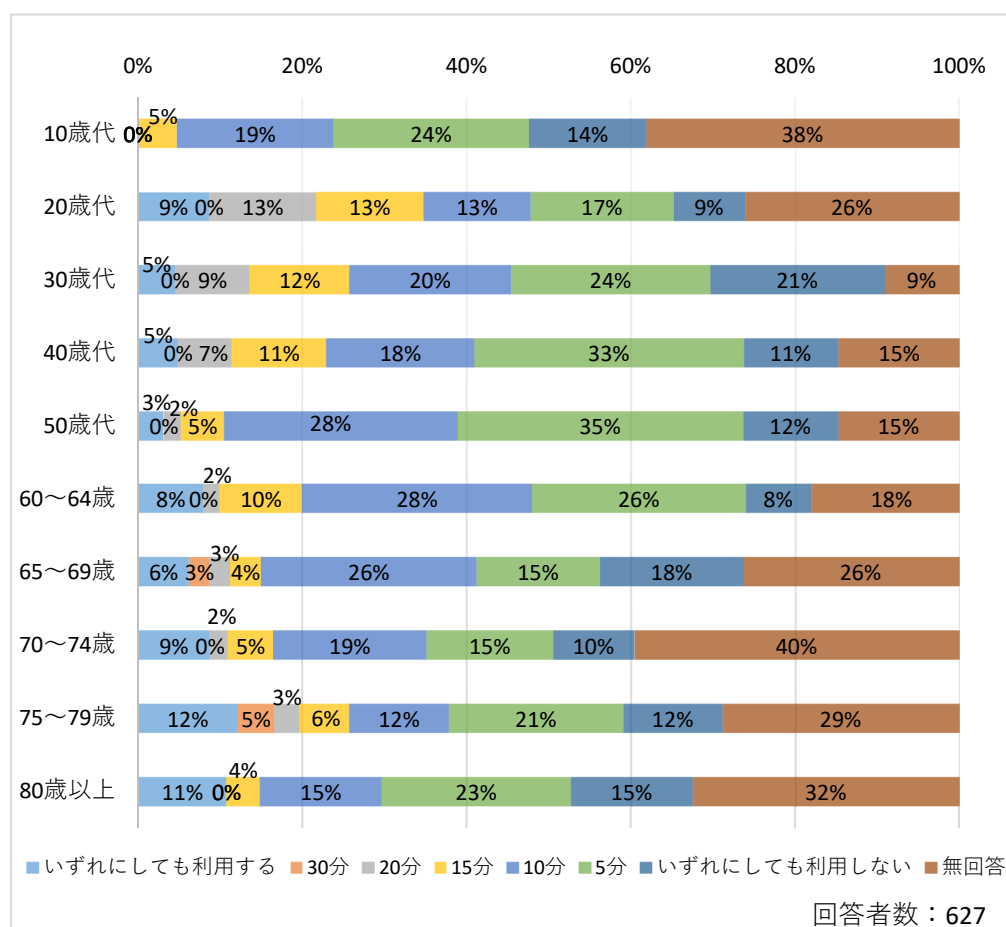
(3-1) 乗り場までの徒歩時間の限度

コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーを利用するための、乗り場までの徒歩時間の限度は、5 分が最も多い。



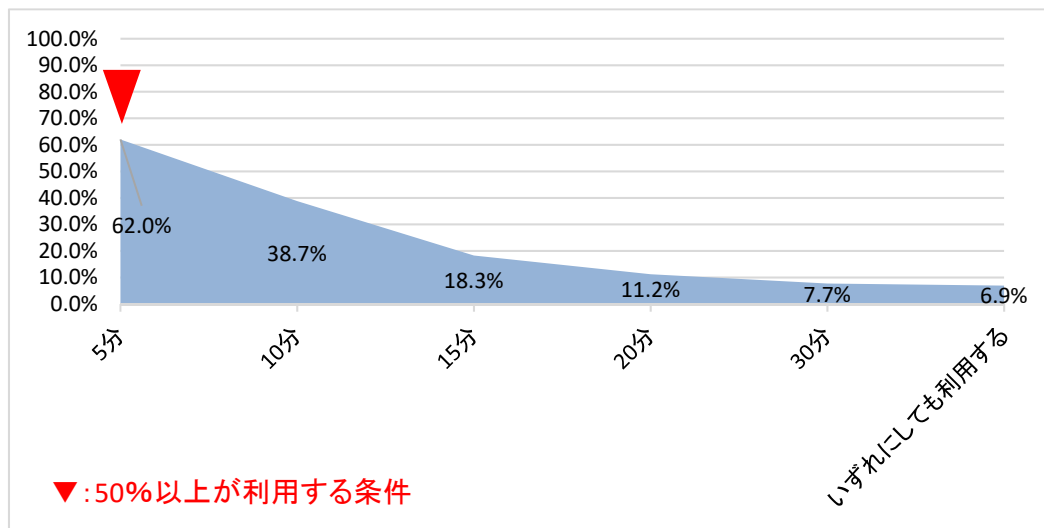
(3-2) 年齢別の乗り場までの徒歩時間の限度

年齢別に徒歩時間の限度を見ると、50 歳代以下と 75 歳以上は 5 分が最も多い。60～74 歳は 10 分が最も多い。乗り場まで 20 分歩ける人は 20～40 歳代の若年層には 1 割程度いるが、高齢者には少ない。



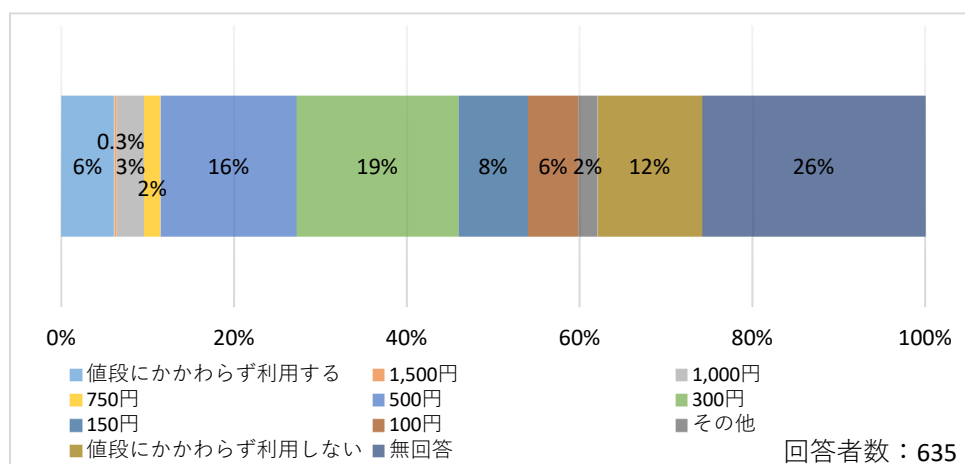
(3-3) 乗り場までの徒歩時間の限度の条件

乗り場まで 5 分以内の場合、62%が利用すると考えている。



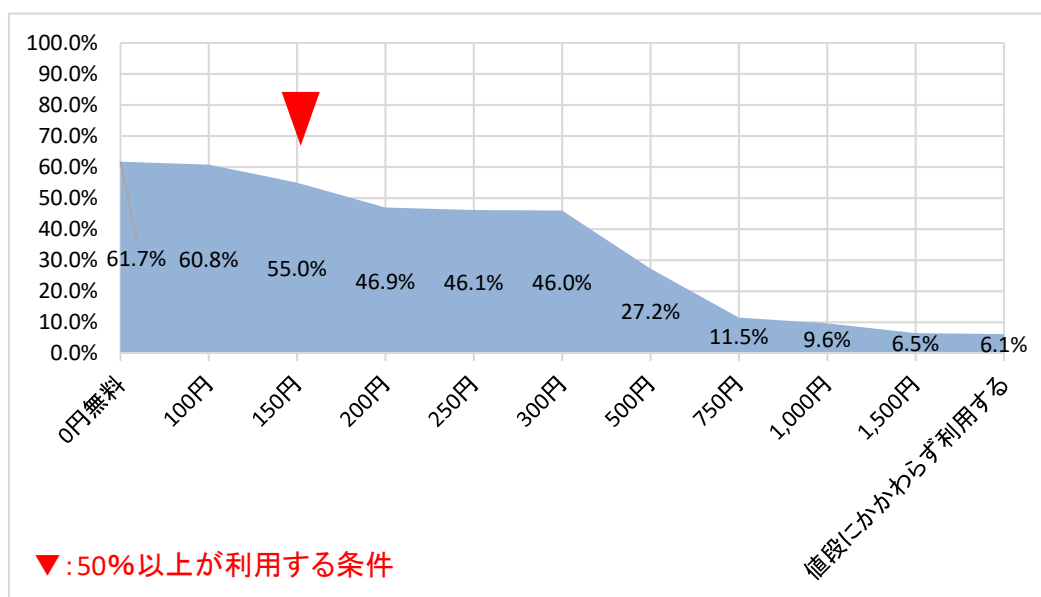
(4-1) 片道運賃の限度額

コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーを利用するための、片道運賃の限度額は、300 円が 19%で最も多い。



(4-2) 片道運賃の限度額の条件

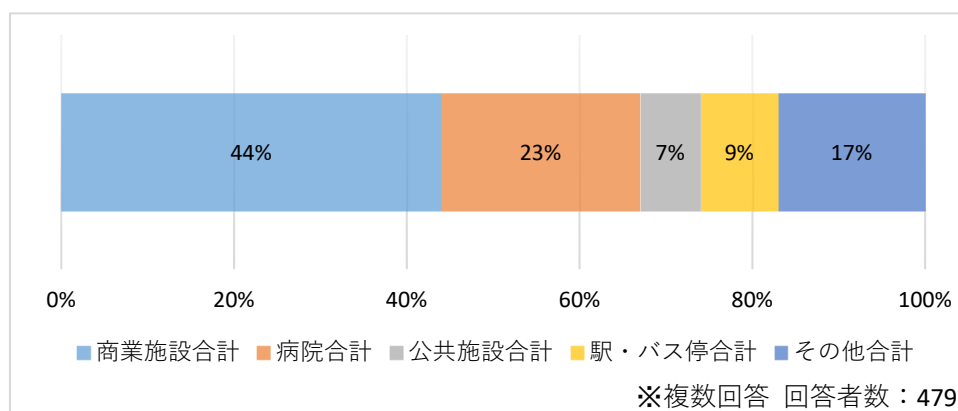
利用料金が 150 円の場合、55%が利用している。



(5) コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーで行きたい場所・施設名と頻度

(5-1) 行きたい場所施設

コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーで行きたい場所は、商業施設が4割、病院が2割である。

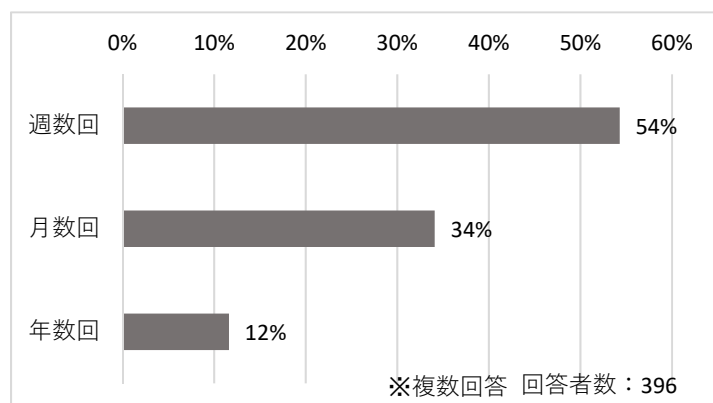


	人数	%		人数	%
商業施設合計	211	44%	病院合計	110	23%
スーパー	40	8%	病院	65	14%
タイヨービッグハウス銚田店	27	6%	銚田病院	10	2%
カスミ	25	5%	たきもと病院	9	2%
買物	23	5%	高須病院	6	1%
山新銚田店	10	2%	ハタミ病院	4	1%
セイミヤ	9	2%	なめがた地域医療センター	3	1%
ハピネ銚田店	6	1%	たいよう病院	2	0.4%
フードマーケットカスミ大洋店	6	1%	土浦協同病院	2	0.4%
ホームセンター	6	1%	その他1票の場所	9	1.9%
イオンモール水戸内原	5	1%			
商業施設	4	1%			
鹿島イオン	3	1%			
ジャスコ	3	1%			
ドラッグストア	3	1%			
アクロス	3	1%			
フードスクエアカスミ銚田店	3	1%			
イオンモール	2	0.4%			
カワチ薬品	2	0.4%			
しまむら	2	0.4%			
セイミヤ銚田舟木店	2	0.4%			
トライアル	2	0.4%			
その他1票の場所	25	5.2%			

	人数	%		人数	%		人数	%
公共施設合計	34	7%	駅・バス停合計	41	9%	その他合計	83	17%
市役所	17	4%	新鉾田駅	9	2%	ほっとパーク鉾田	14	3%
大洋公民館	4	1%	水戸駅	6	1%	銀行	12	3%
図書館	4	1%	駅	5	1%	鹿島	4	1%
公民館	3	1%	鹿島旭駅	4	1%	とっぷ・さんて大洋	4	1%
旭公民館	2	0.4%	大洗駅	3	1%	ともえ荘	3	1%
鉾田中央公民館	2	0.4%	大洋駅	3	1%	いこいの村涸沼	2	0.4%
その他1票の場所	2	0.4%	石岡駅	2	0.4%	大洗町	2	0.4%
			徳宿駅	2	0.4%	鹿嶋市	2	0.4%
			涸沼駅	2	0.4%	神栖	2	0.4%
			その他1票の場所	5	1.0%	常陽銀行	2	0.4%
						鉾田市街地	2	0.4%
						水戸	2	0.4%
						その他1票の場所	32	6.7%

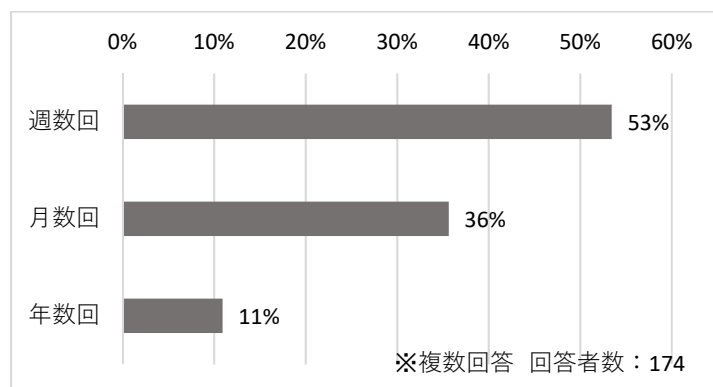
(5-2) 平日に行く頻度

コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーで行きたい場所へ平日に行く頻度は、週数回が 54%である。



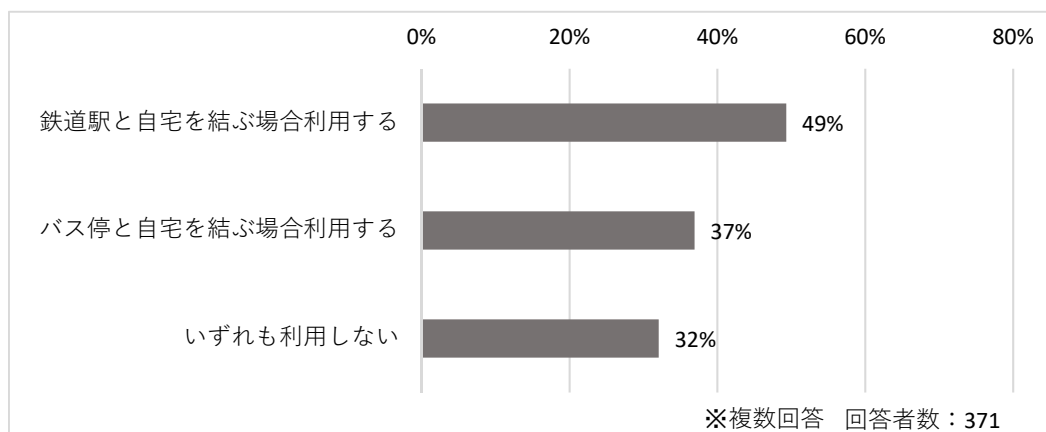
(5-3) 土日祝日に行く頻度

コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーで行きたい場所へ土日祝日に行く頻度は、週数回が 53%である。



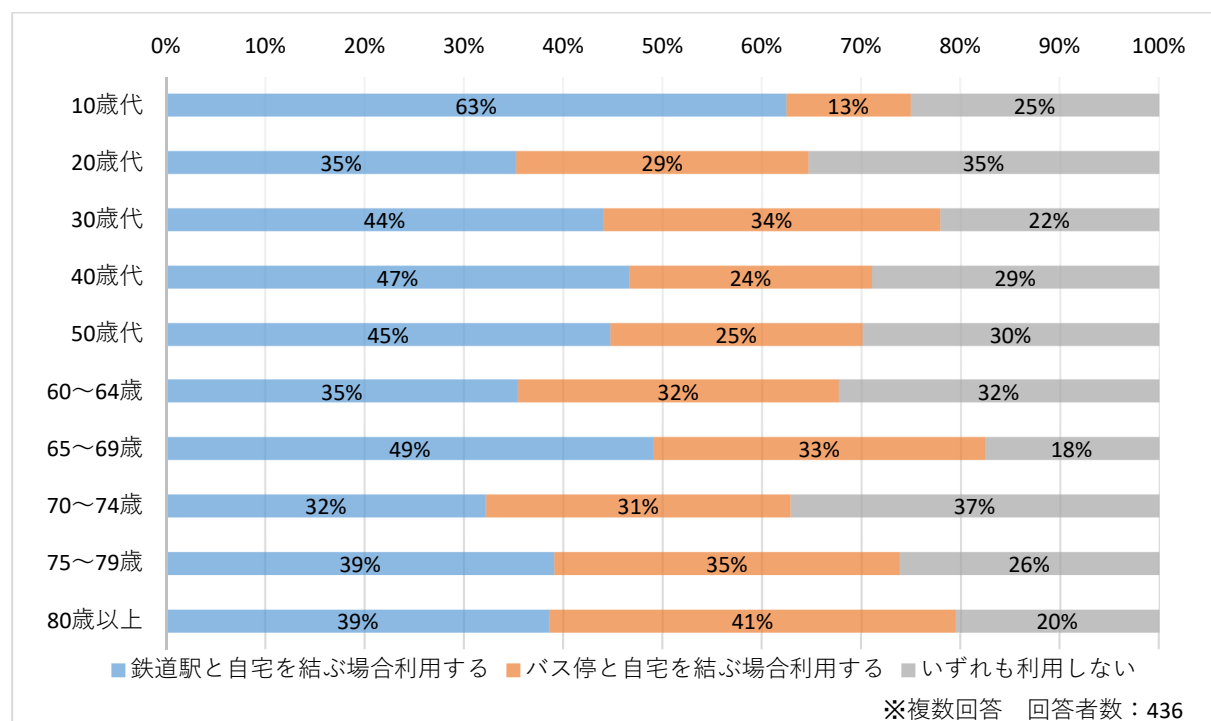
(6-1) コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーが運行した場合の利用可能性

鉄道駅と自宅の近くを結ぶコミュニティバスやデマンド型乗合タクシーが運行した場合利用する人が 49%、バス停と自宅の近くを結ぶコミュニティバスやデマンド型乗合タクシーが運行した場合利用する人が 37%である。



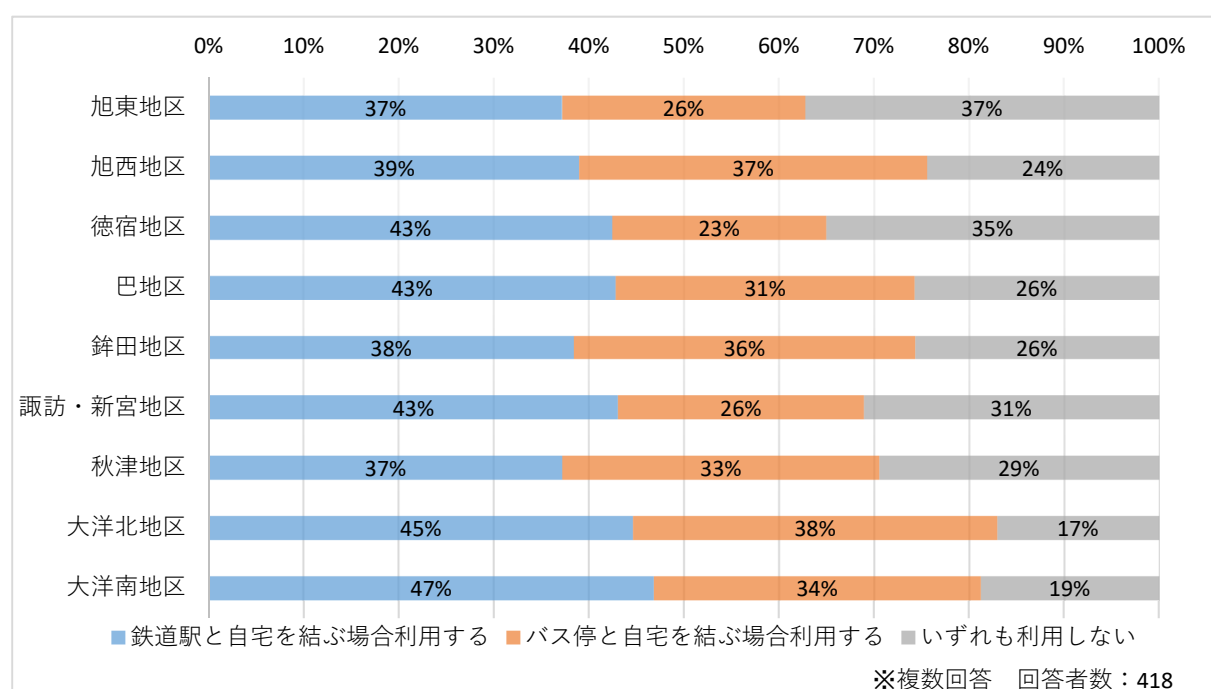
(6-2) 年齢別-コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーが運行した場合の利用可能性

年齢別に見ると、10歳代は鉄道駅と自宅の近くを結ぶ場合利用する割合が高い。20～79歳はバス停よりも鉄道駅と自宅の近くを結ぶ場合に利用する割合が高く、80歳以上は鉄道駅よりもバス停と自宅の近くを結ぶ場合に利用する割合が高い。



(6-3) 居住地区別-コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーが運行した場合の利用可能性

居住地区別に見ると、いずれの地区でもバス停よりも鉄道駅と自宅の近くを結ぶ場合に利用する割合が高い。

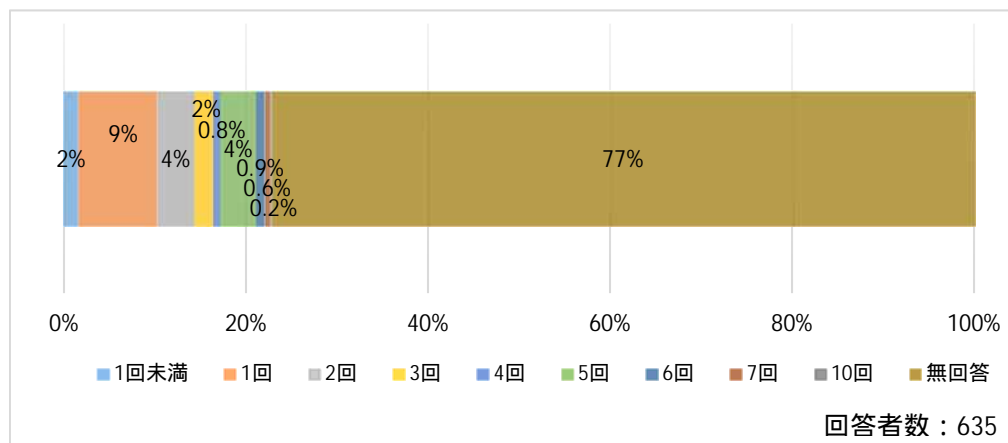


9. 家族等を送迎することについて

(1) 家族の送迎の頻度と、送迎場所までの片道所要時間

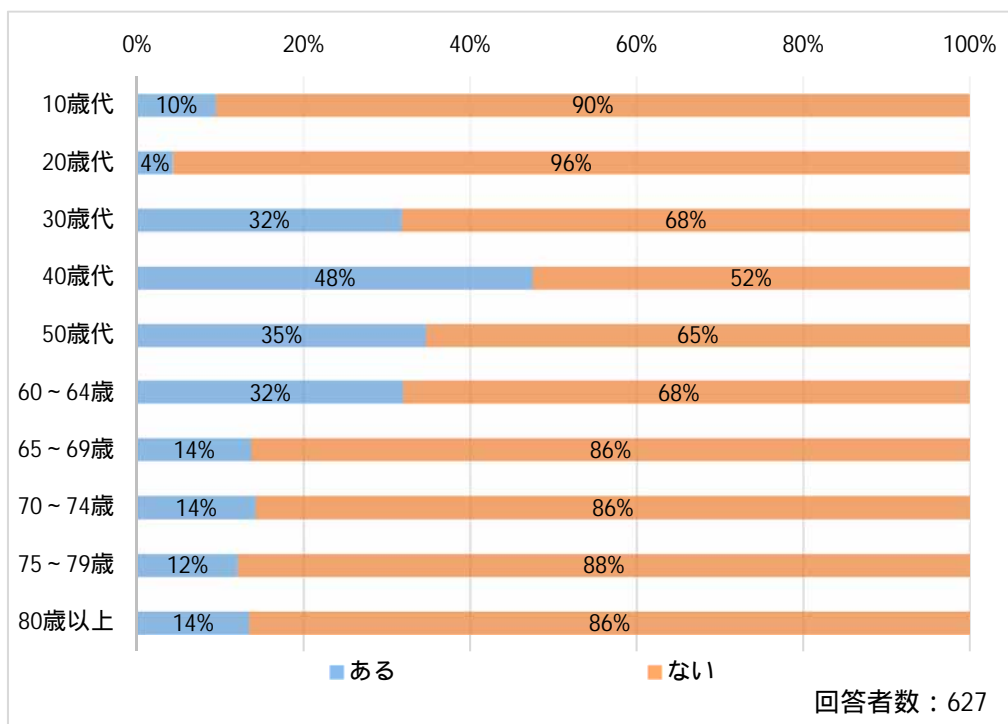
(1-1) 家族等を送迎する頻度(週)

家族等を送迎することがある人は約 2 割である。家族等を送迎する頻度は、週 1 回が最も多く 9%であり、週 5 回送迎している人も 4%いる。



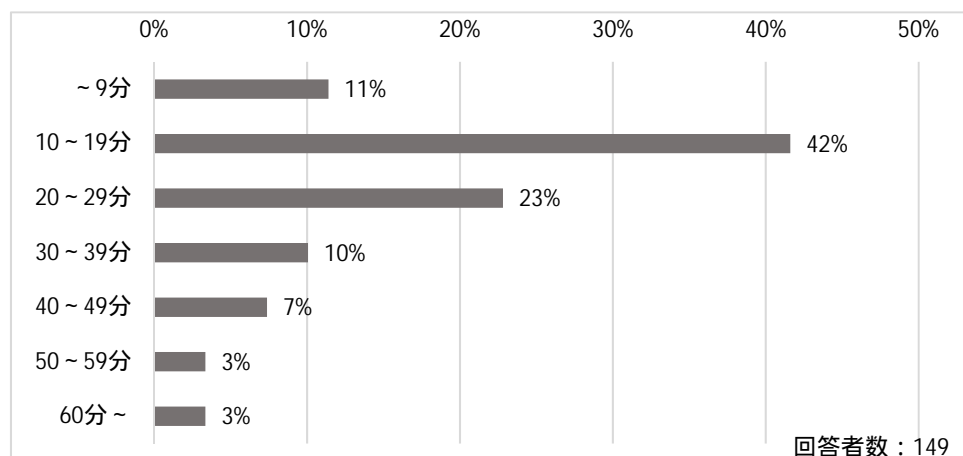
(1-2) 年齢層別 - 家族等を送迎することがある割合

家族等を送迎することがある人を年齢別に見ると、送迎することがある人は 30～64 歳に多い。40 歳代の 48%が送迎している。



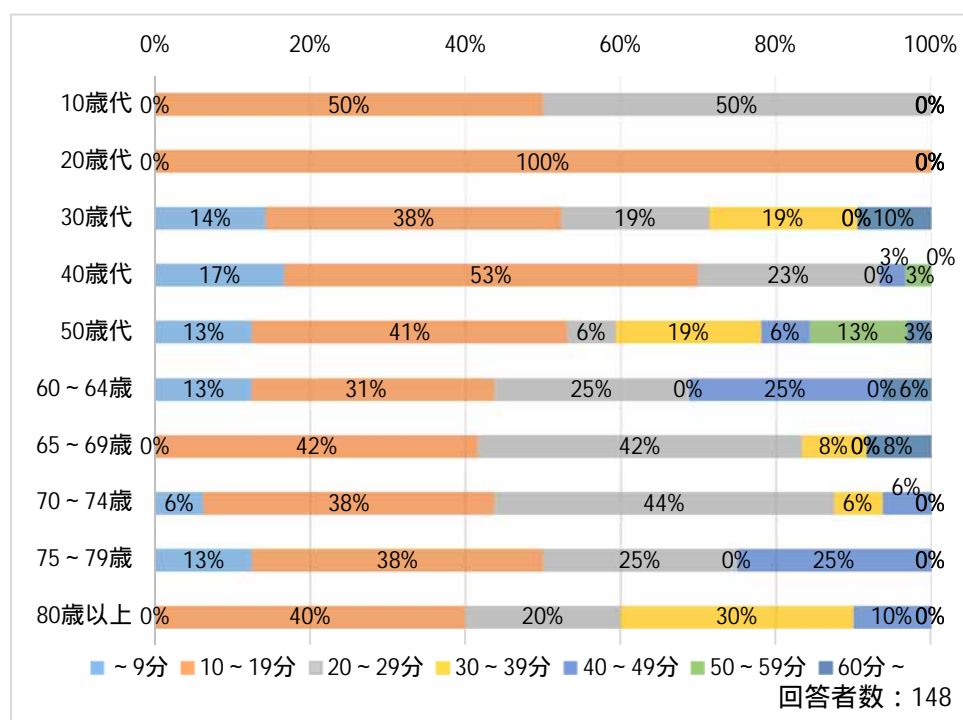
(1-3) 家族等を送迎するときの片道の所要時間

家族等を送迎するときの片道の所要時間は、10～19分が最も多い。



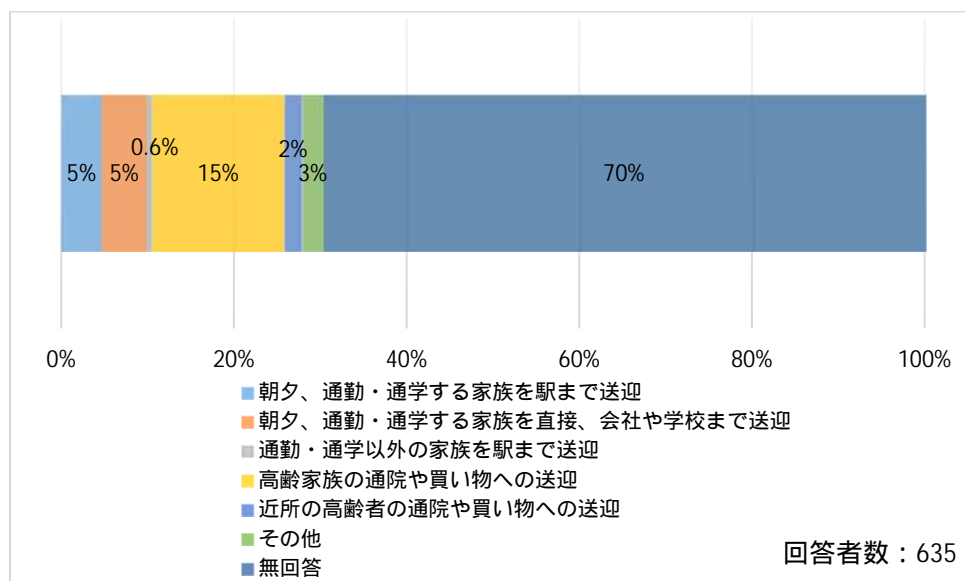
(1-4) 年齢層別-家族等を送迎する片道の所要時間

家族等を送迎するときの片道の所要時間を年齢別に見ると、いずれの年齢層においても10～19分が多いが、65歳以上では20～29分や30～39分も多い。高齢者ほど長時間送迎する傾向がある。



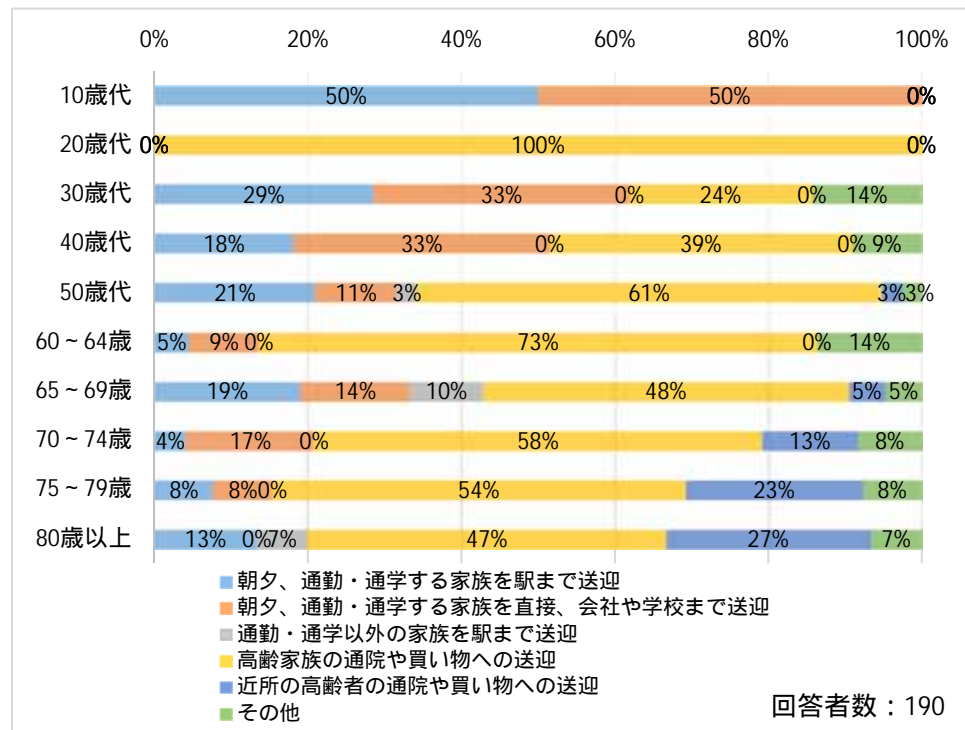
(2-1) 主な送迎の目的

送迎する人の主な送迎の目的は高齢家族の通院や買い物への送迎である。



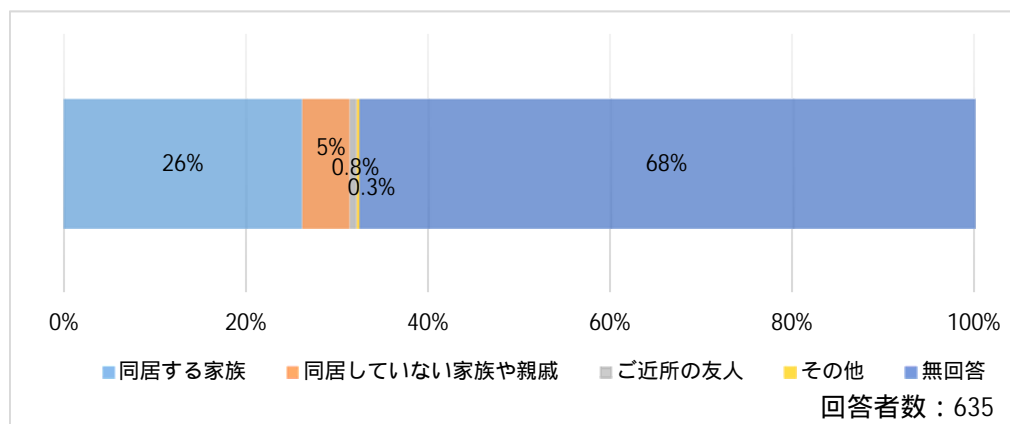
(2-2) 年齢層別 - 主な送迎の目的

送迎する人の主な送迎の目的を年齢別に見ると、30～40 歳代は朝夕通勤・通学する家族を直接会社や学校まで送迎する人が多く、50 歳以上は高齢家族の通院や買い物への送迎が多い。



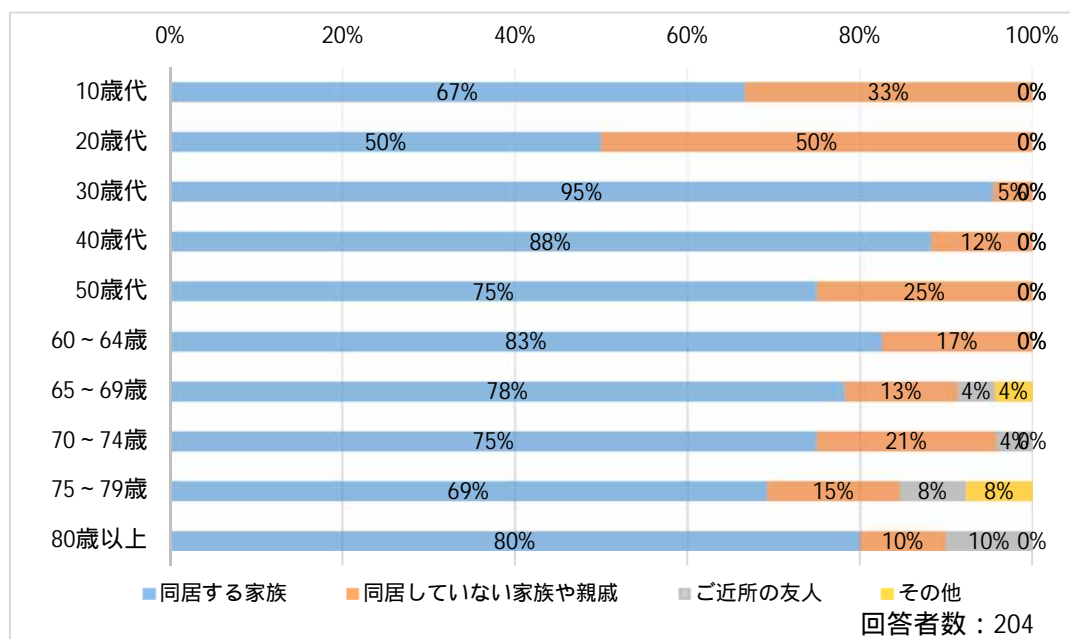
(3-1) 送迎してる方との関係

同居する家族を送迎する人が 26%と多い。同居していない家族やご近所の友人を送迎している人もいる。



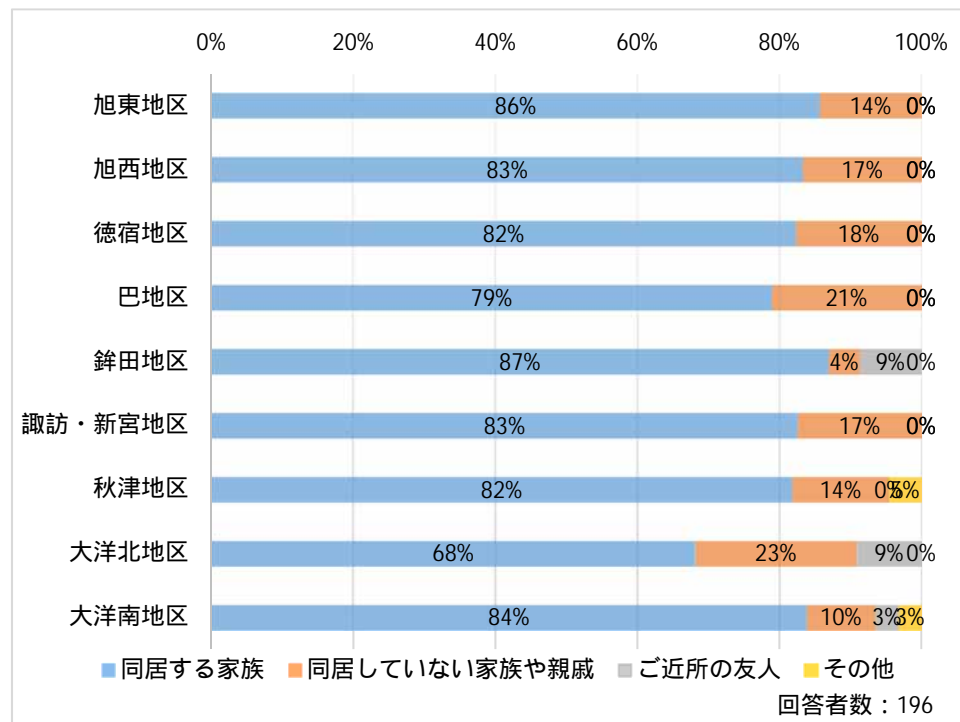
(3-2) 年齢層別 - 送迎してる方との関係

年齢層別に見ると、いずれの年代でも同居する家族を送迎している人が多い。65 歳以上でご近所の友人を送迎している人がいる。高齢になるほどその割合は高くなる。



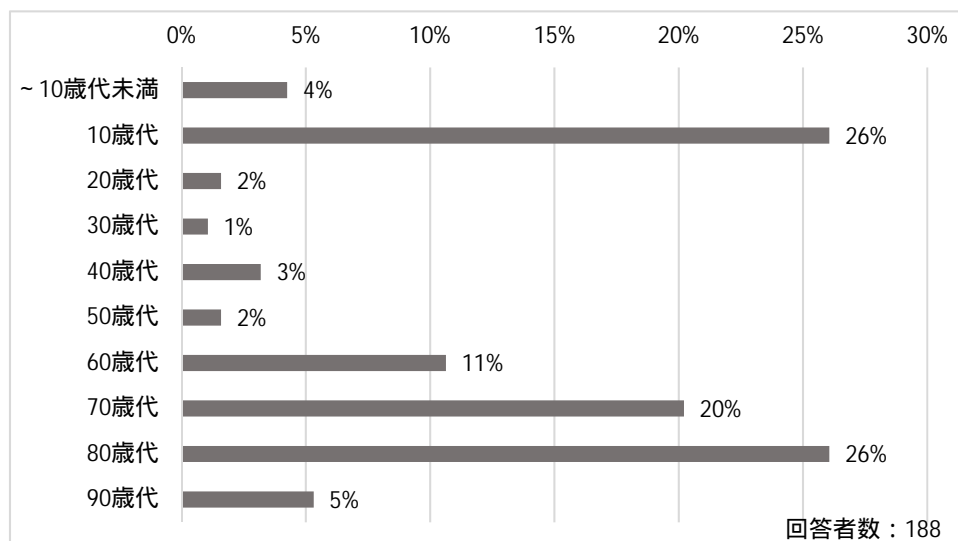
(3-3) 居住地区別 - 送迎してる方との関係

居住地区別に見ると、いずれの地区でも同居する家族を送迎する人が多い。大洋北地区では他地区と比べて同居する家族の割合が低く、同居していない家族や親戚の割合が高い。銚田地区、大洋北地区、大洋南地区ではご近所の友人を送迎している人がある。



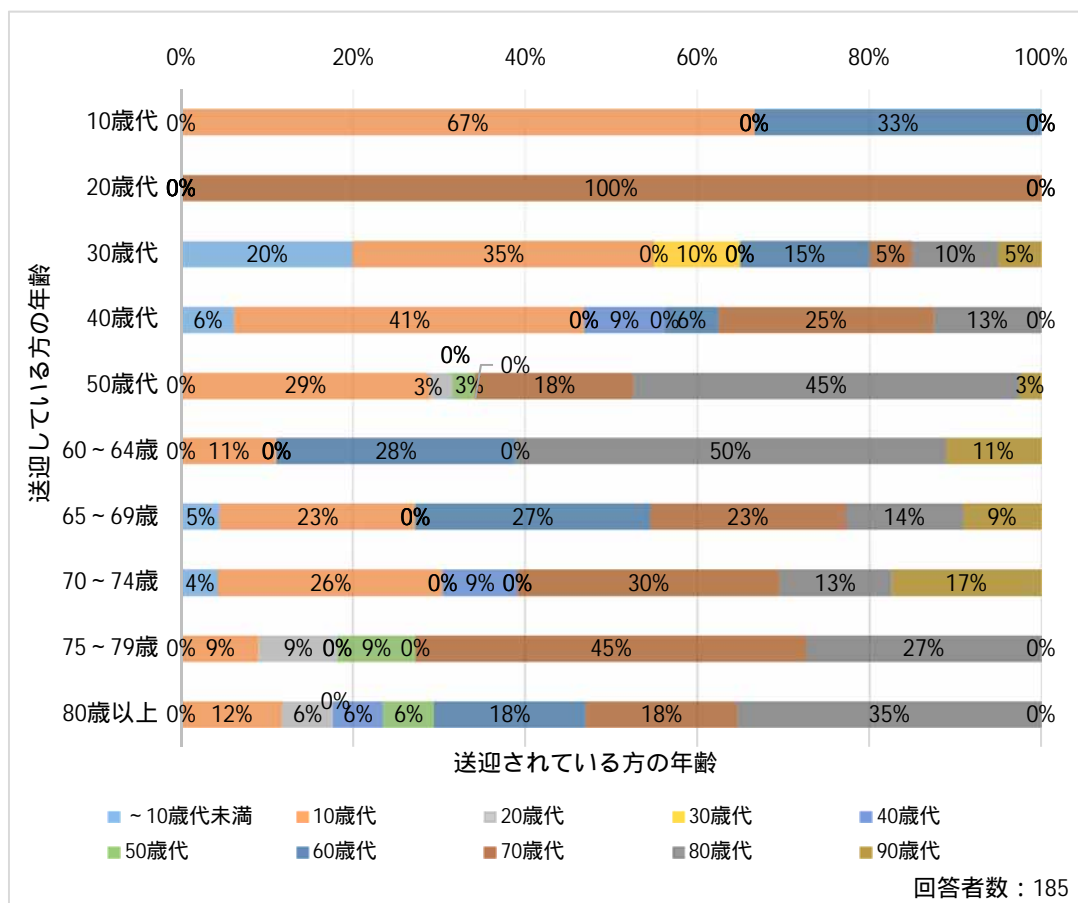
(4-1) 送迎してあげている方の年齢

送迎してあげている方の年齢は10歳代の若年者と60歳以上の高齢者が多い。



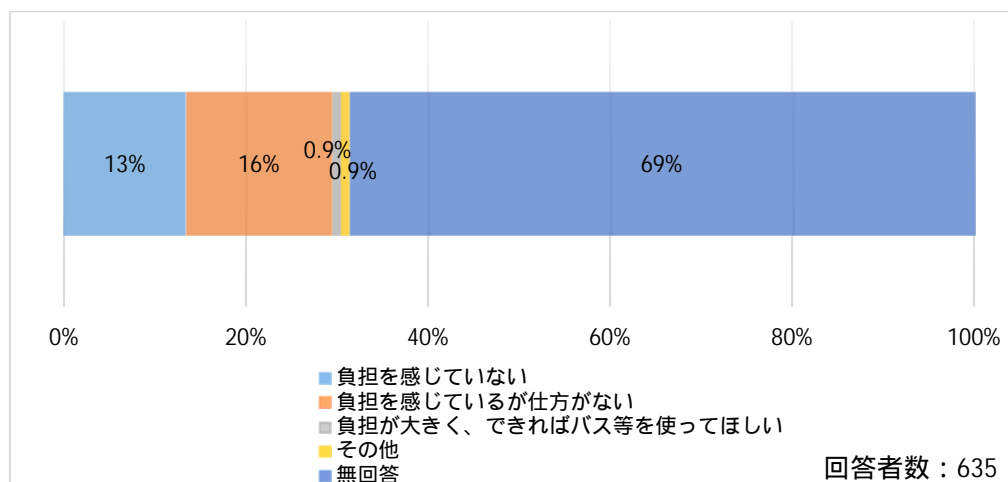
(4-2) 年齢層別-送迎してあげている方の年齢

送迎している方と送迎してされている方の年齢の関係をみると、30～40歳代は10歳代の若年者を送迎している割合が高い。50～64歳は80歳代の高齢者を送迎している割合が高い。65歳以上はそれぞれ同じ年齢層の方を送迎している割合が高い。



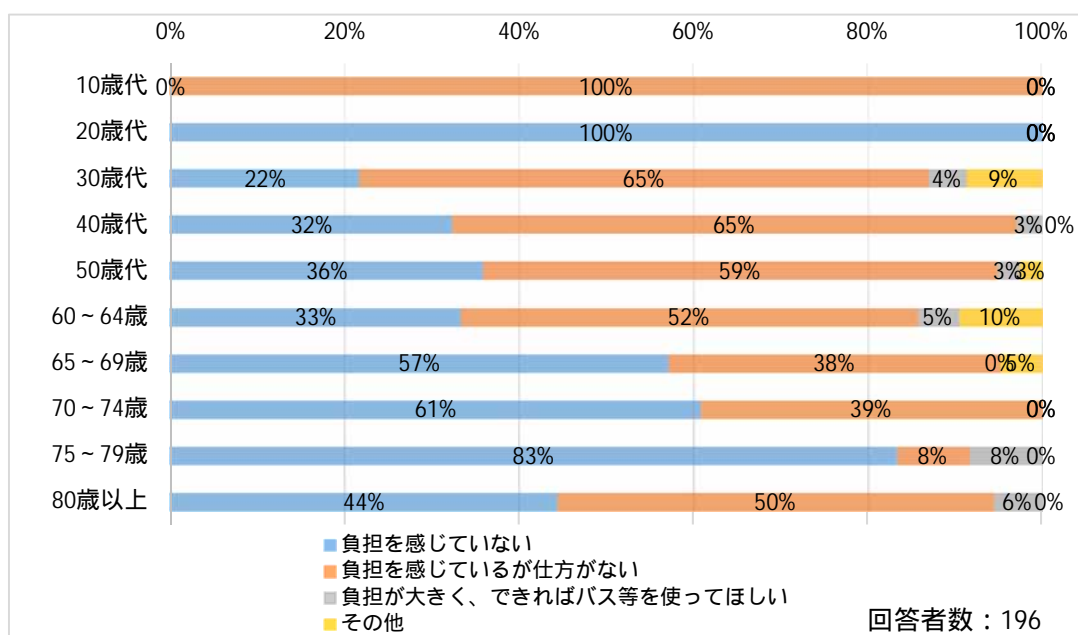
(5-1) 家族等を送迎することについての思い

家族を送迎することについて負担を感じているが仕方がないと思う人が16%である。



(5-2) 年齢層別 - 家族等を送迎することについての思い

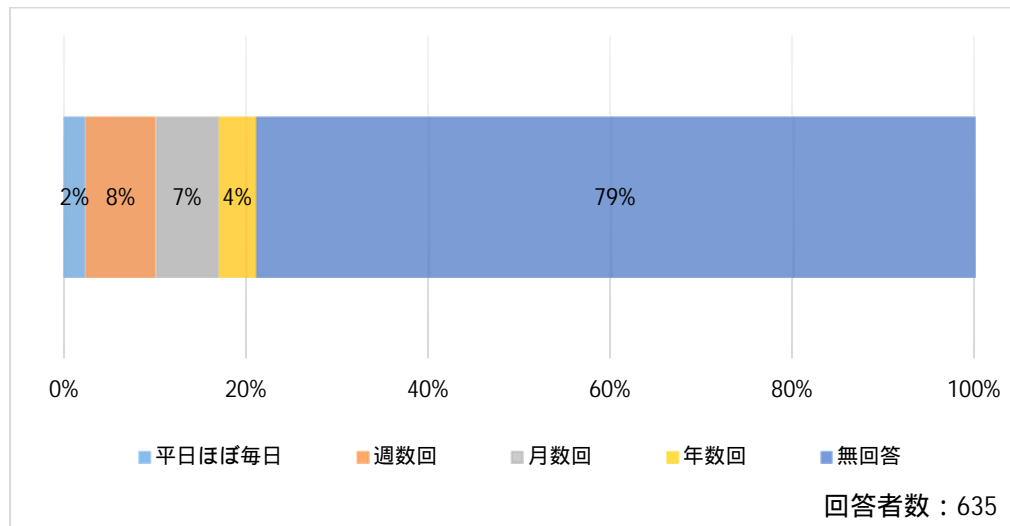
年齢別に見ると、高齢になるほど負担を感じていない人の割合が高い傾向にある。30～64歳では負担を感じている人が半数を超えている。



10. 家族等に送迎してもらうことについて

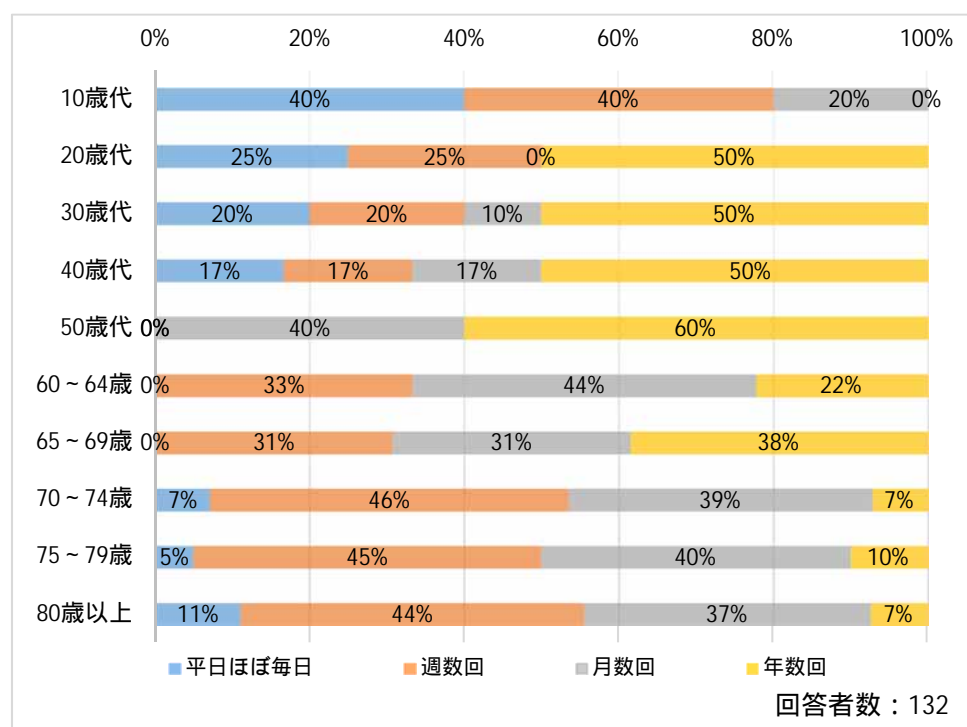
(1-1) 家族等に送迎してもらう頻度

家族等に送迎してもらうことある人は約2割である。送迎してもらう頻度は、週数回が8%、月数回が7%である。



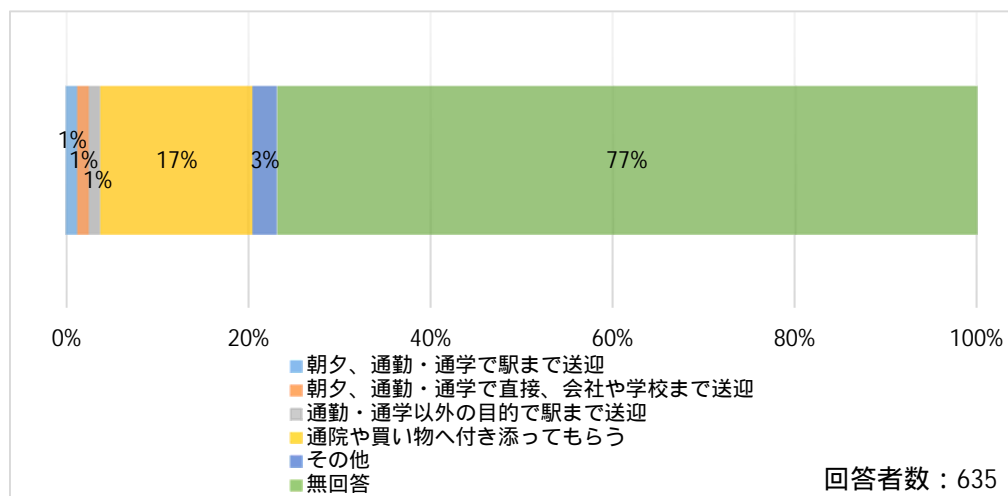
(1-2) 年齢層別-家族等に送迎してもらう頻度

年齢別に見ると、10歳代は平日ほぼ毎日や週数回が多く、頻度が高い。20～50歳代は年数回が多く、頻度が少ない。60歳以上は週数回や月数回が多い。



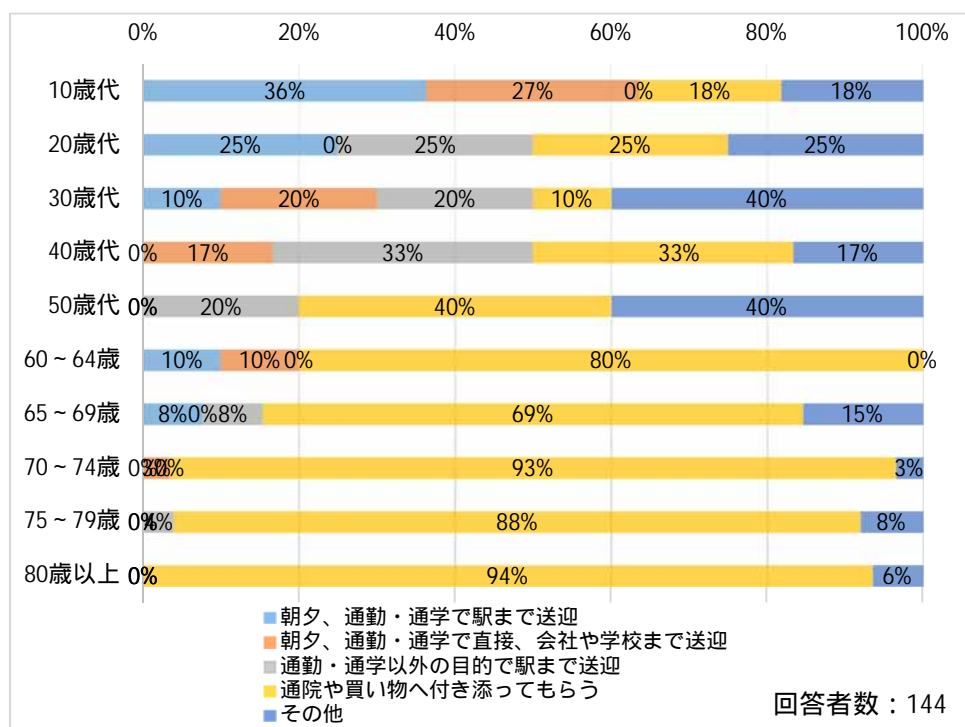
(2-1) 主な送迎の目的

送迎してもらう人の主な目的は、病院や買い物に付き添ってもらうが多い。



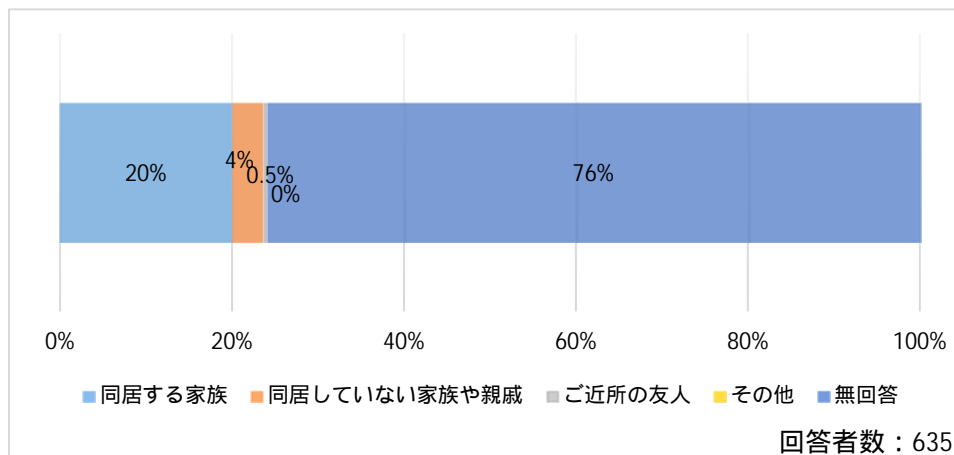
(2-2) 年齢層別 - 主な送迎の目的

年齢別に見ると、10歳代は朝夕、通勤・通学で駅まで送迎が多く、60歳以上は通院や買い物へ付き添ってもらうが多い。



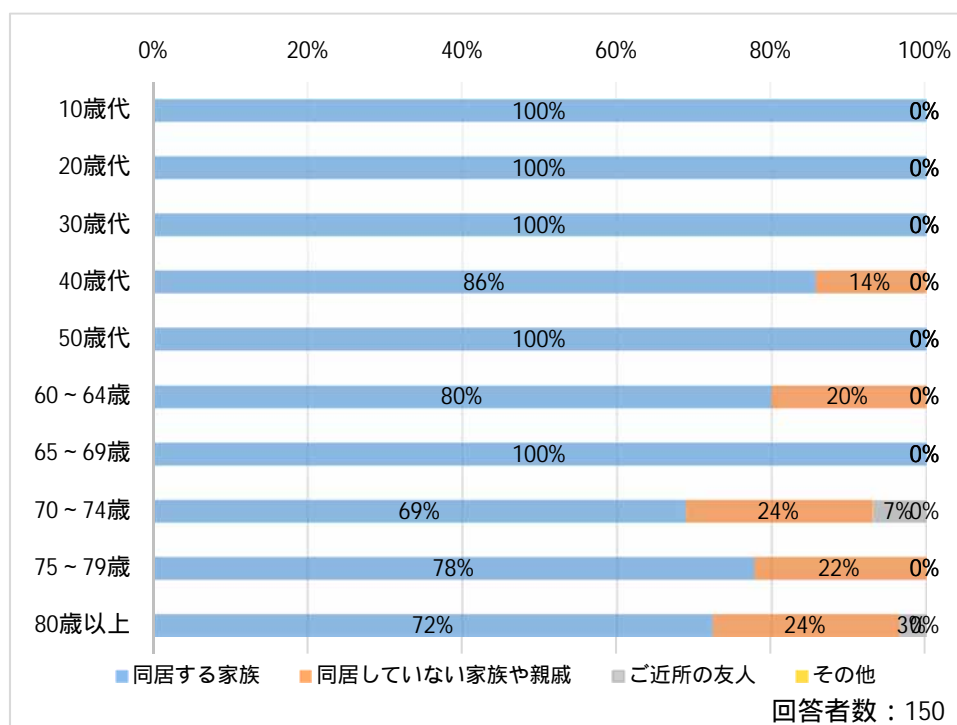
(3-1) 送迎してもらっている方との関係

送迎してもらっている方との関係は、同居する家族が20%で最も多い。



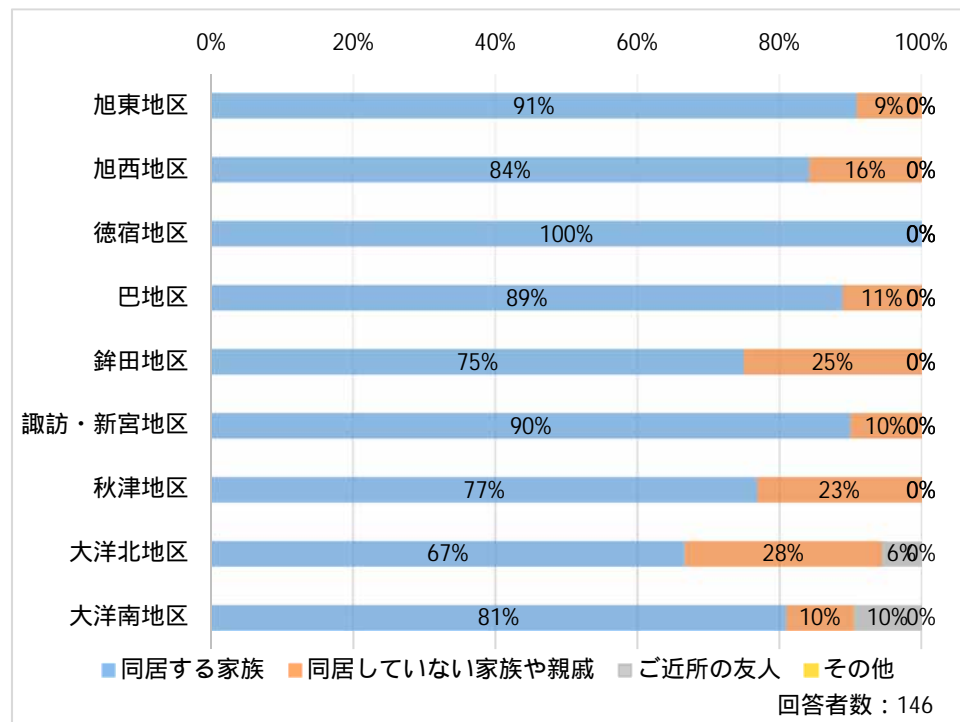
(3-2) 年齢層別-送迎してもらっている方との関係

送迎してもらっている方との関係は、いずれの年齢層も同居する家族が最も多い。高齢層で同居していない家族や親戚に送迎してもらっている人がある。70歳以上で近所の友人に送迎してもらっている人がある。



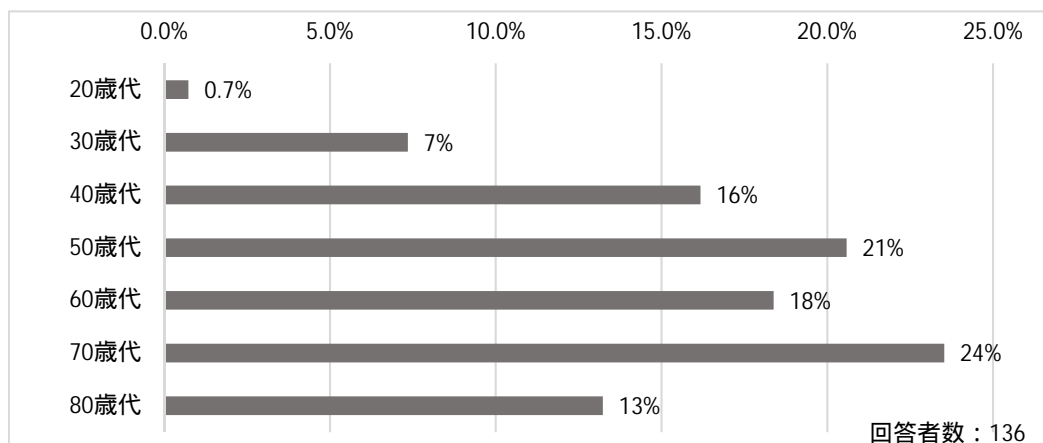
(3-3) 居住地区別 - 送迎してもらっている方との関係

居住地区別に見ると、いずれの地区でも同居する家族の送迎してもらっている割合が高い。鉾田地区、秋津地区、大洋北地区では同居していない家族や親戚に送迎してもらっている割合が他地区と比べて高く、大洋北地区と大洋南地区ではご近所の友人に送迎してもらっている人がいる。



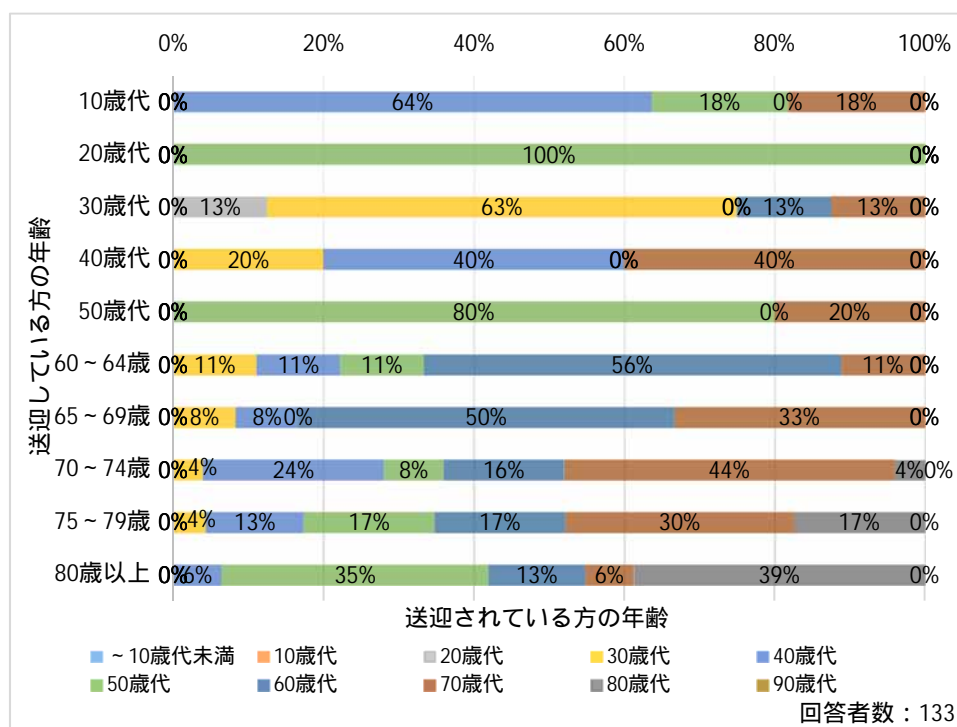
(4-1) 送迎してもらっている方の年齢

送迎してもらっている方の年齢は70歳代が最も多い。



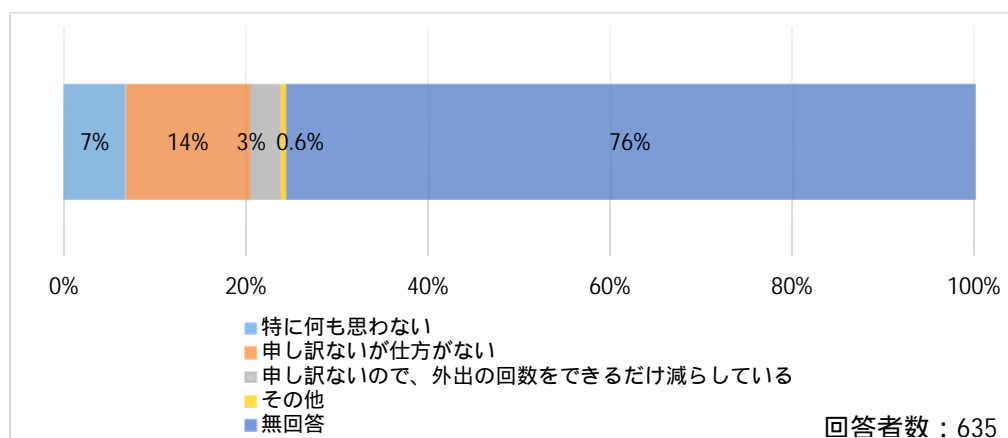
(4-2) 年齢層別-送迎してもらっている方の年齢

送迎してもらう方と送迎している方の年齢の関係をみると、10歳代は30歳代に送迎してもらっている方が多い。30歳以上はそれぞれ同じ年齢層の方に送迎してもらっている割合が高い。80歳以上は50歳代の方に送迎してもらっている割合も高い。



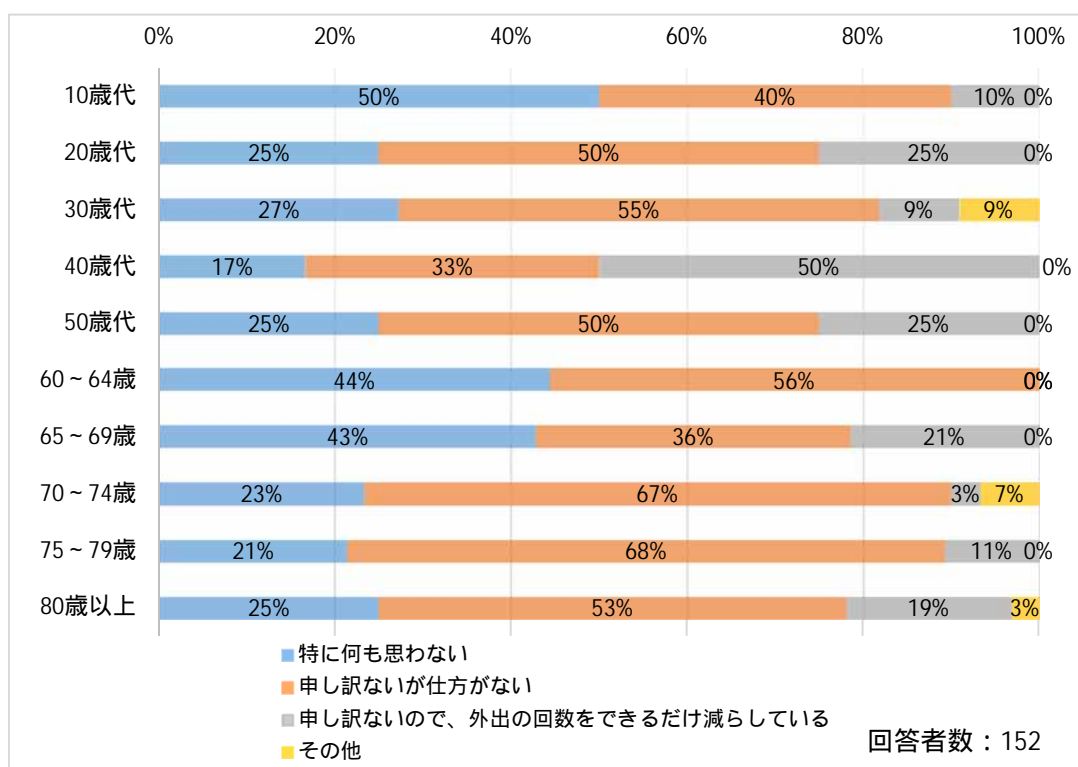
(5-1) 家族等に送迎してもらうことについての思い

家族等に送迎してもらうことについて、申し訳ないが仕方がないと考えている人が 14%で最も多い。申し訳ないので外出の回数をできるだけ減らしている人も 3%いる。



(5-2) 年齢層別 - 家族等に送迎してもらうことについての思い

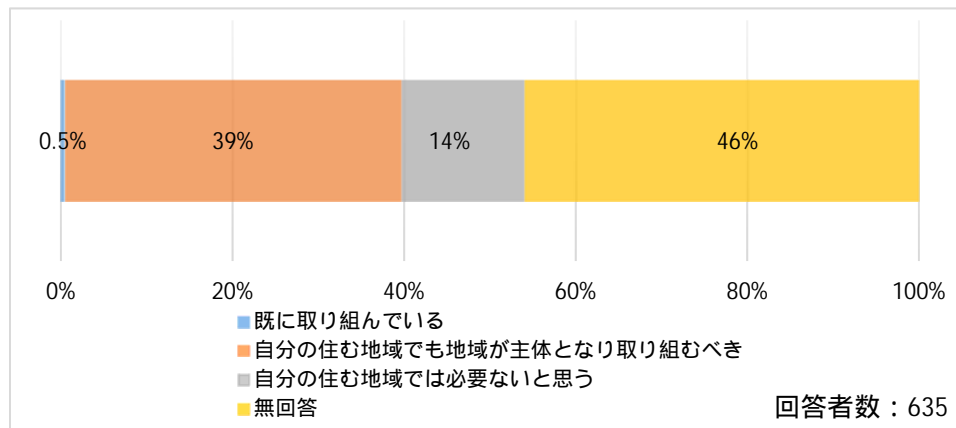
年齢層別に見ると、申し訳ないので外出の回数をできるだけ減らしている人は若年層から高齢層まで幅広い年代にいる。幅広い年代を対象とした送迎に頼らずに移動できる交通手段が必要である。



11. 地域での助け合いによる送迎について

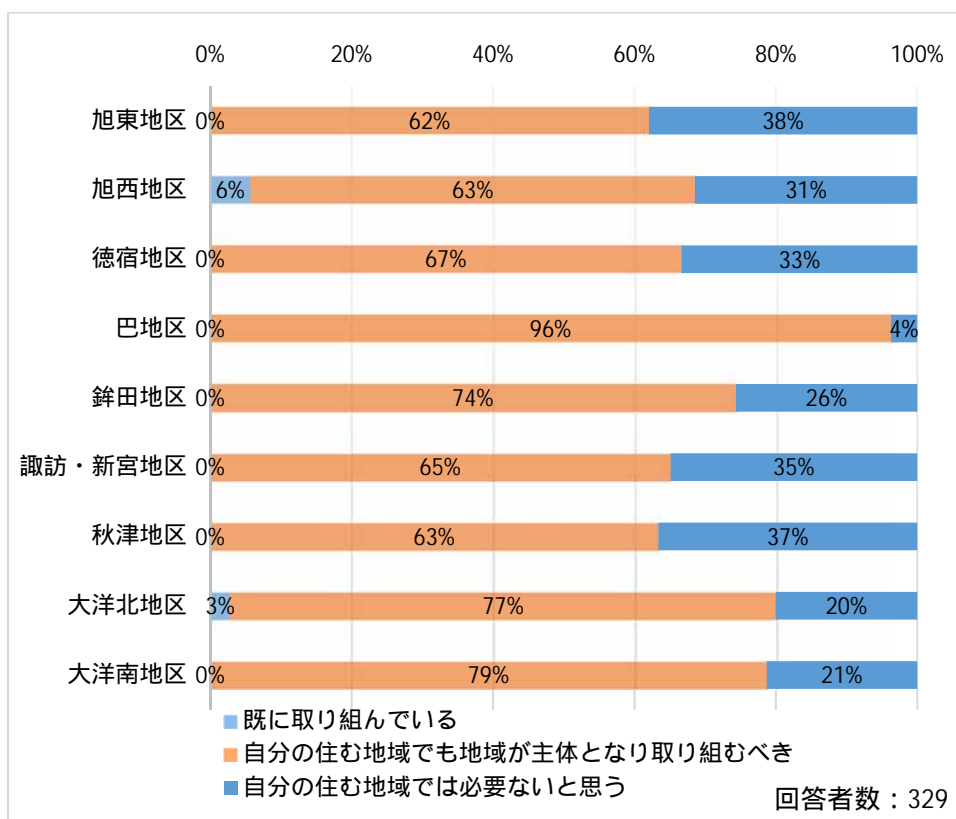
(1-1) 地域での助け合いによる送迎の必要性

地域ボランティアが運転士となり、高齢者を対象に、自宅と買い物先や病院の間を運行に係る実費相当分を利用者に負担してもらい送迎する取組について、自分の住む地域でも地域が主体となり取り組むべきと考える人が39%が多い。



(1-2) 居住地区別 - 地域での助け合いによる送迎の必要性

居住地区別に見ると、巴地区で地域での助け合いによる送迎の必要性が96%と高い。旭西地区(田崎、上太田で1名ずつ)や大洋北地区(台濁沢で1名)では既に取り組んでいる人がいる。



(1-3) 地域での助け合いによる送迎の必要性の理由

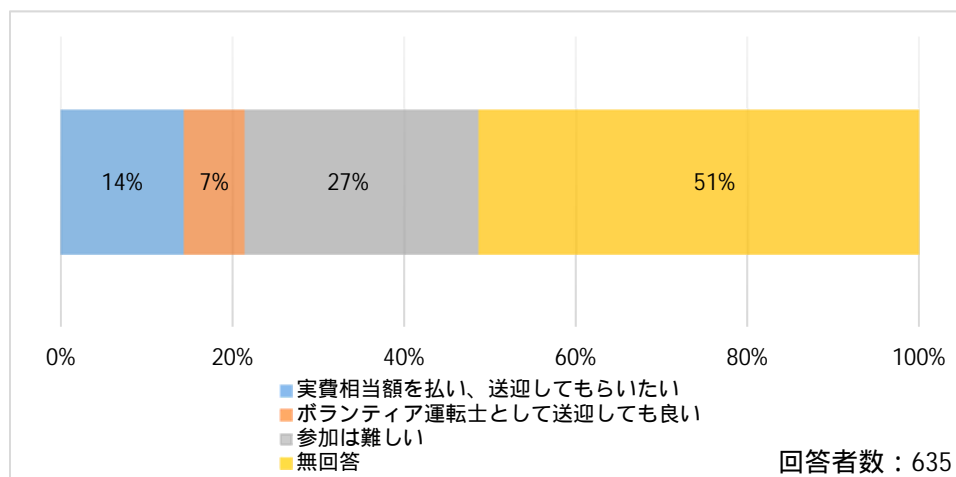
自分の住む地域でも地域が主体となり地域での助け合いによる送迎に取り組むべきと回答した人の理由は、高齢者の増加、高齢者の自動車の運転への不安、買物通院等の生活のためが多い。

自分の住む地域で地域での助け合いによる送迎が必要ないと思うと回答した人の理由は、事故の補償やトラブル等の導入への不安が多い。

の回答	理由	件数
1.既に取り組んでいる	ボランティア団体に加入是非必要	1
2.自分の住む地域でも地域が主体となり取り組むべき	高齢者増加のため	12
	高齢車自動車運転への不安	11
	買物病院等生活のため	11
	将来の不安	10
	公共交通がない	6
	交通手段の一つとして	5
	送迎の負担のため	4
	送迎してくれる人がいない	3
	あった方が良いが事故やトラブルが心配	2
	地域の方なら安心	2
	ボランティアなら無料で良いのでは	1
	ボランティアは良くない、きちんと「仕事」とすべき	1
	相当額を払ってまで参加できない	1
	お互いさまで取り組むべき	1
3.自分の住む地域では必要ないと思う	事故の補償やトラブル等導入に不安	8
	家族内等で対応できるため必要ない	5
	人材の確保が難しい	1
	現在は必要ないが将来的には必要	1
	人により違うので何とも言えない	1
	バス停が多くなれば歩ける	1
	ボランティアは良いが実費相当額負担は悩ましい	1
回答なし	事故の補償やトラブル等導入に不安	3
	今の所は考えていない	2
	実費相当額負担でなく自治体の補助があって良いのでは	1
	ウーバーがあれば行政関与は必要なし	1
	軽自動車以外通れない	1

(2-1) 地域での助け合いによる送迎への参加意識

地域での助け合いによる送迎への参加意識は、送迎してもらいたい人が 14%、送迎しても良い人が 7% である。

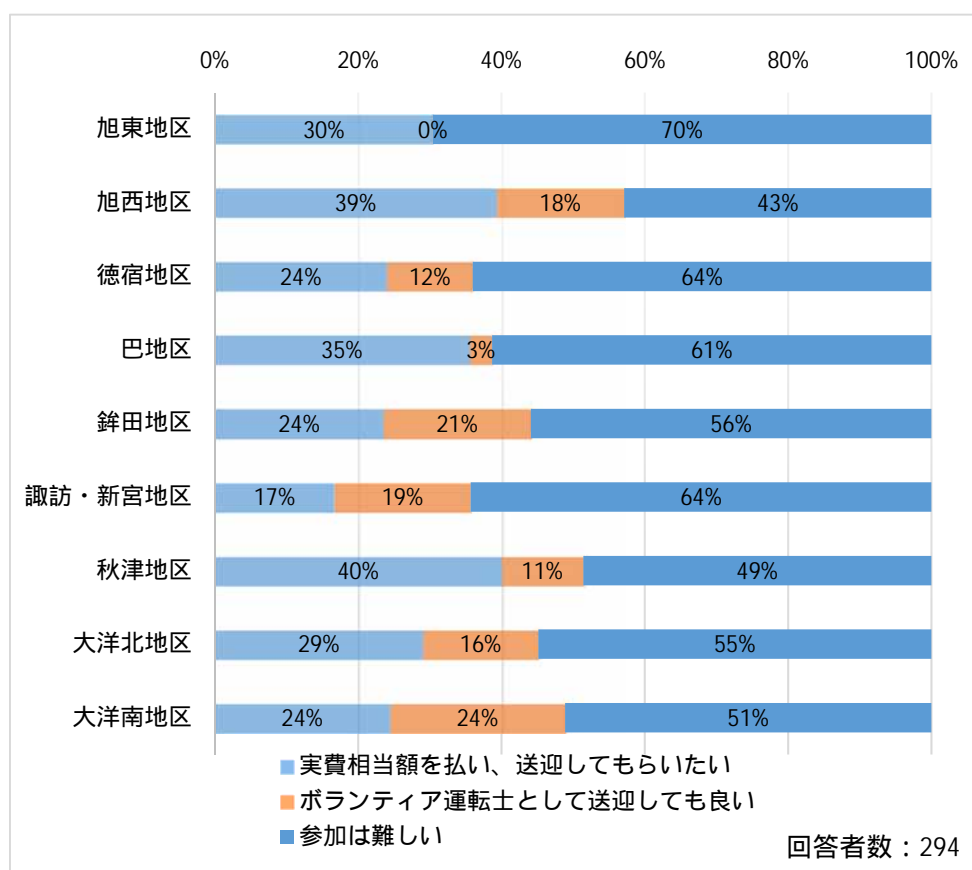


(2-2) 居住地区別 - 地域での助け合いによる送迎への参加意識

居住地区別に見ると、旭西地区、巴地区、秋津地区で送迎してもらいたい人が約 4 割と多い。

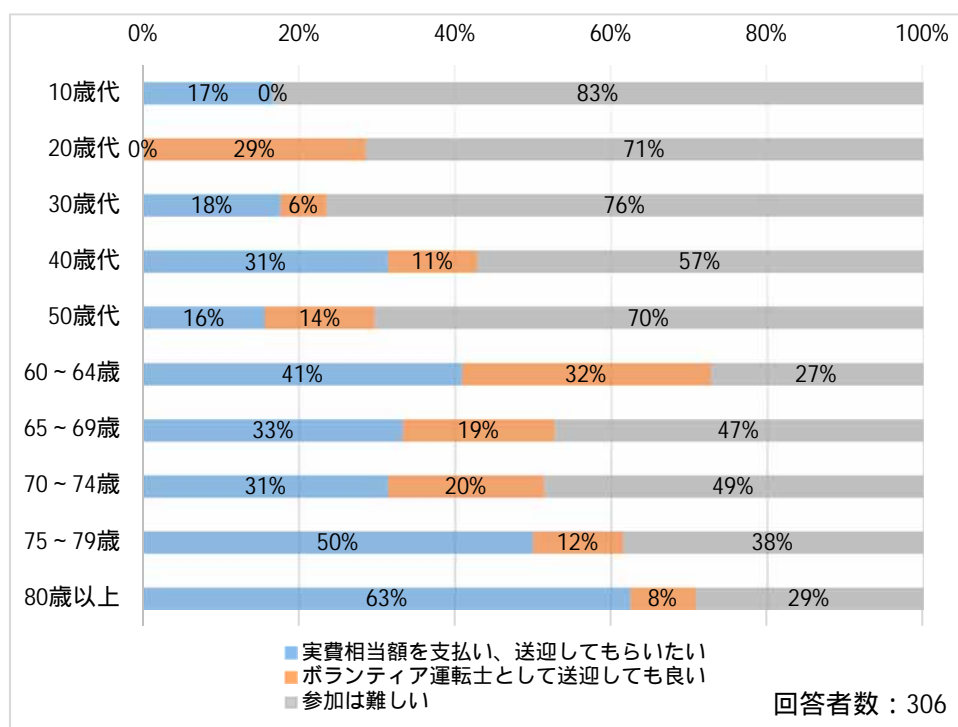
送迎しても良い人の割合は大洋南地区が最も多く、旭東地区、巴地区では少ない。

地域での助け合いによる送迎を実施する場合、地区ごとに送迎してもらいたい人と送迎しても良い人の割合に差があるので、地区を超えて送迎しても良い人を募集することも検討する必要がある。



(2-3) 年齢層別-地域での助け合いによる送迎への参加意識

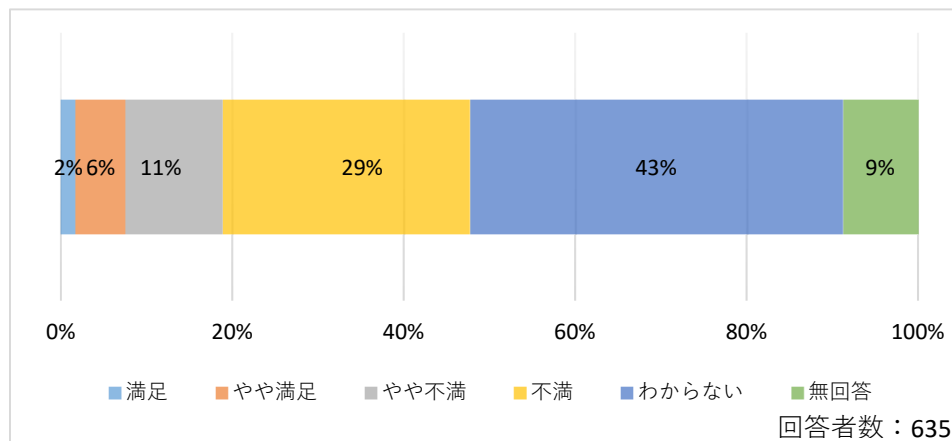
年齢別に見ると、75歳以上で送迎してもらいたい人が50%を超え、多い。送迎しても良い人は20歳代、60～64歳で約3割、65～74歳で約2割いる。



12. 銚田市の公共交通についての意見

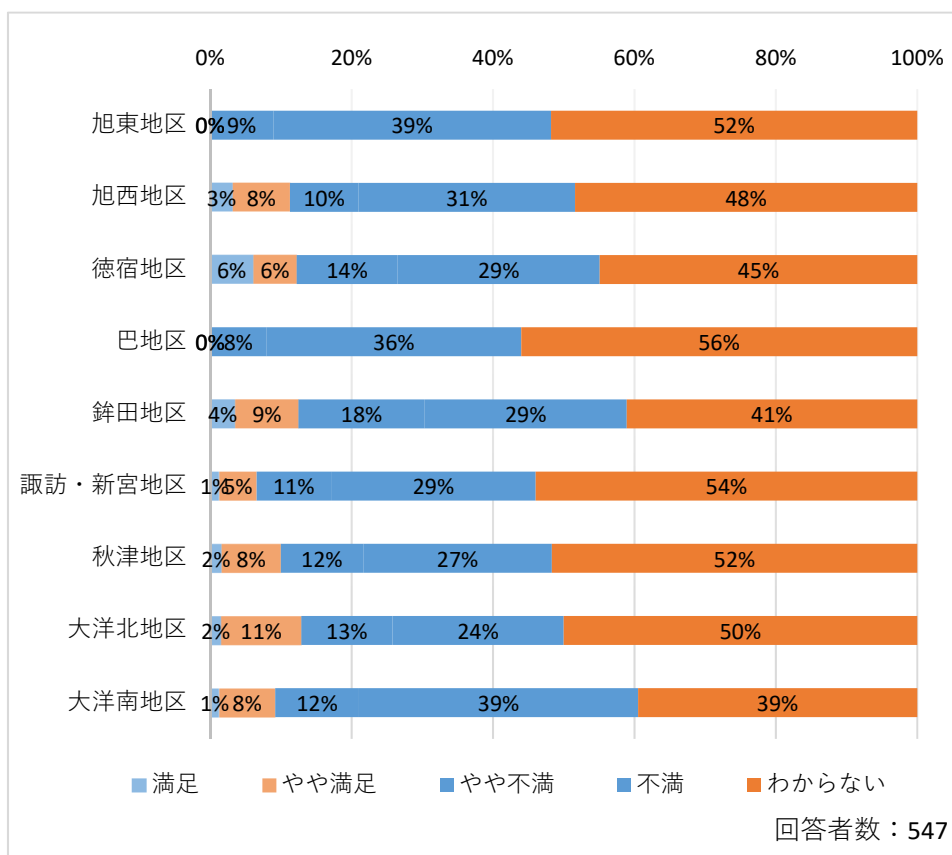
(1-1) 現在の銚田市内の公共交通(鉄道・バス・タクシー等)の満足度

現在の銚田市内の公共交通に満足、やや満足している人が 8%であり、非常に低い。わからない人も 43%であり、公共交通への関心が低いと考えられる。



(1-2) 居住地区別-現在の銚田市内の公共交通(鉄道・バス・タクシー等)に満足か

居住地区別に見ると、旭東地区と巴地区で満足、やや満足している人がいない。



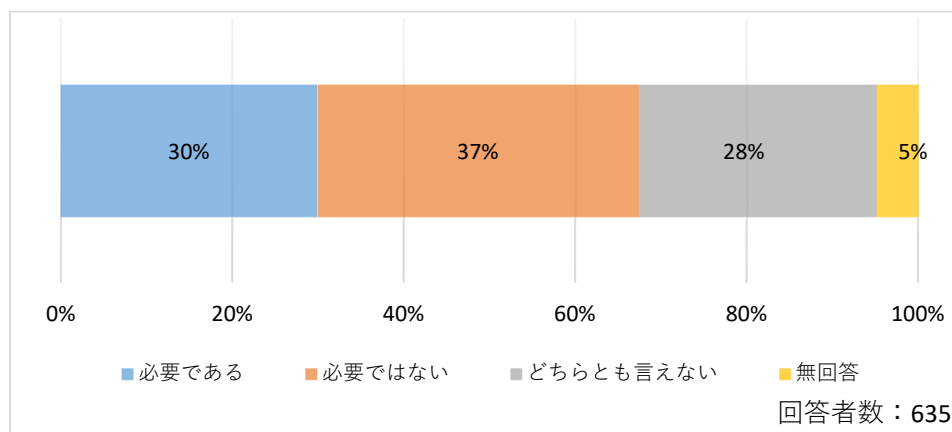
(1-3) 現在の銚田市内の公共交通(鉄道・バス・タクシー等)に満足かの理由

銚田市の公共交通に不満と回答した人の理由は、近くに公共交通がないが多い。

回答	理由	件数
満足	自家用車で事足りるため	2
	通勤・通学において十分に利用できる公共交通がある	1
やや満足	鉄道は使いやすい	2
	鉄道の運行本数が少ない	2
	高齢者なので配慮してもらえている	2
	今のところ心配ない	2
	タクシーの運転手の態度が悪い	1
やや不満	本数が少ない	14
	料金が高い	7
	近くに公共交通がない	7
	車中心になっている	4
	将来に不安	2
	場所により公共交通にばらつきがある	2
	時刻表に問題あり(通勤通学に間に合わない、終バスが早い)	2
	タクシーがない・少ない	2
	電車の料金が高い	1
	駅・バス停までの交通手段がない	1
	公共交通が詳しくわからない	1
	電車の本数が少ない	1
不満	近くに公共交通がない	29
	本数が少ない	23
	料金が高い	12
	駅・バス停までの交通手段がない	11
	時刻表に問題あり(通勤通学に間に合わない、終バスが早い)	9
	電車の料金が高い	8
	不便	7
	車中心になっている	6
	タクシーが高い	6
	場所により公共交通にばらつきがある	3
	対応が悪い	3
	タクシーがない・少ない	3
	公共交通が詳しくわからない	2
	将来に不安	1
わからない	利用したことが無いから分からない、良く知らない	87
	将来的には不安	4
無回答	利用したことが無いから分からない、良く知らない	3
	バスが無い	2
	タクシーがない・少ない	1
	タクシーが高い	1

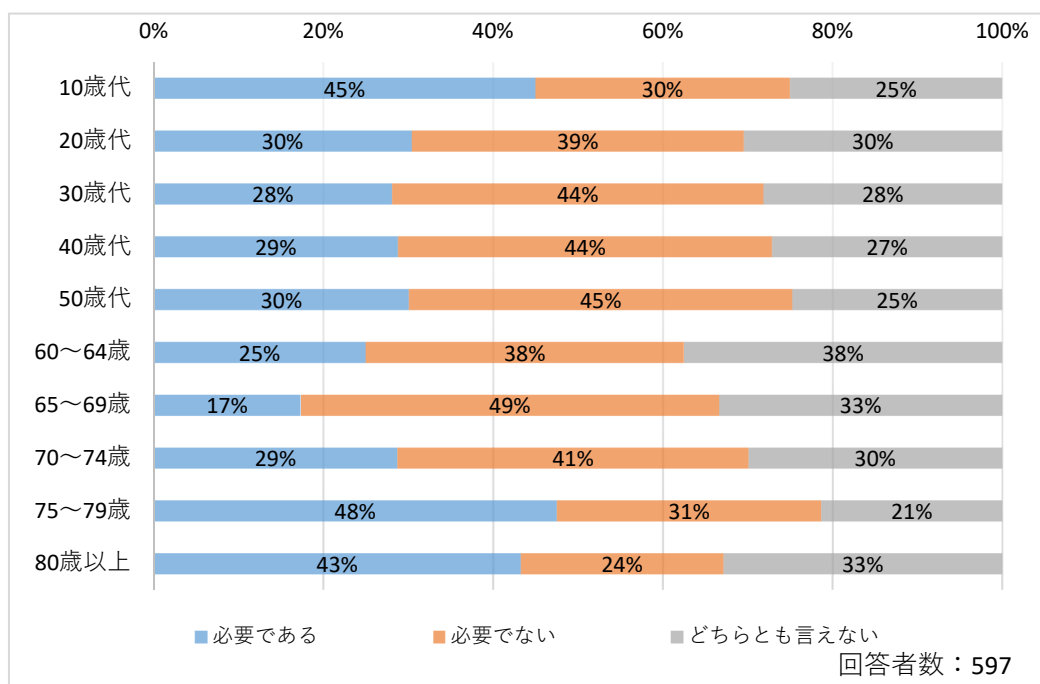
(2-1) 現在の公共交通(鉄道・バス・タクシー等)の必要性

現在公共交通を必要としている人は 30%、必要ではない人が 37%である。



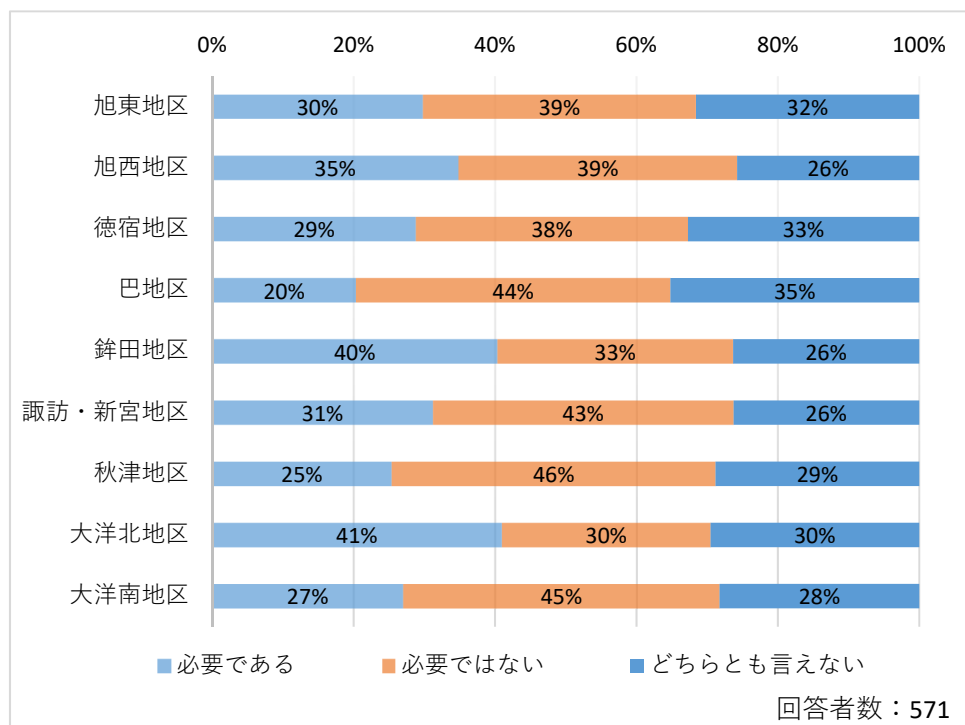
(2-2) 年齢層別-現在の公共交通(鉄道・バス・タクシー等)の必要性

年齢別に見ると、公共交通を必要としている人は 10 歳代の若年層と 75 歳以上の高齢層で 4 割を超えている。



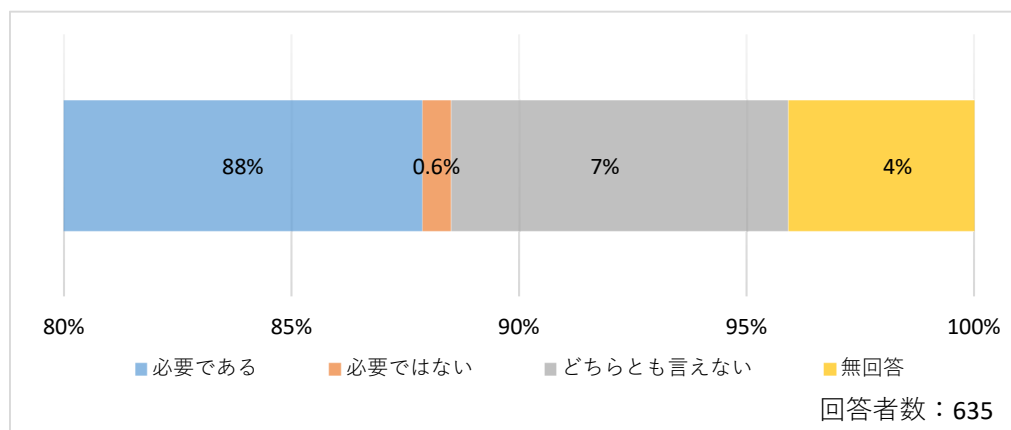
(2-3) 居住地区別-現在の公共交通(鉄道・バス・タクシー等)の必要性

居住地区別に見ると、鉾田地区と大洋北地区必要ではない人より必要である人が多い。



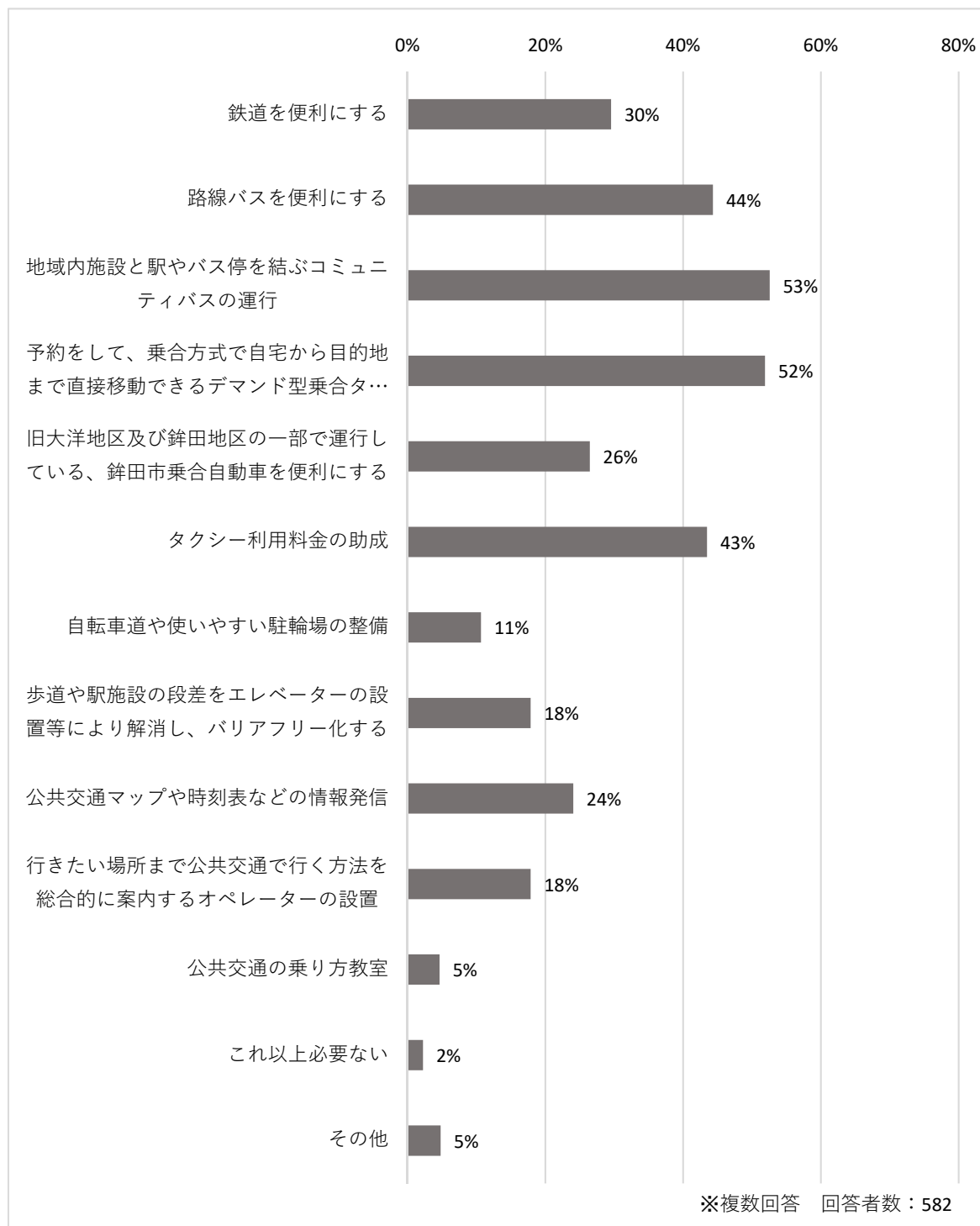
(3) 将来高齢化が進展した時に、市民が生活するための社会基盤として公共交通の必要性

将来高齢化が進展したときに公共交通が必要と考える人は88%である。



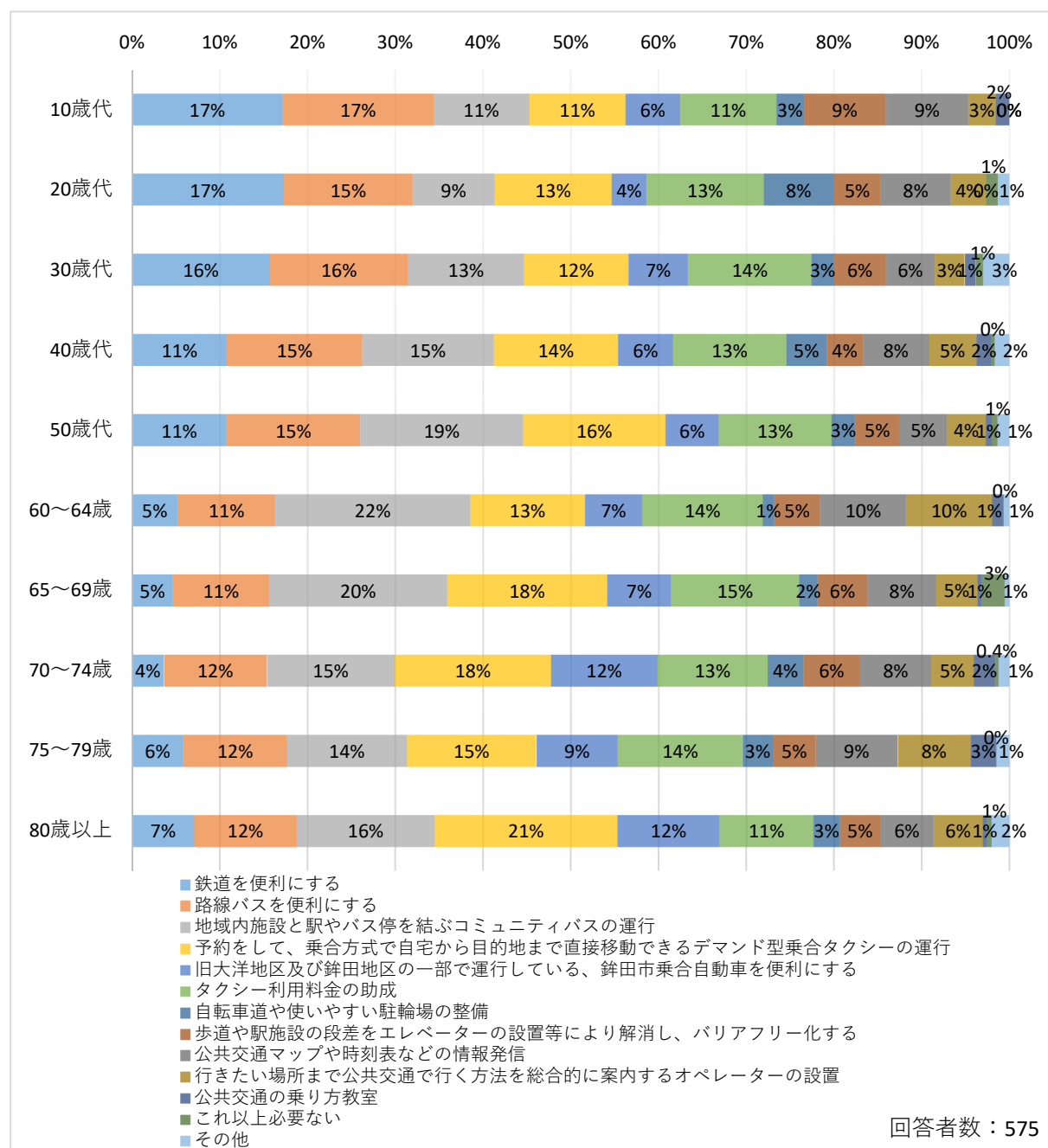
(4-1) 公共交通を利用しやすくするために市に実施してもらいたいこと

公共交通を利用しやすくするために、地域内施設と駅やバス停を結ぶコミュニティバスの運行と、デマンド型乗合タクシーの運行が半数以上の人に望まれている。路線バスを便利にすることと、タクシー利用料金の助成が約4割に望まれている。



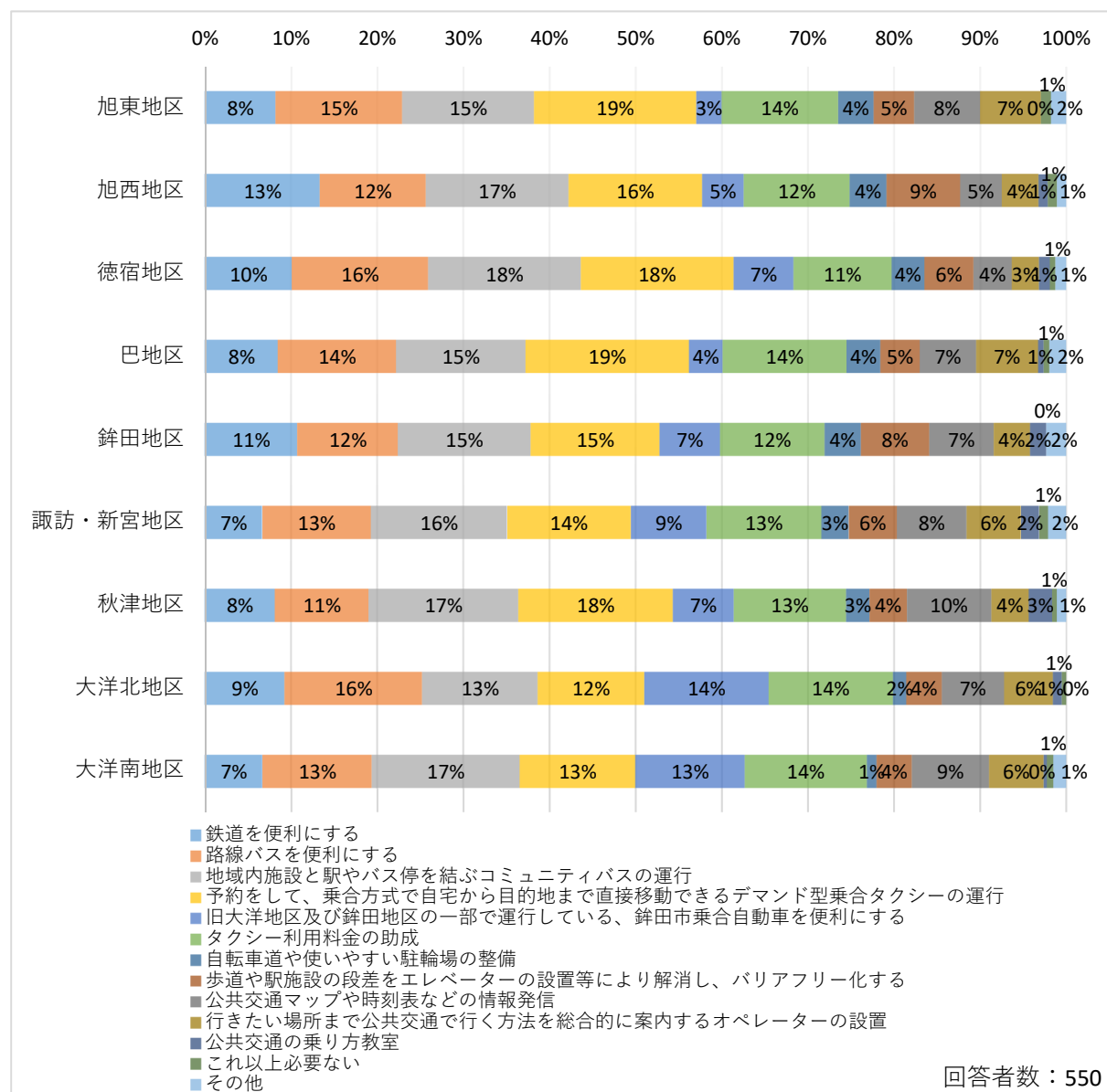
(4-2) 年齢層別-公共交通を利用しやすくするために市に実施してもらいたいこと

年齢別に見ると、10～30 歳代は鉄道を便利にすると路線バスを便利にするが多い。50～69 歳はコミュニティバスの運行が最も多く、70 歳以上はデマンド型乗合タクシーの運行が最も多い。



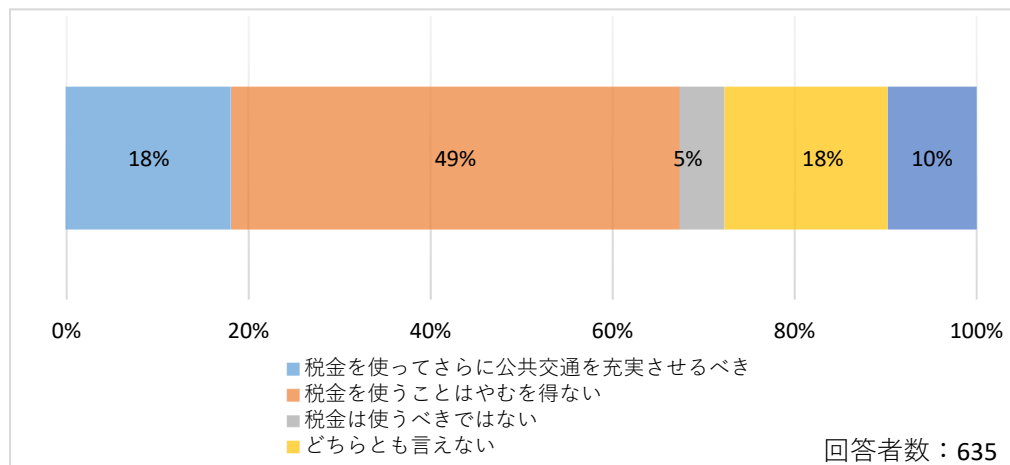
（４-３）居住地区別-公共交通を利用しやすくするために市に実施してもらいたいこと

居住地区別に見ると、いずれの地区でも路線バスを便利にする、コミュニティバスの運行、デマンド型乗合タクシーの運行、タクシー利用料金の助成が多い。旭西地区と鉾田地区では、他地区と比べて、鉄道を便利にすると歩道や駅施設のバリアフリー化の割合が高い。大洋北地区と大洋南地区では鉾田市乗合自動車を便利にするの割合が高い。



(5) 公共交通の維持・確保のために市が負担することへの思い

公共交通の維持・確保のために市が税金を使うことはやむを得ないと考える人が約 5 割である。約 2 割は税金を使ってさらに公共交通を充実させるべきと考えている。



13. 銚田市の公共交通についてのアイデアや意見

市内公共交通について 123 票の自由回答があった。

項目	アイデア・意見
電車	大洗鹿島線を今まで利用してきたが座席が埋まっていることが無く外の景色を楽しめるのは都会の公共交通とは違う銚田市の公共交通の魅力の一つだと思う。
	Suicaが使えるようになると大洗鹿島線も少しはましになる。大洗鹿島線は高い。水戸まで新銚田から¥800は高すぎ。しかも本数が少ない。
	大洗鹿島線の車両の温度調節をもう少しちゃんとしてほしい
	都内通勤できるように始発早くし最終を遅くする。東京駅に7:30着（高速バス）東京駅から22:00発（高速バス）につながるようにしてほしい
	1時間に上下1本の鉄道をちょっと違う視点で利用出来たら楽しいだろうな
	大洗鹿島線は学生の頃からそうでしたが社会人になった今でも頻繁に利用させてもらっています。なので決して無くなってはほしくないですし、もっと利用しやすいものになってほしいと思います。他の交通機関もいいのですが、私個人としては一番鉄道を力をいれてほしいです。
	大洗鹿島線の運賃を安くしてほしい
	TX（つくばエクスプレス）とつなげる
	大洗鹿島線・タクシーは運賃が高すぎる
	鹿島線の本数を増やしたり終電時刻をもう少し遅くし、運賃の値下げに期待します。
	大洗鹿島線について、40分以上間隔があかない時刻表なら助かります。
	車を運転するようになってからは電車等は利用していませんが、以前から大洗鹿島線の運賃は高いと思っています。
	大洗鹿島線が夜は大洗までの便はやめてほしい
	大洗鹿島線の本数を増やす！運賃を安くする！
	■鉄道に関する意見 【意見概要】 銚田市は全ての駅に階段があり、身体障害者や高齢者の利用は不便だと思います。また、高校生の通学利用も防犯上の課題があり、バリアフリ対策と通学路対策として下記4点を提案します。 ① 鹿島旭駅・大洋駅 階段の上がり降りは高齢者や身体障害者には大きな負担となるため、水郡線常陸青柳駅やひたちなか海浜鉄道金上駅のようにスロープ等を設置する。 ② 涸沼駅 涸沼のラムサール条約登録により様々な観光客の訪問が想定されるため、エレベーターの設置を検討する。 ③ 徳宿駅 半地下無人駅で高齢者は利用を避ける傾向がある。デマンド型乗合タクシーを付近の別の駅まで利用できるようにするか、徳宿―― 鹿島旭間に「高田の鉄橋駅」の様な段差のない新駅を検討する。 ④ 銚田新駅の設置 新銚田駅から高校・市役所は徒歩15分の距離があり、途中の人通りの少ない場所は防犯上の問題もある。合同庁舎南の駐車場付近に徳宿駅の様な1面1線の駅を設置し、通学路の安全を確保する。 ■コミュニティバスに関する意見 【意見概要】 現在のバス路線は銚田市街を起点とし、旭地区や大洋地区は交通弱者の移動が困難ではないかと思います。市の高齢化の面からも、コミュニティバスは南北に伸びる鉄道を補完し、市内外への交通を改善すべきだと考え下記の3点を提案します。 ① 旭地区 上富田～鹿島旭駅～勝下方面
	運行本数や料金等もう少し考えて改善していくことで様々な年齢の人が利用意欲できるのではないかと思います
	路線バスが廃止になっており、移動手段が車までしかなく、遠方に出かけるのに不便で、市内での循環バスの運行（コミュニティバス）があれば考えます。本数が少なくてもあれば便利。
	バスの場合銚田市と鹿嶋市がつかない。現在地よりバス停まで遠い。志崎まで自転車30分、北浦湖畔駅まで自転車30分。
	マイクロバス、ワゴン車をもっと多くして利用しやすいようにするべきと思う（台数、時間、経路等を考えるべきである。）
	高齢になっても安心して買い物や病院に行けるようコミュニティバスの運行をしてもらいたい。
	近くにバス停がないと意見を述べましたが、人口減少・高齢化を考えると仕方ないと考えます。
	路線バスや鉄道便を増やしても、利用する人が少ない為赤字になる為かなり難しいのではないかと。
	当地域には定期路線バスが無い。銚田⇄水戸があれば大変便利だと思う。
	大型バスはいらない、小型で本数を増やしての方が良い。バス停も増やし年配者があまり歩かなくて済むようにしたい。

項目	アイデア・意見
	<p>将来自動運転バスが開発されたときはバス停を増やして銚田全市内を走らせてください。</p> <p>51号線のバス廃止の時も思ったが、利用者が少ないのに大型バスを使用しているようなので、無駄な経費が掛かるので小型の乗り合いバスにして節減すれば何とかなるのでは？本数が（バスの）少ないから使わない、使わないから止めてしまう、鶏と卵のような矛盾の繰り返し。</p> <p>年齢の縛りなく乗車できると良いと思います（高齢者・子供と一緒に乗れるメリット）ルート別に1日中銚田市内を回る巡回バスがあれば高齢者の免許返納の助けになるし、独居老人等の生活改善につながる。バスが走り賑やかになれば商店街にも足を運ぶ人が増えると思う。</p> <p>財政的に大変でしょうが、コミュニティバス・デマンドタクシーの拡大と充実をお願いしたい。</p> <p>私上沢に住んでいる者ですが、近くに国道51号線があるのにバス停らしき場所があるのにバスが通っていない。中形バス等でいいから銚田の町、商店のあるところなどに行ける交通手段を作ってほしい。通してほしい。路線を考えてほしい。私78才近い将来必ず利用になると思うので、すぐ路線バスをぜひ。よろしくお願いします。</p> <p>路線バス及びコミュニティバスの利用する（したい）住民（高齢者）の行動範囲のアンケートを取る。それによってコースを考える。運転免許証の返納も早くなるのではないかと思います。希望する所（日、時など）は各々違うと思うので、多少の負担はやむを得ないと思います。</p> <p>大洗では低料金で利用できるかわいいバスが走っているいいなと思った。</p> <p>スーパーへ行くバスの運用は行うべきだと思います。買い物ができないと困る人は多いからです。</p> <p>国道にバスを運行してほしい</p> <p>まずはワゴン車等による運行で本数やバス停の本数を増やして今利用している人からの拡大とコスト減</p> <p>ミニバスにして回数を増やす</p> <p>潮来的高速バス乗り場をよく利用しているが、駐車場が満車の時が多く不便、銚田市から潮来までのバス路線があると嬉しい。</p> <p>土浦協同病院への送迎バスの路線を銚田市内（大洋地区）からも作って欲しいです。</p> <p>中学生・高校生のバス通学がほとんど見られなく、親の車で送迎が多くみられるため学生も利用しやすいバスの環境があると良いと思う。</p> <p>徳宿～病院まで乗り合いバスが出れば助かります。今まわりに体の弱い80歳の母がいます、父は入院しています。</p>
タクシー	<p>何処にタクシー会社知らないで料金も？公共も交通も知らない。</p> <p>大洋地区のタクシー会社は「今日はやってないよ」「おつりないよ」「近いから行かない」でどうしようもないですよ。鉄道使いたければ、バツと見たところ券売機もないようですがどうやって乗るのかもわからないです。PASMOやSuicaも使えないようですし、そのまま乗って目的地の駅でトラブルにならないのですか？以前リハビリで1.5km先の病院へ行くときタクシーを呼んだのですが、なんだかんだ言い訳され来てくなくて片足引きずって病院に行って、帰りに雨が降り、歩道も整備されていなくてダンプカーに水をかけられながら帰った時、ヒドい所に住んでしまったと後悔しました。将来は引っ越すつもりです。アンケート調査はインターネットでも受付してくれた方が助かります。田舎はポストまで遠いので。</p> <p>市役所、病院、タクシーの料金が半分になれば良い</p> <p>自転車で医者に行ったが帰り道強風のためタクシーで帰りました。近いので5～600円くらいかと思ったのですが4300円取られました。自転車は主人に軽トラで取りに行ってもらいました。タクシーは怖い。</p> <p>まずタクシーを公共交通に含めている意味が分らないです。電車やバスと比べて料金が高すぎますし、私も車の運転ができないのでタクシーを利用せざるを得ない立場ですが、気軽に買い物や病院には行けません。高齢者以外にも乗合バス等を必要としている人間がいます。</p>
駅	<p>新銚田駅の使い勝手が良くない</p> <p>大洗鹿島線で大洋駅は階段があるので鹿島灘駅への銚田市乗合自動車の送迎があると助かるというお話をされていた方が多い様です。</p> <p>高齢の方が、新銚田駅から電車を利用する際に、乗る場所が2階だから階段を歩いて上がったり下りたりが大変だといっていました。</p> <p>大洗鹿島線の新銚田駅周辺の整備・都市計画（特に商店街）</p> <p>大洗鹿島線新銚田駅高齢者にはホームまでの階段はきついのでかंगाえてほしいです。</p>
バス停	<p>バス停まで自転車でいきたいのだが駐輪場がない。駐輪場を作ってほしい。</p> <p>野友にバス停を作ってください。タクシーでは高い。</p> <p>バス停には屋根やイスをつけた方が良いと思います。</p>
駅までの交通手段	<p>大洗鹿島線の各駅に行くバスがタクシーがあると助かる。関係ないがアンケートが分かりにくい。非常に分かりにくく書きづらい。囲みや白抜き文字、ゴシック体が多くし面から圧迫感を覚える。書くのをためらった。</p> <p>私は市の公共交通を使ったことがないのですが、利用する場合、駅やバス停まで行くこと自体が困難な中では利用しようがない。バスはバス停でなく手をあげたらどこでも乗れる。</p> <p>鉄道へのアクセス手段を検討して下さい。</p> <p>学校へ通学する子供たちが鹿島線等使いやすくしてあげてほしい。送迎する親も大変だから。これではお年寄りに利用しろと言っても利用できない。せめてコミュバスでもあれば（鹿島市まででられれば）</p> <p>駅まで行ける、鹿島旭までの交通手段が欲しい</p>

項目	アイデア・意見
デマンド型乗合タクシー	すでにデマンド型乗り合いタクシーの運行実施となっているとのこと素晴らしいことだと思います。
	市内を移動しようとするとき自分で自動車を所有し運転できる世代にとっては交通渋滞もほとんどなく駐車場にも不自由しないドアtoドアの自家用車の方が便利である。どんなにバス亭や駅を整備し階段をエレベーターにしたり待ち時間を快適に過ごせるようにしたところで今現在よりも体に不都合が出てくるような年齢になって、免許返納後に利用したいと思うようになるとは考えられない。自家用車の便利さになれている身としては乗合など多少の不便さはあるとしてもドアtoドアのオンデマンドタクシーの方が利用しやすいのではないかと考えます。また高齢者がすべて平日の日中だけ活動しているわけではないので、土日営業時間の拡大など利便性を考慮して欲しい。
	・タクシーの個人使用予約制・バス（買い物）（病院）（スポーツ施設）・大洗鹿島線のモノの運送
	なぜ旭地区には乗合自動車がないのか？不便なのは旭地区も同じである。不公平である。
	のりあいタクシー
	デマンド型乗合タクシーが一番いいと思います。
	行く先は車を離れなくてはならず、離れた時にはデマンド車が地域を運行している各地の車にたよりたい
街造りから（複合施設建設や移動サービスの充実など）	公共交通機関に税金の投入は必要ない、その代わり移動式サービスの提供に力を入れ誘致すればよいと思う。（2040年問題になればどのみち維持はできないと思うので公共交通への税金の投入は必要ない）（スーパー、病院など）
	銚田市の将来的な街づくりに関して、専門家（大学の教員）に協力を得てはどうか？現に神栖市？潮来市？などは大学との共同研究を締結し、将来構想を検討しているのではないかとと思われる。鹿行地区の先進的に取り組んでいる自治体との意見交換や市の若年職員を集めてのPTチーム（将来構想）の立ち上げ等も検討してみてもどうかと思う。
	銚田では病院他、買い物の場所がいろんな所にあり、車やタクシーでないと一度にいろんなことができない。大型ショッピングモール（病院含む）があれば、各場所からそこまでをつなぐ公共交通で十分になると思います。
	病院やスーパー、娯楽施設などを含んだ複合施設をたてれば良いと思う。その施設を中心とした巡回バスを作って欲しい。巡回バスでは時間を決めず、おおよその到着時刻をアプリと連携するのはどうですか？買い物に行く時間をアプリで記入して利用し、一緒にいきたい高齢者がいればその記入にレスポンスできるアプリの作成。車を出す人も利用したい人も市で登録すれば安全性が高まると思う。
高齢者への対策	まずは、どのくらいの利用があるかを調査して（人数、時間帯など）本来、本当に必要なのか検討して頂きたいです。大洗鹿島線の料金は高すぎます。年老いているとイメージして、自分だったらと想像すると安く安心なタクシーで移動したいなと思っています。その為には、助成金が必要かと思います。
	歳をとり、運転が難しくなってきた時の自動運転者の開発が必要
	現在の年では特にないが、もう少し高齢になった時に意見があればしたいと思います
	おじいちゃんおばあちゃんが多いから鉄道かバス停が近い人はいいけれど遠い人は大変だと思います。
	不安なく老後を過ごせるように、少しでも利用しやすい交通手段が広まることを望みます。
	免許証返納した時に公共井交通費の補助金を出す。税金減額。
	現在は自動車ですべて個人でできていますが、すぐ1～2年後（80歳）には無理として。巡回バスくらいあっても良いと思います。
	現在タクシーの割引券が発行されているようですが、高齢者にはバスも割引券を発行して欲しいです。
	高齢になると足腰も弱まり、荷物を持つのも大変になりできれば自宅までタクシー移動したいので、タクシー利用の補助成を望みたい、一考を・・・。
ボランティア	助け合を大にすれば税金など無用。書では説得に掛けます。個々にかけ会うが集まるか、知恵を出合い緊急時に助け合えないか。緊急時の、互いの助け合い運動に参加に声を掛け合い助け合いを、地域ごとに賛同できる人、必ずあります。（自分が不自由身体時と想定）思い遣りのある人どこでも声を掛ければ集ります。少々の心付けですむ様にお互いに思う
	問11の地域での助け合いによる送迎は良いアイデアかもしれない。信頼できる人物、安全な運転、プライバシーが守れるなどドライバーとしてクリアすることが必要だと思う。
	運転士が「ボランティア」は反対です。事故やあおり運転などトラブルも多い中で安全確保のため、きちんとした視覚や責任なども考えて頂きたい。
	問11の「地域での助け合いによる送迎」の"ボランティア"してくれる人材に助成金を出して、実質ボランティアでなく少額でも良いので報酬が出るようにする。またはタクシー利用料金の助成（ただし、一会社への優遇措置になりかねないので注意が必要）
何らかの交通手段を望む	今はどんなに公共交通を充実してもらっても移動は100%自家用車だと思います。（運転に支障がなく便利なので）しかし、あと何年かしたら、免許を返納しなければならず、そのときは強く公共交通の便利さを望みます。
	自己負担は多くなっても使えるならば公共交通を使いたい人は多い。お金はあっても移動ができない人は多いです。低所得者は補助すべきと思いますが、負担が大きくても便利なものを作ってほしい。
	家族全員車移動できる（子供、高齢者なし）ので公共交通など考えたことがない。バスも走っていない。お金あるならどんどん充実させればよい！
	家族に世話してもらえますので公共交通の重要性を身をもって感じておりません。ですが必要なことは確かだと思います。実際に利用している方々の考えや希望等を聞く耳を持っていて頂けることをお願いいたします。少しでも利便性の良いものになると良いと思います。
	何らかの用事（義理ごと）が出来た場合、人に頼まなくても乗り物があれば気楽に用事がたせると思う。（現在はバスもタクシーもないので知り合いにいちいち頼んでいます。）（現在はそれしか方法が有りません。）

項目	アイデア・意見
	<p>小学生の通学が無料、さらに高齢者の公共交通も無料になれば市政が成り立つのでしょうか？長い目で見て多少の負担は仕方がない。コミュニティバスなどがあればいい</p> <p>まだ車を使って生活できている現在ではあるがでなくなった時に公共交通を利用することをできないというか、考えられない時代になる。公共交通も大物だがもっと身近な病院とか買い物などの交通手段をもっと考える必要を感じている。</p> <p>現在は必要ではないですが、必ず運転できなくなる時が来るので、交通の件は確保してほしい。高齢者だけでなく若い方も移動が家族送迎しかない状況は改善してほしい。</p> <p>これからますます高齢化が進むので、毎年度初めに地域ごとの利用状況を把握しながら交通機関などを検討しては如何かな？</p> <p>私はまだ高齢では無いため必要性を感じないがこのように公共交通のことをきちんと考えて聞いてくださることに関しては非常にありがたく思います。</p> <p>・公共交通の無い自治体は近い将来衰退する・税金の投入については一部異論はあるが必要投資すべき・事業も常に利用しやすい公共交通になるべく経営の努力は必要（他自治体のコミュニティバスでも成功例を参考にすべき）</p> <p>内地への乗り入れ数を増やして下さい。</p> <p>今のところ車の運転ができるので深く考えていないが年が上がると必要になるので必ず実行して欲しい。</p> <p>鹿島鉄道を廃線にしたのは痛い。東関道が使えないのも回遊性がないから。政治の力で仕方ないが、鹿島・神栖を通らないのは問題外。このまま無策では消滅滅になる。交通の無人化とITを活用した医療の充実、空き家対策と耕作放棄地の集約を全国に先駆けて行わないと人口減少と人口流出は避けられない。まずスクラップすること、そしてビルドすることを考えるべき。</p> <p>全てにおいて全然足りてない。今は車が無いと生活できない町。自分が高齢になったときに不便で仕方ないと思う。</p> <p>高齢化が進んでいるので車に頼らなくても外出できる交通手段を提案してほしい</p> <p>あまりにも不便、とにかく早急に対応して下さい。</p> <p>運転免許の返納を進めるには交通手段の確保が第一、もっと充実させるべきである</p> <p>水戸、大洗へ行く機会が多いので、出かけやすいようにしてもらいたい。銚田市で個人ボランティアの登録をし、できるときにできることを利用・活動する人を要請する。</p> <p>行方市や小美玉市、大洗町など周辺より多くの方が買い物や通院に来ています。公共交通が便利であれば行きたい時だれかを待たずに動けます。バリアフリー化も重要です。便利になれば人が集まり、住む人も増えてくると思います。</p> <p>自動車の利用できない人、高齢になり免許証を返納しやすく公共交通環境を充実させてほしいです。鹿島鉄道銚田線廃止後の通路にコミュニティバスの運行、土浦駅から常磐線を利用（本数・時刻）のため、高速バスが便利に利用できるようになると嬉しい</p> <p>使いやすくて乗り降りしやすい環境を早急に整備して欲しい、人の集まる場所へ行きやすくして欲しい</p> <p>もう少し料金を何とか安くしてもらいたい。通学するにも大変だし負担になっている。</p>
アンケートについて	<p>どうして世帯主でもない名前宛でアンケートが届くのですか？理由が知りたいです。。。</p> <p>何が必要で不要か、どうしたら住みやすく快適化をもっと考えたらいい。そのうえでこうですけどどうですか？ならまだわかるが何も決まっていない状況で実態を知りたいから2000人アンケートなんてばかばかしい。何の意味もない。まずは市がどうしたいかを市民に聞いてみれば？こうするけどいいかな？くらいまで落とし込まなきゃ決まるわけない。くだらないPRに市長が出る暇あるなら仕事して。もっと市のこと考えて。アンケート自体ができていない。アンケートの内容がひどい。ばからしい。頭のいい人が作ったと思えない。何が知りたいかわからない。トータル的に超絶全部が無駄でした。時間をかけて意見を書いたので活かしてください！</p> <p>質問がダブルバレルだったりで答えづらい</p>
考えたことが無い、よくわからない	<p>まだ自由に行きたいところへ行けるので公共交通について考えたことが無くアンケートに答えられなくてすみません。</p> <p>手前移住者なので高齢者のための公共施設のこと全く知識が無いのでごめんなさい。</p> <p>その時になってみないと実際の事はよくわからないのが実情です。雑で申し訳ありません。</p> <p>まだ利用が少ないので家感がない。先行答案</p> <p>公共交通（市内）のことが詳しくわからない。大洗鹿島線の駅周辺の整備開発（未来型のまち再都市計画）利用者を増やすためには大切でしょう。各駅周辺の街づくりを考えて、銚田市全体の住みやすい銚田に！公共交通だけでなく住んでみたい銚田！駅は財産でしょう。住環境整備！コンパクトシティーの考え方も必要かも。最後に自然体の街づくりの中の1つ（公共交通）☆コンパクトシティ☆</p>

項目	アイデア・意見
その他	乗り物を利用する場合等、トイレも設置してほしい。難しいでしょうが。車いす用スペースがあると保健衛生上も良い（市内でもまだ戸外で済ませている高齢者を見かけます）乱筆お許しください。
	歩道⇄車道の堺いの段差が危険（歩行者？自転車共に
	高齢者や障害者や子育てをしている人とその付き添いや家族の負担が少なく手軽に利用できるようにしてもらいたいです。福祉タクシーは障害のある人が一人で病院に行く時使用できるが、付き添いはダメとのことで、高齢者や障害者は車を降りてからも大変なので付き添う人にもサービスが受けられた方が良くと思います。
	市でも少し負担してもらって利用者にも負担させて使う人は使えばいいと思う。贅沢な利用方法までにはいかなくていいと思う
	車は一人一台の時代、人が電車やバスを使わないと料金は安くならないし本数も増えないから難しいと思う。
	優先順位を決めるべき、高齢者ではなく、子供や子育て世代に手厚くするべきと思います。
	今の所自分でやっているの
	自己負担をして近隣町村迄の利用をお願いします。
	税金の使い道をきちんとすれば！
	三世代家族の推進
	引っ越しして3年目、鉾田市の公共交通は非常に難しいと思われます。現在妻は60歳、夫は70歳、重度障害者の長男は31歳、そのため現在の家を将来生活困難の方の共同生活場を作れたらと考えております。

市民アンケートの集計結果のまとめ

1.市民の日常の移動特性

運転しない市民は若年層と高齢層に多い。市民の外出先は市内外に及び、地区ごとに異なる。

運転免許証を持つ人が約 8 割であるが、不安なく運転している人は約 7 割であり、約 1 割は不安に思いつながりながら運転している。不安に思いつながりながら運転している人は 20 歳代と 65 歳以上で多い。運転免許証を返納した人が 3%であり、運転しない人は 10 歳代の若年層と 60 歳以上の高齢者に多い。特に若年層と高齢層に向けて、自動車以外の移動手段の確保が必要である。

通勤・通学、食料品や日用品の買物、食料品や日用品以外の買物、通院、その他の目的のいずれにおいても、外出先は市内が最も多かった。さらに、各目的で、水戸市や鹿嶋市等の近隣市町への移動があった。特に通院の移動では、旭地区と鉾田地区から水戸市へ、旭地区から大洗町へ、秋津地区から土浦市へ、大洋地区から鹿嶋市へと地区ごとに先行が分散していることが確認できた。地域内の公共交通網の整備に加え、鉾田市公共交通将来ビジョンの公共交通の課題にも挙げられていた公共交通による近隣市町との接続強化にも対応する必要がある。

2.市民の将来の移動についての考え

今後、運転しない人の増加が見込まれ、病院や買い物先までの移動手段の確保が必要とされている。

高齢になったときに運転免許証を返納する人が 45%であり、返納はしないが運転はしない人が 10%いる。運転免許証を返納すると答えた人の返納想定年齢は 80～84 歳が多い。今後高齢化に伴い運転しない人の増加が見込まれる。

運転免許証を返納するために、病院や買い物先までの移動手段の確保が必要とされている。運転しない人でも生活できるように、鉾田市公共交通将来ビジョンの公共交通の課題にも挙げられていた交通弱者の移動手段の確保が求められている。

3.市民の公共交通の利用実態

自分で運転する自家用車や家族等の送迎の利用が多く、公共交通の利用は少ない。

通勤・通学、食料品や日用品の買物、食料品や日用品以外の買物、通院、その他のいずれの目的でも交通手段は、約 8 割が自分で運転する自家用車を利用しており、1～2 割が家族等の送迎を利用し、現状では公共交通の利用は少ない状況である。

鉄道の最寄り駅は、新鉾田駅、鹿島旭駅、大洋駅が多いが、最寄り駅がない人も 1 割いる。駅までの移動手段は自分で運転する自動車や家族等の送迎が 9 割を超える地域も多い。また、駅までの所要時間は 10～19 分が多い。駅までの移動手段の確保が必要である。

路線バスのバス停は乗車、降車ともに鉾田駅が最も利用されている。バス停までの移動手段は徒歩が最も多く、家族等の送迎の人もある。バス停までの所要時間は10分未満が多い。

4.鉾田市乗合自動車の認知度

鉾田市乗合自動車の利用方法の周知が必要とされている。

鉾田市乗合自動車の全市での認知度は 4 割であり、利用対象区域の大洋地域では 6 割であった。しかし、大洋地域で利用対象者だが利用者登録していない人が 5 割を超えている。また、鉾田市乗合自動車を利用しやすくするために、利用方法の周知が必要と考える人が 6 割と多い。鉾田市公共交通将来ビジョンの公共交通の課題にも挙げられていた利用者目線に立った公共交通の分かりやすい広報や周知

活動により認知度を高めるとともに、利用促進の取組が必要である。

5.市民の公共交通の利用条件

駅やバス停までの移動手段の確保、公共交通の利便性改善、情報の周知が望まれている。

300m程度のバス停まで歩いて移動できない人が15%いる。特に、10～20歳代と70歳以上に多く、80歳以上では4割がバス停まで歩いて移動できない。バス停までの移動手段やバス以外の交通手段も検討する必要がある。

自宅前に車両がきた場合、約9割が自力で乗車できるが、70歳以上では段差があると自力で乗車できない人がある。デマンド型乗合タクシーの車両のバリアフリー化が望まれる。

鉄道や路線バスを利用しやすくするために、運賃を安くすること、運行便数を増やすこと、時刻表・運賃等の運行情報の周知が多くの人に望まれている。また、鉄道では駅までの移動手段の確保も多くの人に望まれている。

銚田市乗合自動車を利用しやすくするために、利用方法の周知に加え、利用対象年齢の制限の撤廃や利用対象区域の拡大が望まれている。銚田市公共交通将来ビジョンの公共交通の課題にも挙げられていた銚田市乗合自動車(デマンド型乗合タクシー)の利便性改善に努める必要がある。

6.コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの利用可能性

駅やバス停と自宅近くを結ぶ公共交通や、病院やスーパーへ行く公共交通のニーズがある。

鉄道駅と自宅の近くを結ぶ公共交通が運行した場合利用する人が5割、バス停と自宅の近くを結ぶ公共交通が運行した場合利用する人が4割である。

50%以上の人が望むコミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの利用条件は、運行間隔は1時間に1便、運行時間帯は8時台から16時台まで、乗り場までは徒歩5分以内、片道運賃は150円であった。現状のバス路線網ではバス停まで徒歩5分以内の地域は限られている。市域の広い本市において乗り場まで徒歩5分以内のサービス水準を目指す場合、デマンド型乗合タクシーの運行区域拡大が現実的である。

コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーで行きたい場所は、病院、スーパーが多かった。市民の日常の移動特性として、通院先は地区内や、各地区から銚田地区への移動が多い。また、市北部から水戸市へ、旭地区から大洗町へ、秋津地区から土浦市へ、大洋地区から鹿嶋市への移動もある。食料品・日用品の買い物先は、地区内の移動に加えて、近隣地区から旭東地区、銚田地区、大洋北地区への移動も多い。大洋南地区は鹿嶋市への移動もある。地区によって移動先が異なるため、新たな公共交通を導入する場合、地区別に市民ニーズを考慮してサービス水準を検討する必要がある。

7.市民の家族等の送迎状況と意識

同居する家族による送迎が多い。送迎について仕方がないと考える人が多い。

家族等を送迎する人、送迎される人はともに約2割である。

送迎の目的は、若年層は朝夕の通勤・通学で駅や直接会社・学校までの送迎が多く、高齢者は通院や買物への送迎が多い。

送迎する人とされる人の関係は、同居する家族が多い。大洋地区等の一部の地域では、65歳以上の高齢者がご近所の友人の70歳以上の高齢者を送迎している。

送迎する人とされる人の年齢の関係は、30～40歳代による10歳代の送迎(子どもの送迎)、50～64歳

による 80 歳以上の送迎(高齢の親の送迎)、30 歳代以上で同年代による同年代の送迎(夫婦・兄弟の送迎)が確認できた。

送迎する人は負担を感じているが仕方がないと考えている人が多く、送迎される人は申し訳ないが仕方がないと考えている人が多い。送迎される人の中には申し訳ないので外出の回数をできるだけ減らしている人も幅広い世代でいる。

幅広い世代を対象とした送迎に頼らなくても移動可能な交通手段の検討が必要である。

8.市民の地域での助け合いによる送迎についての意識

地域での助け合いによる送迎に自分の住む地域でも取り組むべきと考える人が多い。

地域での助け合いによる送迎に自分の住む地域でも取り組むべきと考える人が多く、特に巴地区で必要性が高い。旭西地区や大洋地区では既に取り組んでいる人がいる。送迎してもらいたい人の居住地区は旭西地区、巴地区、秋津地区が多く、年齢層は 75 歳以上が多い。送迎しても良い人の居住地区は、大洋南地区や鉾田地区が多く、旭東地区や巴地区では少ない。送迎しても良い人の年齢層は 20 歳代や 60～64 歳が多い。

送迎してもらいたい人が多い地域で送迎しても良い人が多い訳ではなく、地区を超えた送迎システムの検討が必要とされる。鉾田市公共交通将来ビジョンの公共交通の課題にも挙げられていた地域や民間施設等の共助の機運の醸成が必要となる。

9.市民の公共交通の必要性についての考え

市民の公共交通の満足度は 8%と低く、分からない人が多い。将来、公共交通の必要性が高まっていく。

現在の公共交通の満足度は、満足、やや満足を含めて 8%と非常に低い。また、分からないと回答した人が 43%と多く、市民の公共交通に対する関心が低いと考えられる。

現在公共交通が必要であると回答した人が 30%である一方で、将来公共交通が必要であると回答した人は 88%である。今後高齢化の進展に伴い、公共交通の必要性が高まっていくことが示された。鉾田市公共交通将来ビジョンの公共交通の課題にも挙げられていた公共交通サービスの維持に対応していく必要がある。

10.市民の鉾田市の公共交通施策についての考え

地域内施設と駅やバス停を結ぶコミュニティバスの運行や、デマンド型乗合タクシーの運行が望まれている。

公共交通を利用しやすくするために市に実施してもらいたいこととして、地域内施設と駅やバス停を結ぶコミュニティバスの運行と、デマンド型乗合タクシーの運行が半数以上の人に望まれている。路線バスを便利にすることと、タクシー利用料金の助成が約 4 割に望まれている。デマンド型乗合タクシーの運行よりコミュニティバスの運行の方がわずかに多く望まれていたが、鉾田市乗合自動車は周知活動が必要という意見が多かったことから示されるように、デマンド型乗合タクシーの仕組みがわからない人も多かったと考えられる。今後デマンド型乗合タクシーの仕組みや利用方法の周知を行うことで、デマンド型乗合タクシーのニーズが高まる可能性がある。市民のニーズに合わせて、公共交通の利便性を高めていく必要がある。

11.市民の公共交通への要望

市民は公共交通の維持・確保を望んでいる。

公共交通の維持・確保のための市の負担について、税金を使ってさらに公共交通を充実させるべき、税金の投入はやむを得ないと考える人が7割と多く、市民が公共交通の維持・確保を望んでいることが確認できた。銚田市公共交通将来ビジョンの公共交通の課題にも挙げられていた公的サービスとしての適正化を図りつつ、公共交通を維持・確保していく必要がある。